

1. 件名：「日本原燃(株)の設工認申請に係るヒアリング(再処理施設(2-123)、
廃棄物管理施設(98)、MOX燃料加工施設(2-80))」

2. 日時：令和5年11月29日(水) 10時00分～12時00分
13時30分～18時00分

3. 場所：原子力規制庁 10階会議室(TV会議により実施)

4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部

核燃料施設審査部門

(原子力規制部新基準適合性審査チーム)

長谷川安全規制管理官、古作企画調査官、大岡主任安全審査官、岸野主任安全審査官、羽場崎主任安全審査官、藤原主任安全審査官、新井安全審査官、小野安全審査官、上出安全審査官、山口係員

日本原燃株式会社

決得 執行役員 再処理・MOX設工認総括副責任者 他5名

三菱重工業株式会社

原子力セグメント 安全高度化対策推進部 主幹プロジェクト統括

株式会社大林組 原子力本部 設計第一部 担当部長

東電設計株式会社 土木本部 耐震技術部 担当職

5. 要旨

(1) 日本原燃株式会社(以下「日本原燃」という。)から令和5年11月22日、11月27日及び11月28日の提出資料に基づき、以下の事項について確認を行った。

- ・重大事故等対処設備の設計に係る要求事項の整理
- ・入力地震動の算定に用いる地盤モデルの設定

(2) 日本原燃から、主に、以下のとおり対応する旨回答があった。

- ・重大事故等対処設備の設計に係る要求事項の整理については、設計基準対象施設の要求事項との関係や類型の対象を明らかにするとともに、設計基準対象施設との設計上の差分を考慮しても重大事故等対処設備に必要な機能が維持されることを体系的に整理する。
- ・入力地震動の算定に用いる地盤モデルの設定については、専門家の支援を得て、データの信頼性を確認の上で、敷地内の地盤の特徴、地盤モデルの設定への当てはめ等を根拠とともに整理する。

6. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

7. その他

提出資料

なし

参考

- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000120.html
- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000121.html
- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000122.html
- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000123.html
- ・ 日本原燃株式会社 高レベル放射性廃棄物貯蔵管理センター 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）
「日本原燃（株）から特定廃棄物管理施設の設計及び工事の計画の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000124.html
- ・ 日本原燃株式会社 MOX 燃料工場 規制法令及び通達に係る文書（令和5年2月28日）

「日本原燃(株)から再処理事業所 MOX 燃料加工施設の設計及び工事の計画の認可申請を受理」

https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/FAB/180000242.html

- ・ 日本原燃株式会社 MOX 燃料工場 規制法令及び通達に係る文書（令和5年2月28日）

「日本原燃(株)から再処理事業所 MOX 燃料加工施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」

https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/FAB/180000243.html

- ・ 令和5年11月22日

「日本原燃(株)再処理施設、廃棄物管理施設の設工認申請に関する資料提出」

- ・ 令和5年11月27日

「日本原燃(株)再処理施設、MOX 施設、廃棄物管理施設の設工認申請に関する資料提出」

- ・ 令和5年11月28日

「日本原燃(株)再処理施設、MOX 施設、廃棄物管理施設の設工認申請に関する資料提出」

時間	自動文字起こし結果
0:00:00	登録を開始しました。
0:00:02	規制庁山口です。それではただいまから日本原燃とのヒアリングを開始しますと、本日はヒアリングは令和4年12月26日に申請があった再処理施設と廃棄物管理施設、
0:00:14	また令和5年2月28日に申請があった、MOX燃料加工施設の設工認申請について、
0:00:21	ちょっとヒアリングにて事実確認を行うものになります。沼沢規制庁側の出席者を紹介いたしますと本庁会議室からアライフジワラオノヤマグチ
0:00:33	とその他WEBからコサクを、が、以上になりますとそれでは日本原燃の方から出席者の紹介と本日の議題を説明して資料の説明を開始してください。
0:00:47	はい。兵庫県の事務局の仲間でございます。
0:00:51	日本原燃側の出席者紹介いたします。Steeringチームより、イシハラサポートメンバーといたしまして、セガワ、
0:01:00	あとも、MOX及び再処理の事務局参加させていただいてございます。
0:01:06	本日ご確認いただきます資料でございますけれども、11月21日にご提示差し上げました。
0:01:13	SAの要求事項の整備、こちらの資料のご確認をいただきたいと思えます。
0:01:18	それでは説明の方を開始させていただきます。
0:01:23	はい、ありがとうございます。
0:01:25	ここの資料、前回のヒアリングで答えて修正をさせていただきました。
0:01:33	これも何回かやっていますけども、例えば今週の1日に提出する。次のステップの資料とあわせてヒアリングをやるというのが、法律的な進め方だと思うんですが、とは言いながらもタイミング的にも、
0:01:47	先にこれを出させていただいたところもありましたので今日ヒアリングを設定させていただきました。
0:01:53	現在までのヒアリング等を踏まえまして本部、あと表のほうですね検討1の修正を行ってございます。
0:02:03	今回の方は前回、
0:02:07	例えば2ページのところにありますけど、ばい有毒ガスの関係であったり近隣工場等の火災であったり、
0:02:14	いうところの紐づけの整理が、曖昧だったというところを整理をした。
0:02:21	いうところであり、あと3ページ、政府系のところですね、
0:02:28	こういったことを条件として考えていてそれが、DB側のをどうするのかというところの整理をさせていただいたというところでございます。

0:02:40	あと加えて、7 ページ、本文の 6 ページ。
0:02:51	ここか。
0:02:52	Web 儲け。
0:02:57	あ、
0:02:58	5 ページ。
0:02:59	はい。
0:03:01	すいませんでした。サンプの説明の外傷等に関する設計の基本的な考え方のところで、添付 1 の表でマル※1 といったところを整理をし、
0:03:14	抽出をしていたところを、分類ができるでしょうということのやりとりもありましたので、7 ページ以降に別添として、
0:03:21	①番から順番に分類をして、分類といっても頭の
0:03:27	文章であったり、語尾がいろいろ変わったりして違ったりしますのでまた整理が必要ですけども、
0:03:34	一定の分類をして、その中にどういったものが入るか。
0:03:37	ということ、あとは DC 側の人が見たときに、何を言ってるのかがわかるような記載ということで修正をさせていただいたと。
0:03:46	ということは、本部の指揮指摘事項でございます。
0:03:50	続きまして添付 1 の方ですが、ちょっと AD の設計本ページでやっておりましたスポーツ制限等価の定義のリンクはりですね、整理をした。
0:04:04	いうところと、
0:04:06	あとは一番上の横軸のところ、先ほど本部でもありました、利用ですとか近隣工場とかその関係の項目の細分化をしているところがございます。
0:04:20	あとごめん。
0:04:22	の 1 に記載を、先ほどの整理を合わせまして、何が言いたい。
0:04:32	プライム、
0:04:36	これは以上です。
0:04:39	規制庁山口です。それではなく成長側から確認をお願いします。
0:04:44	最後に、
0:04:45	規制庁のフジムラですちょっと音声が悪くてたんですけど、こちらの声ってちょっと聞こえてますかね。
0:04:53	はい、与儀でございます聞こえてます。
0:04:56	はい。規制庁の藤原です。わかりました。最後の方のフレーズが、
0:05:00	一番最後だけ聞こえなかったんですけど、何かありましたっけ。
0:05:05	特別。
0:05:06	伝えてはいどうぞ。はい。

0:05:08	添付 1 のところの修正ポイント一定以上ですといったところですかね。最後、あまり個別は話してません。はい。
0:05:17	はい規制庁のフジムラですわかりました。それでは本文の方から確認をさせていただこうと思います。
0:05:24	まず私の方から 1 ページ目なんですけど、前回のヒアリングを受けて、2 ポツの整理の方法が整理方法のところの縦軸の展開のところ、SA 条文がある。
0:05:35	ていう部分についても、記載というか考え方を少し修正整理してていうことで、今回書かれていると思うんですけど。
0:05:45	ここで書いてあることっていうのが、
0:05:48	イセ条文があるものについても、横尾軸の項目の中で整理をしていきますよっていうことを記載してるっていう理解でいいんですかね。
0:06:04	はい。日本イシダでございますはい。まず、おっしゃる通りでございますはい。
0:06:08	はい規制庁の藤原です。
0:06:11	で、その上で、添付 1、すいません後で添付 1 は細かくというか、いろいろ見ていこうと思うんですけど、添付 1 の方って、この南條に展開っていう言葉が結構、
0:06:23	残っているというかそのままある気がするんですけど、結局どう整理したいんだろうっていったところがわからなかったんですが、
0:06:30	基本的には、南條で展開と書きつつ、
0:06:34	丸をつけていく。
0:06:35	方針なのか。
0:06:37	南條に展開じゃなくて本当は展開先の内容も見て丸付けを实际しなきゃいけなかったっていう状況なのか、そのあたり説明していただけますか。
0:06:53	例えば、添付 1 でいうと 11 ページのところの一番下の 17 番なんかは、
0:07:01	地盤地震、津波、火災のところで、応答宣言であり具体の設計は、第何条に展開するっていうふうに書かれてるんですけど、こういったものが結構、
0:07:11	他の
0:07:13	番号にも残ってる状況なんですけど、実際はどう整理していくつもりなのかっていうのを説明してもらっていいですか。
0:07:25	はい。与儀西尾でございますはい。まずそこは失礼いたしました基本的にはここは丸を打って、その条文側でもともと衛星側での要求も、逆に言うと 55 だけじゃ駄目なんだな。
0:07:39	50 と。

0:07:41	32条だけ向上という感じ。
0:07:44	だから上を5条と32条にしとかなないと、飛ばせないんです。そうですね。だから六条も同じだね。
0:07:51	はい。
0:07:52	日本ヨシダでございます失礼しました上をまず五条とだけ書いてるところ五条32条にして、基本そこを0を打ってそこで展開をしますよということがやりたかった意思表示でございます。
0:08:05	規制庁の藤原です。わかりました。では五条六条、七条、11条とか、江藤17条ですかね、そのあたりはそういった整理をされて、今後
0:08:16	難聴に展開するというよりは丸付けを整理していくという方針で理解しました。
0:08:23	はい。
0:08:24	で、次に、
0:08:28	と。
0:08:30	そうですね。前回のヒアリングから整理をいただいて
0:08:37	3ポツのところで、
0:08:39	整理されてるんですけども、このあたりのちょっと、ここはちょっと細かいかもしれないですけど、言葉が何を示したいのかが理解しづかったんですが、例えば5ページの、
0:08:52	可搬型SAのところで、
0:08:54	保管場所から移動、日常点検保守といった運用上の措置が容易であるっていう特徴を有しているということで②を振られてるんですけど、
0:09:04	あれですかね、日常点検とか保守ってというのは、別に常設とかでもするんだけど、運用上の措置って意味で、
0:09:12	もう少し、
0:09:14	具体化というかそういったところでこのあたりの言葉が使われてるってことなんですかね。
0:09:27	はい。日本原燃石田でございますここはもう少し、何をしたいのかのイトウを整理したいと思います。
0:09:35	この日常点検保守といった運用上の措置ってということがメインではなくて基本はそのあとに書いてある例えば移動ができるとか、除雪できるとか、除灰できるとかそういったことをやるきっかけが、
0:09:48	日常点検とかで確認をすることが容易だと、いうことがもともと言いたかった趣旨でございますので、そういったことも含めて、整理をしていければと思います。

0:10:00	はい。規制庁の橋村です。おっしゃってる通り 8 ページ目で展開された時に、実はそのあとに来るものがメインであるんですけど、その前の文章が、実際何を伝えたいのかなっていったところがわからなくて、
0:10:15	言いたいことが少しぼけてしまったような気もするので、
0:10:19	実際にどういったことが言いたいのかっていったところを整理していただいて、文章を展開していただけたらと思います。もしかしたら全体に、
0:10:29	ここでピックアップしているものを全体として、同じようなことを展開していきたいから、同じ言葉を展開していればってということで、言葉を整理されたのかもしれないですけど、
0:10:41	例えばもともとあった津波なんかであればとか、火山もですかね、もともと多分整理されてたので、そんなことにとらわれず、きちんと書かれてたりするような気もしますし、
0:10:54	ただあれですかね、常設のSAとは異なりって言葉と違って、移動させることがってところの特徴という意味では同じ言葉を展開されてる系統でもあるんですかね。
0:11:05	わかりました
0:11:07	とりあえず、いずれにしてもこの辺り、どういったことを説明したいのかを踏まえて文章を作っていただけたらと思います。
0:11:20	規制庁の城です。続けて、
0:11:24	可搬型井清の 5 ページの数の話のところ③と打ってあるところなんですけど、
0:11:34	このあたりはあれですかね、数と、置く場所みたいなことも含めて、これ資料 2 の前段階の前の段階での整理と言いつつも、
0:11:46	資料 3 を見据えて、こういった整理もしつつ、資料 3 の時には、配置設計であたりと違って言ったところ、あとこの戸数容量を拾っていったりっていったところで、こういった整理をしたい。
0:12:01	ことから③っていうものも作ってるって感じなんですかね。
0:12:04	はい。日本原燃志田でございますはい。今おっしゃっていただいている通りです。資料 3 での配置設計なり、
0:12:12	系統的なものでいけばシステム設計的なものも、可搬の組み合わせをどう使おうと思ってるかってところも含まれると思いますがそういうことを考えながら、ここは整理をしているということでございます。
0:12:25	はい。規制庁の藤原です。わかりました。
0:12:33	次に、
0:12:35	まさに先ほどのちょっと言葉の問題。
0:12:39	とは思うんですけど、8 ページ目の、

0:12:44	11 条かざ火災のところの 201 番なんかは、さっきのフレーズお決まりフレーズで使われている日常点検よこすといったって話をした後に、
0:12:54	使用前の設備点検によりって言うふうに、
0:12:57	書かれていて、あれですかね、日常点検をしつつ、使用前にも確認してって言うことを言いたってことですかね。何か使用前だけ確認してるようにも、この文章だと思えてしまったんですけど、なのでその前の、
0:13:10	フレーズが何か意味があるのかよくわかんなくなっちゃってたんですが、1 としては、日常点検で確認しつつ、週前にもきちんと確認した上で、
0:13:20	機能を損なわないって言うことを確認していったって言う。
0:13:23	内容を言いたって言う理解でいいんですか。
0:13:26	はい。日本イシダでございます。はい。おっしゃっていただけてる通りです基本例えば、ねずみ等の小動物って言うので、可搬型 SA みたいなものには、車両みたいのも入りますんで、
0:13:38	そういったところの、まあ、あの例的にいいかどうかあれですけど、エンジンルームに変なねずみ自体が入ってないとかいうのを、日常点検もそうですし、当然動かす前には、
0:13:48	中を見て、変なものがないかっていうのを確認するって言うことも含めて、合わせ技にさせていただいてました。
0:13:56	はい。規制庁の藤原です。わかりました。そのあたりも何。
0:14:00	言いたいことが伝わるような文章を、もう少し検討いただけたらと思います。
0:14:08	続けて 9 ページ、これは具体的に何かを教えていただきたいだけなんですけど、地上とか、八条の竜巻とか、航空機、
0:14:19	墜落火災とかの部分で、
0:14:22	可搬のものを屋内に保管し、するものなんですけど建屋開口により防護が期待できないって話があるんですけど、これって具体的に何が有るんですか。
0:14:50	はい、日本イシダでございますちょっと具体的なものと例示を今上げようとするとコースみたいなものがある。
0:14:57	パターンがあったような気がします、具体のやつはもう一度調べておきますはい。
0:15:03	規制庁の藤原です。
0:15:05	そのホースとか可搬型のものを置く場所が、建屋内なんだけど、その建屋の開口部から少し、
0:15:16	見える状況のものがあるって言うことなんですかね。
0:15:20	保管場所、場所で、はい。

0:15:22	はい。日本原燃石田でございますはい。おっしゃっていただいている通りでございますけどもこれは
0:15:28	ちゃんと配置も含めて、どういう考え方でっていうのは竜巻とかの中でもお話をしないとけないと思っておりますが、第1回のMOXの時に、建屋の配置開口との関係の時も、新設のMOXは、
0:15:43	ある程度の範囲を見据えて、置かないという選択肢をとれるということの説明はしながらもうとはいえ再処理の場合は、なかなかそうはいかない場合もあると。
0:15:54	いう話をさせていただいてましたそのパターンが、やはり残っている部分はまだあるということでございます。
0:16:01	はい。規制庁の藤原です。助教わかりました。本文のところで、ざっと私の方で確認したい部分は、
0:16:10	以上ですので他、規制庁側からあればお願いします。
0:16:15	規制庁の新居です。
0:16:17	本文の3ページ目で、
0:16:21	(3)星取表の整理っていうところが、下の方にあると思うんですけども、
0:16:28	1000、前回のヒアリングの際に、
0:16:31	Dで、安全上支障のない期間で復旧しますっていう話が、
0:16:36	設計方針としてあり、SAについてもそこに貼り付けてはみてはどうかっていうところの考え方が、
0:16:44	この(3)に示されている。
0:16:48	と思いきはあんまり示されてないんですけど、その整理ってどこに書いてあるかって教えていただけますか。
0:17:05	少々お待ちください。
0:17:35	はい、弓削ニシダでございますすみませんこちらの手違いでちょっとまだ反映できてない。
0:17:40	可能性が高いですねはい。もう一度確認して、
0:17:43	修正の方考えます。はい。はい。一応前回のヒアリングの際に留意点、留意点として、おそらく合意した部分で、
0:17:54	※3になるものをふやさずに、今回対応しますっていうところで、※2とどめるっていうところの、
0:18:02	対応としてはどっかに書かれてるべきかなと思っていて、(3)のところでそういう留意点が書いてあったらここに示されてればいいなと思ったんですがなかったの、ちょっと
0:18:12	もう1回整理して、
0:18:16	必要な対応をお願いしたいと思います。
0:18:26	はい、日本インダでございます承知いたしました。はい。

0:18:30	あとちょっと、先ほどのフジワラの話ともかぶるわけ 3 ページ目で、
0:18:37	(3)の星取表の整理のところの最初のレ点の、
0:18:41	ポツの二つ。
0:18:43	目のところすみつき括弧でDB設備の基本設計方針番号の紐付けはまだ未対応というところで、
0:18:52	添付 1 で、具体的にどのような整理を行う予定かっていうのをもう 1 回説明してもらおう。
0:18:58	でもよろしいですか。
0:19:02	はい。弓削ニシダでございます。これは趨勢集の進め方日ヤノ後ですかね。
0:19:12	にやらしていただいた。ちょっと待って。
0:19:17	私も、
0:19:19	22
0:19:31	を行った。
0:19:36	いや、そんなマエダっけ大丈夫。
0:19:39	あ、規制庁ノジリですあれですかね説明グループとかの整理の資料の中で、そうですね 22 日にヒアリングをさせていただいた資料の、
0:19:49	7 ページ、いいですかね。2、書いてある。
0:19:58	日付の提出日は、たし、21 だったと思いますはい。21 日の
0:20:05	説明グループの設定の考え方整理の考え方という資料の 7 ページ目に、
0:20:12	イメージを書かさせていただいてます。
0:20:16	丸をついているところにそれぞれのDB側の条文のこれカガワ-0 黒丸で書いてますけど、基本設計方針が一つでは多分ないので、
0:20:29	何番から何番みたいな紐づけをしようというのが思いを持ってる姿でした。
0:20:34	了解ヘイスウわかりましたちょっと話を思い出してきました。
0:20:38	だって八条については細分化されるっていう話で、火山の項目の基本設計を白ナンバー何なりとかっていう角度をここで紐づけるっていうところを、今回の資料の添付 1 の中で図るっていう、
0:20:51	そういうところで認識しました。スケジュール感っていうのは変わって、
0:20:58	はいないですかね。
0:21:00	はい。
0:21:01	なんかあまり限られてるような気もしますが変わってません。はい。了解です。
0:21:06	規制庁の藤尾 12 月 1 日今週金曜日に提出ですか。
0:21:13	はい。

0:21:14	はい。
0:21:18	規制庁かですけどちょっと今のところ関連してなんですが、DBの設計項目の整理の明日のところのヒアリングで、明後日提出。
0:21:27	今、今のところはサッと提出は可能そうですか。
0:21:37	はい。弓削イシダでございますはい。予定通りでございます。はい。議長。わかりました。
0:21:48	荒井さん以上でしたら、あと私からありますが、
0:21:52	はい。
0:21:53	す。
0:21:54	まず、3 ページ目。
0:21:56	本文の3 ページ目のところで、(3)の上の段落のところなんか、あと他のところでもあるんですが、
0:22:04	地震随件事象が、3 行目。
0:22:08	水のことしか書いてないんですが例えば医薬品なんかは、
0:22:13	ちゃんと地震随伴があるということで整理されてますよ。
0:22:22	はい、稲毛石田でございますはい。そこは失礼いたしました認識をしております。はい。はい、規制庁おそらく別邸の方は、薬品もちゃんと地震随伴で考えられてると思いましたので、
0:22:33	はい。こういう本文のところで見たような話かもしれないんですが4 ページ目の、
0:22:40	サンポすんの上、2 ポツの最後の、
0:22:44	最後から二つ目の矢羽根、今回追加されたチェックなんですが、
0:22:50	具体的にはっていう、2 行目の森林火災の発生の原因となる近隣工場等の火災は森林火災、
0:22:57	に対する設計方針に紐づけて整理するって、
0:23:00	敷地内危険物貯蔵施設等の火災も森林火災にここは紐づける。
0:23:07	ということなんでしょう。
0:23:27	はい、日本イシダでございます。まずは大枠、もともと考えていた近隣工場等の火災ということで、大枠の整理にしてしまっているのが現状です。
0:23:38	多分おっしゃっていただいたような、せつかく横軸を石油備蓄と敷いてない火災を分けたのに、ここでくっつしまうと、結局分けたもの、意味が、
0:23:49	十分発揮できないということもあるということだと思うので、横軸の整理とあわせて、考え方の紐づけをしていければと思いますはい。
0:23:59	はい。木津課長からです。おっしゃる通りです。よろしく申し上げます。
0:24:06	バツと9 ページ目の都丸さんの扱いなんか先ほども竜巻のところなんか、

0:24:14	加来アノフジワラの方から確認いただいたんですが、
0:24:18	可搬型SA設備の
0:24:21	考え方として、
0:24:25	必要数プラス予備を防護することを基本としつつ、
0:24:29	というふうにも、
0:24:30	前はあるんですが、
0:24:33	その部分っていうのはどこに表れているんでしょうか。
0:24:45	はい。弓削ニシダでございますはい。基本多分、あれか。
0:24:53	0※1って書いた時に全体の中の全体の全数を0※1と言ってるわけじゃなくて一部がマル※1で他は0でやるつもりだと。
0:25:05	ということが基本なので、そここのリンクかと思えます。そういったことが見えるようにしていかないといけないですね。全部が全部、※1で、
0:25:17	守れないものを前提にということじゃないと思ってますので、そういった整理をしていければと思いました。はい。
0:25:22	はい、規制庁からちょっと今泉丸さんに周知されているものっていうのが、
0:25:27	これは
0:25:30	ここ壊れても、1個はT助かりますんで、大丈夫ですっていう説明をされようとしているんですよ。
0:25:41	はい。榎上西でございます。はい。そういうことです。はい。はい。それじゃ、そのイトウがちょっと、これらの竜巻とか、航空機墜落火災に対しても、
0:25:51	何か本することを基本としている、離縁を守ることを基本としている。
0:25:56	というふうにも読んでしまって、どこで守ろうとしてんのかっていう、
0:26:01	ところはちょっと曖昧になってましたので、ちょっとその辺はわかるように、
0:26:05	表現していただければと思います。
0:26:10	すいません。コサクです。その通りなんですけど、
0:26:16	どうするのかなっていうのがちょっと私がビジョンを描けてなくて、原燃の
0:26:23	対応方針なり、状況を教えていただければと思ってます。具体的には今の話、移していただいている竜巻で言えば、
0:26:36	ここに、一つ目のポツで書いてあるのが、屋内に保管するが建屋開口等により、期待できない。
0:26:45	可搬型へ清設備はとってきてるんですけど、

0:26:49	これそもそももうそういう保管でいいのか、なんでそういう保管でいいってしてるんだっていう、入口がないと、この③で言ってるこの基本として、困難な場合っていう説明ができないんじゃないかな。
0:27:04	思っていてですね。
0:27:06	で、
0:27:08	とは言っても最低限の防護はしているはずで、屋外保管についても、飛来防止の固縛をしていて、
0:27:18	実際に使うときには固縛が外せるようにしているということがあるわけで、
0:27:24	そのあたりの関係性を整理する必要があるんじゃないかなと思うんですけど、一方で基本設計方針はそういうのを小出しにしているようなところもあるので、
0:27:36	そっコガ見えるようにしていかないといけないと思うんですけど、ここで基本設計方針番号も 30、121 って書いてあったり複数のことが書いて、
0:27:47	ありつつ、
0:27:49	ここの、
0:27:50	大枠の方針としては井関分散と、環境条件等っていうのを分けて話をしていますとかって言ってることもあってですね。
0:27:59	そういう全体をどういうふうに整理をしているのか。
0:28:03	或いはしていけると思われてるのかどうしようとしてるのか、教えていただけますか。
0:28:29	はい、乳井西浦でございます。はい。まだちょっと私も頭の整理をしなきゃいけないと思っているところの前提はですね、
0:28:38	おっしゃっていただいたように基本の考え方がまずある。ただその考え方も、多様性位置的分散、環境条件等、
0:28:48	といった行政業種に分散してそれぞれの要件を述べている。全体の要員要求に対する設計方針をどこで語ってどうひもづけていくかという整理。
0:29:01	大体これがイレギュラーなのかというところから来ると、もともとの考え方がちゃんとあるはずで、複数置いてるってことは何らかの時に、
0:29:11	ちゃんと対応できるように分散をしているし、必要なものを、必要な場所に置いているという考え方とのリンクもあるので、それを多分共通事項、どこの業績を心で全体のシステム設計なりを語るのか。
0:29:26	配置設計とのリンクを語るのかっていうところをちゃんと整理をして、全体のツリーをつくらないといけないと思ってますので、

0:29:33	そこをちょっとすいません検討した上アノす。その考え方をもとにこの記載の方法もですね、ちょっと考えていきたいと思います。はい。
0:29:49	すいませんコサクですありがとうございます。
0:29:51	言われる通りですね、
0:29:54	大枠のその位置的分散多様性位置的分散等、
0:30:00	個数要領で環境条件等っていうのは関連性を持って設計方針組まれているので、その関連性をまず明確にして、どこで何を説明するのか。
0:30:12	それを踏まえてこういったところをどう、それぞれ変えていくのかというのをまとめないとですね。
0:30:18	ええ。
0:30:21	認識が合った形で作業が進まないのかなというふうに思います。
0:30:25	で、システム設計っていう関係からすると、一番最初の多様性位置的分散が一番ポイントになるんだと思うので、
0:30:34	速攻で丸さんの言っている、某困難な場合っていうところに対して位置的分散を図るという、
0:30:45	中心だと思うんで、そこはそっちでちゃんと説明するのかなあと考えてますんで、それを前提として、環境条件等でこういうふうにしますよということになるのかなと思うので、ここ抜き出してるのはその場所だと思いますから、
0:31:05	その前段となる位置的分散の方針を前が前提ですよという関連性を何か書いた方がいいかなあとは思うんですけど。
0:31:15	そういう工夫ってすることになってます。
0:31:19	多分言うても、はい。弓削記者でございます。そうですね。
0:31:25	どのみち、イマイ呉。
0:31:29	フジタのところですし資料2の段階でも、これから頭にくる人が誰で、そこから、これの設計方針全体に基づいて、
0:31:40	個別のこういう部分を振りますよという義務づけをする必要がありますんで、
0:31:46	そういう関係性を見せることはもともとの共通の仕組みでもできると思ってます。
0:31:55	はい、わかりましたコサクですわかりました。
0:32:00	明示的に完全に振るわけじゃなくて、前提条件みたいなところはこっちですよっていう形ではあるので、そういうのも
0:32:08	修飾語みたいなことはしっかり書いてばっかりようにしましょうねっていうのは(2)言ったかと思いますがのでよろしくお願ひします。で、
0:32:20	なぜかっていうと、ここ先ほどお話したように、この条件っていうのが適切なのか、なんていうのはあれですね、防護が期待できないと。

0:32:31	ということが適切なのか、それを踏まえ、
0:32:41	それであっても大丈夫なというこの 100 メーター以上離れたというような話が、具体的にどの位置かっということになるわけで、
0:32:52	それをしっかりと説明して相互にトータルとして機能を維持できるという、
0:32:59	ことが見やすくなるようにしていただければ、
0:33:02	あります。
0:33:04	これを加算を戻します。
0:33:07	正当化です。今の議論で私も整備の方針で変えてきましたありがとうございます。で、あと、またちょっと藤原も言っていたような言葉の表現の話になるのかもしれないんですけど、
0:33:21	7 ページ目の①で、整理されているところの、
0:33:26	例えば 8 条竜巻でと竜巻と重大事故等の発生に関連性がない特徴とか書いてあって、
0:33:34	これ、
0:33:36	この部分の表現が、
0:33:39	達成に関連性がないっていう。
0:33:42	ものとあと、
0:33:45	本文側に行くと、要因とし、事象を要因とする重大事故等の発生に関係性がないとか、あと因果関係とか、
0:33:57	なんか毎回出てくるたびに言葉がずれていて違うことを表現しているのか、同じことなのか、どれもおそらくでいくと、今、
0:34:07	やろうとして考慮する外部衝撃等々、重大事故等の発生の因果関係とか、そういうことを表現しようとしているのかなと思うんですが、何か毎回言葉が違って、
0:34:19	都度、何を言っているのかって考え。
0:34:23	るところなんですがこの辺で、
0:34:25	何か書き分けてあるんですか、それとも全部同じですか。
0:34:41	はい、日本イシハラでございます言いたいことは同じですので、言葉を合わせます。
0:34:48	私もちょっと記憶が曖昧なんですけど、
0:34:54	自然現象とか何かそういう関係性がないと設計の関連性とか時間の問題とか、なんかそんな、
0:35:05	業務適用しなかった許可だったのかな。
0:35:11	そういう意味で、
0:35:13	成長がです。で言いたいことは、当時、重大事故の発生の要因にならない。

0:35:20	はい、そうです。はい。そういうことなんですよ。はい。どれも。はい。わかりました。
0:35:25	ちょっとその辺の言葉、どこか探して適切な言葉を、
0:35:30	お願いします。
0:35:31	あと、ちょっと今後の整理の話なんですけど今回 36 条だけされて、
0:35:38	まずグループ 1 の 12 月の会合に向けた、準備設計すべき項目の準備のために今、作業されてると思うんですが、
0:35:48	個別のSA事象は、また別で詰めている。
0:35:55	法で設計すべき項目を整理して、そこで載せていくっていうそういうことですよ。
0:36:02	はい。日本原燃石田でございますはい。1 日ですかね、お出しをする資料、説明グループの設定の前回かなりばくっとやってしまった。
0:36:13	個別条文の分解もですね基本設計方針の展開を見ながら、説明グループの設定に必要な隅括弧を抜き出すという観点で外部ハザード内部ハザードに対する考慮だとか、
0:36:28	もしくはその機能そのものを説明したいものかということ、基本設計方針ベースでブレークをして、作業の展開をするということで、やろうと思ってました。
0:36:39	はい。齊藤オカです。その辺もできれば今回のその目的とかに、杯といていただけたらよかったなと思った次第です。
0:36:49	ただ今後こういうそのSAの要求事項の整理の方で、
0:36:53	展開していく予定なんですか。
0:36:57	個別辞書。
0:37:15	はい。日本原燃石田でございます。どうぞ。ちょっと伺えます。はい。すみません。
0:37:20	はい規制庁勝まずはその 12 月の会合に向けたフェーズっていう展開では、今の整理で、理解しておりますので、その旨を何かちょっとわかるように
0:37:30	資料の位置付け等で
0:37:33	示していただければと思います。以上です。
0:37:39	設置ヤマグチです。
0:37:46	して、私の方がちょっと生き抜けんですけども、8 ページの可搬型衛星のちょっと一声薬品に関してでも、氏原の方からお伝えした言葉の整理で、多分明確になってくると思うんですけど、ちょっと防水新統の扱い。
0:38:02	前から気になってたのをちょっとお伺いしたいんですけども。
0:38:05	籐椅子医薬品、
0:38:08	ついて、

0:38:10	の対応は、井清に対しての判断体制についてはこれは
0:38:16	防水シートで防護するだけなのかそれとも移動させることが可能でって移動とか保守点検とかの運用上の措置もコラボで対策するのかって、この辺り、
0:38:30	ガーゼしようかっていうのも何か防水シート、特にコラボなしで大瀬シートに保護することだけなら、
0:38:38	可搬型だけじゃなくてSs-Aと、
0:38:41	はい、常設の方も、何か同じような対応になるのかなってちょっとその辺りの違いがわからなかったのでちょっとこう具体をお伺いしてもいいでしょうか。
0:38:53	はい、日本イシダでございます。はい。儘田、コラボをであるとは思いません。はいタダノ、長先生は疑問
0:39:04	守る。
0:39:05	ことが園庭になってますので防水シートみたいなよりは、保護構造っていうんですかね。ていうことを展開をしていくのかなと思ってました。これも
0:39:17	そうですねおっしゃっていただいたように
0:39:20	日常点検や起こすといった運用上の措置が容易であることを踏まえてこの辺が毎年の文章とどうか、絡んでいるのかが、確かに浮いてるような気もするので、
0:39:30	全体としてやりたいことが全部わかるように文章、再再度整理します。
0:39:37	長ヤマグチ
0:39:45	秋谷氏、
0:39:47	ナリタ
0:39:56	アンリュウ 5 番は何となく、SDPOSイシイとちょっと似たような、
0:40:01	イメージもあるんですけども、ちょっと具体は、
0:40:04	明確にして、コラボ
0:40:07	の間、
0:40:09	コラボする可能性があるっていうことであればそれ可搬型物としての特徴としての設計にはなると思うので、また確認できればと思います。
0:40:21	すいませんコサクです。
0:40:25	今
0:40:27	石原さんの回答からすると防水シートっていうのは、きすいい対策としては十分じゃないっていう認識を持たれてるっていう理解でいいですか。
0:40:45	日本原燃志田でございます。まず、防水シート自体に一定の機能の期待はしてますのでそういったものを試験でも確認したようなものを使うということは前提で考えてました。

0:41:00	コサクです。そうだと思うんですけど、常設の場合は、
0:41:07	何ですかね移動できない。日常点検補修で容易でないというちょっと語弊がありますけど、を踏まえ、防水シートではなく防護盤にしますと。
0:41:19	ということですよ。
0:41:28	はい。宮城ニシウラでございます。予防そうですね
0:41:33	一睡も防護版を使う場合と、報告構造にする場合とパターンが幾つかあったと思うのでそれもSAもそれに応じてやるもんだと思ってました。直撃するようなものを、
0:41:47	ですね真上に配管がいて、それが破損すると直撃して水が直噴射するようなものは、防護盤の真ん中に干渉をさせようということですし、
0:41:58	没水みたいだとあと被水である程度直撃がないようなところは、多分保護構造で、機能期待のはっきりしますみたいのも、
0:42:08	DBではやってることだと思うのでそれと同じようなことをSAにも展開するのかなと思ってたので、先ほどのような表現をさせていただきました。
0:42:18	コサクです。だとすると、
0:42:21	それと防水シートって何が違うんだっていうことなんですけど、
0:42:28	常設か可搬かとかじゃなくて、そういう状況を踏まえてどう防護するんだっていう一体で1回説明いただかないと、ここでコラボだとかって言う意味がわからないんじゃないかなと思ひ、
0:42:42	はい、弓削石田でございますはい。承知しました。おっしゃっていただいてるように防護盤と、試験とかで機能確認した防水シートは、
0:42:53	みずから守るという意味ではおっしゃって同じ機能を期待しているもので、それが同じ役割であるということからするとあまり差がないと思いますその辺の全体の整理をして、
0:43:06	説明をさせていただきますはい。
0:43:10	はい、古作ですよろしくお願ひします。
0:43:13	青井。
0:43:14	具体的にどの位置の何の話してるのかっていうこともあるんですけど、あれ、屋外とかの場合であれば防水シートっていうことなのかコンテナとかである意味防護盤的な、
0:43:32	或いは保護構造のかどっちかわかりませんが、いうものということなのか、どんなイメージされてます。
0:43:47	はい、乳井ニシダでございますそうですねこれも全部に対して同じことをやろうと思ってるわけではないのでそれがベースとして何が防水シートを期待しているのかみたいなものがわかるようにはさせていただきます。
0:44:00	他の可搬の計装品とかを保管してる場所で、

0:44:05	水がかかる可能性があるところは防水シートで覆ってその状態で保管をしておくということ、水がかかってもう機能を損なわないようにしておく、というようなことを考えてたところもありましたのでそういった具体例も含めて、
0:44:18	代表がわかるようにさせていただければと思います。
0:44:22	はい。補足です。よろしくお願いします。ていうのも、今、話いただいたのでさ
0:44:29	ケースに入れて保管しているなり、坂野構造を作っておいて
0:44:36	防水仕様にしていたりってということもあったと思うので、
0:44:42	必ずしも防水シートで防護ってということになるものって何なんだっていうのがちょっとよくわからない。
0:44:50	ですね。
0:44:52	なので、一連、
0:44:55	の方向性を明確にさせていただければと思います。以上です。
0:45:05	規制庁の藤原です。この本文の方で他規制庁から側から何かありますでしょうか。
0:45:12	規制庁のアライアノ、7ページ目強化、ちょっと別添という形だったので、ちょっと別添
0:45:19	というところで、
0:45:20	言葉の表現だけかもしれないんですけど、7ページ目の、
0:45:26	溢水薬品のところの87番ですかね。最初のポツで、想定破損による溢水に対して機能喪失する切ゴコウはっていうところで、
0:45:38	基本的に静的な設備って、没水とかそういうのに無縁な気がしてて、接続孔は機能喪失するっていうのは、あんまり、
0:45:47	短絡的な表現なのかなとは思っていて、ここで言いたいのって接続孔を使った手順が達成できないという意味で、
0:45:56	アクセスルートの機能喪失ってということになるんですか、本来の位置づける排尿現象でございますこれあれですね、SA側でもいろいろ議論あって考えなきゃいけない場所中では、おっしゃる通り
0:46:10	設置場所ダテ保管場所等、
0:46:14	アクセスルート、それ以外に操作場所ってというのが環境条件等として考えなきゃいけない部分だと思ってまして一番最後の操作場所ですねこれは、
0:46:24	の接続工自体に、大須賀になんなりをつなぐという場所に対して、接続自体が没水してしまうと人が言ってもそこに放送つなげないという状況になるので、

0:46:37	そういった状況の話をしてました。はい。厳密に言えば接続法の操作場所っていう形になるわけですかね最初のところは。そうですねはい。
0:46:47	わかりました。
0:46:50	あとは8ページ目で、
0:46:53	11条の火災で、2、201ですかね基本セキオダイシコの生物学的事象って具体的に何なんですかね、火災で。
0:47:01	解体というのは、
0:47:10	はい、乳井西田でございますこれあれですね、よくあるのは、部類みたいなものをねずみがかじって下落するとか、火災が電気火災が起こるとか、そういったものをもととは考えてましたはい。
0:47:26	機能喪失して断線してその随伴として火災が起きるっていうところまでイメージしてここに枠に入れてるってそういう理解ですかね。
0:47:35	はい。おっしゃっていただけてる通りです。わかりました。
0:47:41	コサクですねのためですけど、あの事象は理解できたんですけど、
0:47:45	それって八条じゃなくて11条にもともと捨てるんですけど。
0:47:56	日本インダで午前、ちょっとお待ちください。
0:48:00	普通は地上で受けるような、
0:48:31	はい、二本木西田でございます。火災の条文で自然現象等による火災爆発の発生防止というのが、
0:48:40	多分これとコラボしているんじゃないかなと思ってました。その中に性別的学資事象も、項目としては含まれていてこれを考慮するということが火災としての条文要求、基本設計方針がで展開をされているので、
0:48:55	ここの関係ということで理解をしてました。
0:49:02	古作です。
0:49:04	それはわかりました。
0:49:07	何かそうすると、DBの、11条の火災防護の中に、この観点での点検がうたわれていて、
0:49:17	SAでも同じようにやりますよっていうことになってるっていう理解でいいですか。
0:49:37	はい、日本インダでございますここもちょっと整理をさせていただきますDBが基本常設のものなので侵入しがたい構造、
0:49:48	よく言う密閉構造にしますとかいう形にしていると思ってました。過半のSAだからという意味で車両とかそういうのも含めて、
0:49:58	こういった点検の話を持ち出しているんですけど、それがDBとの関係でどうなのかというところを整理して、ここで
0:50:07	適切性っていうかね、どう考えたのかってとこわかるように、記載を拡充させていただければと思います。

0:50:14	小阪です。そうだとすると、やっぱり 80 じゃないのっていう気もするんですよね 11 条は関係ないってことではないのはわかりましたけど、
0:50:25	火災防護というよりも、
0:50:29	その可搬型SAの機能が喪失する。
0:50:34	こともあるわけで、
0:50:38	その点では火災防護。
0:50:40	ではないのじゃないかなと思う。
0:50:43	て言って、
0:50:45	今言われたように
0:50:49	小動物の侵入防止というのをDBと同じようには図れないということであれば、
0:50:55	八条枠での対応の違いということであっていただかないとなというふうに思ったんですけどいかがでしょう。
0:51:04	はい。弓削ニシダでございますはい。その整理をさせていただきますおっしゃっていただいたように、添付 1 でいく等、36 条の 127 番ですかねここで八条の関係の、
0:51:15	生物学的事象とのコラボを可搬の話があって、ここで展開がまさしく一番メインだろうと、いうところで、それとの関係でどっちを主にしていうのは多分章を主にして、火災の方は八条に来ると。
0:51:31	ということのかなと思いますのでその辺の整理させていただきます。
0:51:36	コサクです。よろしくお願いします。
0:51:39	アリソンおかしいです。
0:51:41	町田アライです。最後なんですけども、8 ページ目の、
0:51:45	最初の津波のところで、
0:51:49	津波が発生した場合、
0:51:53	の対応として、据付の、
0:51:56	下井清設備を退避させるっていうところなんですけど。
0:52:00	据えつけるって言うからには、使おうとしているから、そこに設置するって話だと思うんですけど。
0:52:11	SA対応が、対比させることで、
0:52:16	成立しなくなってしまう恐れっていうのが、この三行だけだと出てきてしまうのかなと思っていて、
0:52:25	その事故対応の成立性との関係はどのように整理しているのかっていうのは、
0:52:30	先ほど口頭で時間とかがっていう話はありませんでしたが、ちゃんと書いた方がいいのではないのかなと思うんですけどいかがですか。

0:52:39	はい。与儀イシダでございますはい。その辺の整理もさせていただきます基本はおっしゃっていただいてる
0:52:47	直接的な事故対象は、第1浄水場ですかね、の容量でやると、第1浄水場に対して、
0:52:57	水が追加で必要な場合は第2から持ってくる。
0:53:03	さらには、外から持ってくるといういろんなパターンを考えていてその外から持ってくる時の緊急性というか時間的余裕というか、そういったものとの関係で、こういったた一環据えつけたものを対比させたとしても、その対処に必要な時間的なものとの関係で、
0:53:21	対応が可能だと、いうことを前提に、こういった設計方針になると思いますんで前提として何を考えているかもわかるように、この中で整理をさせていただきますいただければと思います。
0:53:33	はい。規制庁の新井です。そういう意味だと、津波以外にも、火山とか、
0:53:39	もうありますので、その辺の整理っていうのはもう少し詳細に、考え方をに入れてですね、やった方がいいのではないかと考えています。以上です。
0:53:53	コサクです。
0:53:56	結局これ何でしたっけっていうことを具体を、話ができればと思うんですけど、これ据付において対比を含めたっていうのが、時系列がよくわからない。
0:54:10	じゃないかなと思うんですけど。
0:54:14	金が一地震なりであった場合、地震ナリタ地震からの時に、その随伴の津波っていうのは、
0:54:27	当初からは意識しているはずで、
0:54:30	津波が来る可能性があると言った時には、
0:54:35	据えつけるんでしたっけ。
0:54:38	据えつけを待つんです。
0:54:40	どっちですかね。
0:54:43	はい、乳井西田でございます。おっしゃっていただいたように最初の地震起因のところの津波オノの地震と津波の関係でいくと、
0:54:52	保管場所から持って行って尾駁沼なりに据えつける時には、津波警報が解除されるのを待つ杖付けるというのが基本、運用でもともと定めていることでございます。確か。
0:55:05	基本セキハウジョウの方針上もそう書いていたと思っております。あとは余震を含めた次に来る津波に対してどう考えるかってところがここに書いてあるところでございます。はい。
0:55:19	はい。コサクです。で、ここで書いてあるのはその後の第

0:55:25	第2というか起きる地震での津波と、
0:55:30	いうことを踏まえてというと、SA月1回据えつけてあります。
0:55:39	その時に地震が発生をし、津波が発生をすると。
0:55:44	いうことになったときに、津波が来るので退避をします。
0:55:50	そのときの退避は据付を1回撤去するという事なのか。
0:55:56	そこは諦めて予備の準備に入ることなのかどちらでした。
0:56:03	はい、弓削西田でございますはい。おっしゃっていただいている通り二つの組み合わせだと思ってまして組み合わせっていうのが設備によると思ってます。
0:56:17	投げ込みのポンプも含めて一番末端につけてるものは、うまく撤去して逃げることが、かなり難しいと思うので、
0:56:27	そこは予備を持ってきて入れ替えるという手段かと思ってます。あとさらに一条側にも上っていたところへある大型移送ポンプみたいなものは車両になりますのでそこはす。
0:56:39	固定をしているものを解除して、車両自体を逃がすということかと思ってました。はい。
0:56:48	はい。補足です。そういったところが運用上の配慮ってことなんですか。
0:56:56	はい。言葉が漠としてますがはいそういったことです。はい。
0:57:01	はい。補足です。
0:57:03	だから、あれですねその考慮によって、今言った
0:57:11	取水ポンプみたいなのは予備数をしっかり持つと。
0:57:15	ということだし、予備数でカッコシ切れないようなもの、移送ポンプ等は、退避をするんだと。
0:57:26	というようなことだったりっていう、組み合わせをしっかりとこの枠で説明していきますっていうことですかね。
0:57:34	はい。弓削ニシダでございますはい。おっしゃっていただいている通りかと思ってました。はい。
0:57:40	はい。コサクです。状況はわかりました。この部分の、この一文だけでどれだけ表現できるのかってのは難しいですけど、なるべくわかるようにしていただいて具体、展開して、
0:57:56	以上です。
0:58:00	小阪です。新井さん終わりでした。私終わりですもん。
0:58:04	はい、大作です。私から少し、
0:58:08	大枠の話になるんですけど、
0:58:11	途中で位置的分散とかとの関係性っていう能のお話はしたんですけど、
0:58:19	前回も少しお話しましたが、へえ。
0:58:25	4、

0:58:27	ページの 3、
0:58:30	サンボ通Noナカで(1)(2)というようなことで外的SEで云々でというので、分解して書かれているんですけど、
0:58:41	結局は
0:58:46	外的だろうが内的だろうが一。
0:58:51	だろうがちょっとあれですけど、想定しているものは、
0:58:56	その要因とし、
0:59:01	対応すべき事象と、
0:59:03	いう。
0:59:05	どういう時に期待しているのかと。
0:59:08	いう条件っていうのに対して、その条件においては使えるようにしましょうねっていう基本コンセプトは変わらなくて、
0:59:16	それが何か、
0:59:19	というところに対応する、説明と、そうではない時に対してもこういうような対応をとりますよという思想は外的だろうが内的だろうが一緒かなと。
0:59:31	思っているんですけど、その時に一緒な部分は同じようにやってますよねっていうことかなと思ってたんですけど、認識にずれがあるところがあります。いや、こういう場所はこういうふうになってますっていうのは、
0:59:45	があれば、今聞いておきたいんですけど。
0:59:54	来期は、
1:00:15	はい、日本原燃車でございます考慮すべきものに対してしっかりと設計をするということのコンセプトは快適で尾田一条と差はないと思ってますはい。
1:00:26	特にそこで、
1:00:30	何かここはこういうことをわざわざやってますということはないと思ってますはい。ちょっと整理をして、説明すべきことがあれば、また、この資料を確認してでも、説明をしないといけないと思いますが。はい。
1:00:46	はい。補足です。その点で言うと 6 ページのその 3 ポツの一番最後です。ね。
1:00:53	※書きが追加されていて、外的内的であろうと、みたいな感じのことは書かれて、
1:01:01	いるので、ここは
1:01:07	括弧 1B1 と同じ考えという。
1:01:12	アノし、
1:01:19	すいません。
1:01:20	随分局所的に、

1:01:24	内的外的の同じ部分、こう言われてるんですけど私申し上げたのは、局所というよりは全体的な思想としても一緒じゃないのという、負担中と(1)(2)分ける意味がどれだけあるんだという、
1:01:38	ぐらいの感覚でいてですね。
1:01:41	もう少し広く見ておいていただいて、
1:01:47	なるべく、
1:01:48	9、
1:01:49	統一した思想のもとでの説明の仕方っていうのをまとめていただきたいなと思う。
1:01:56	てます。
1:01:59	今のところの文章重み、
1:02:01	もんでおいて欲しいというよりは、
1:02:05	7ページ以降にその具体的に書きだされていったところの内容が、なるべく
1:02:13	パターンを減らしていくて、減らしつつ、その中で、多少の違いがあるっていうものは違いを明示していくという、
1:02:24	ことでまとめてもらいたいなと思っ
1:02:28	てます。
1:02:31	そういった時に
1:02:36	等、
1:02:39	7ページ以降で言うと内的外的っていうのはでは書いていない感じもしますけど、それはあれですかね①②③でそもそも違って、
1:02:51	抜き出してきてるからってことですかね。
1:02:54	はい。弓削西尾でございますはい。おっしゃっていただいている①が、外的の常設とか、そうですね。
1:03:03	それぞれの発生元がそれぞれ付けているところで書いてますけど、
1:03:08	おっしゃったように全体の思想、共通方針みたいのが、やはりちゃんと書けてないとかそれに従った、
1:03:16	分類ができていないと、先ほどあった基本設計方針の立て付けから全体の設計思想と次が多分でき上がらないので、
1:03:27	その辺を整理をさせていただければと思いますはい。
1:03:33	はい。補足ですよろしく申し上げます。
1:03:37	藤。
1:03:41	え。
1:03:42	例えば①、
1:03:46	同②って何が違うんですかね。

1:04:04	はい。入園者でございますここも多分常設と可搬で分けているから020101 までに分かれてますけど、
1:04:13	運用上の措置で機能を維持するということは変わらないと思ってますその手段が、
1:04:21	交換だったり1点検だったり移動だったり、いいかなと思いますその辺も、全体の市長としての共通的な考えがあった上での、具体的な措置としての例示と、
1:04:35	ということだとすると①②を分ける必ことも多分なくなるのではないかなという気もしてますけど、①と③が2点目の骨子なんですよ。
1:04:46	でもさ、丸さんって言うてる丸さんは設計思想そのものだよね。
1:04:52	細田です。
1:04:54	今瀬川さんが言われているのを、納得はするものの、それが先ほど申し上げたように、前提のことと、防護のところとの、
1:05:05	考え方の違いなんですね。丸さんはどちらかっていうと前提の訪日河合ところの話をしてて、
1:05:12	一方で、前提はありつつ、午後の話までまじっちゃってるからちょっと混乱すると、ということなんですよ。
1:05:21	で防護の方でいくと、防護できないって言うてるのは0102に本来はなっていて、そこらの分解をちゃんと整理をすることじゃないかなと思いますけど。
1:05:34	はい、日本ヨシダでございます。はい。ちょっとセガワとも話をしてはい。おっしゃっていただいている通りだと思うのははい。整理を進めます。はい。
1:05:45	コサクです。よろしくお願いします。で、
1:05:49	それで整理をいただく際に、今回非常によく考えられたなと思うのは、別添2 入ったところの文章もう
1:06:00	点を、
1:06:02	売っているところとかで改行なりなりしてみると、そのフレーズごとに、ちゃんと意図を持って主語なのか前提なのか。
1:06:13	条件、
1:06:15	対象方法みたいなことが明確にわかるようになっていて、かつフレーズフレーズをなるべく統一して変えていこうと。
1:06:25	いうことは、見て取れたんで、その時のそれぞれの
1:06:35	部のですね、表現をなるべく的確にということで、これまでもオオオカとかそこら辺のところで、統一してくださいとか違いがあれば違いがわかるようにというようなこととお話をしたと思いますので、

1:06:50	今言ったところの整理も含めてどう変えていくのがいいかというのをブラッシュアップしていただければと思います。以上です。
1:07:06	はい、与儀西原でございます。はい。ありがとうございます承知いたしました。
1:07:12	規制庁の藤村です。では本文の方では規制庁側からもう大丈夫ですかね。
1:07:18	ことで添付の方の確認に入りたいと思います。
1:07:24	あと私の方からまず、10 ページ目の 6 番なんですけど、
1:07:30	73 条の漏えいの
1:07:33	話のところ、
1:07:35	これって、43 条ってこの後何か展開があるんですけど。
1:07:47	はい。与儀ニシダでございます。
1:07:53	設計方針上は、対対象とか事故の発生がないので、必要な設備はないということの設計方針は展開されます。
1:08:06	規制庁の藤原Headじゃあ、
1:08:09	36 条のこの部分以外にも書かれる場所があるってことですかね。
1:08:17	はい。弓削イシダでございますはい。43 条を受けて、確か閉じ込めの基本設計方針の、
1:08:28	どっか添付書類の発生で、もともとこういったものはありませんよという展開をしていたと記憶することになったと記憶してます。
1:08:38	セットじゃないですか。わかりました。その時に今は 43 条に展開するって書いてあるんですけどそれがあれですかねその閉じ込めの部分に紐づいていくって理解でいいんですか。
1:08:51	はい。ちょっとそこの、そうですね実際やってることの見せ方はちょっと考えます。はい。
1:08:57	はい。規制庁、
1:08:59	はい、よろしく申し上げます。
1:09:05	続けて、
1:09:07	11 ページの今回、基本設計方針を、
1:09:12	保安規定に定めて管理するみたいな内的の非安重のプレゼンのところですかね、運用要求とかで整理するのに、枝番をつけて基本設計方針をもう一度整理いただいてる。
1:09:27	ことは確認したんですけど、この 15 の一番の中で、
1:09:32	関連する工程の停止っていうところって横に対して限界がない気がするんですけど、この辺でどう整理されてますか。
1:10:06	はい。日本イシダでございます。ここがあれですね、凍結風から下書いてある外傷関係のところに書いて代替設備により必要な機能を、

1:10:20	確保する設計っていうところが、ここ、設計方針通りで考えると、
1:10:27	でもさ、なんだな。だからここにもう1個丸がいるのか、工程停止があつて、もう1個丸をつけて代替設備による機能確保と、もう一つが工程停止による呉という話を入れるということですかねやるとすると、はい。
1:10:47	はい。規制庁の藤原です。おっしゃっていた通り、代替代替設備の、での機能確保と、
1:10:54	修理の話があるんですけど工程停止のところ、どこに入っているのかわからなかったの整理をお願いします。これ阿藤プレイズとしては、たくさん使われているので、全体的に確認をして同じ整理にしていだけたらと思います。
1:11:17	続けて、
1:11:28	続けて15ページの、
1:11:32	44番、
1:11:36	これ環境条件に対する健全性についてはっていうところで環境条件等のパート2、
1:11:44	衛藤。
1:11:45	バトンを渡してる部分なんですけど、これって、
1:11:49	今書いてある部分だけ、
1:11:53	が書かれてる理由っていうのはなぜかっていうところを聞きたいんですけど、地震とか火災とかその辺りのパッドって、
1:12:02	樋門、何かそれの上の展開からで紐つかないんですか。
1:12:13	はい、与儀根井町でございます。この45番ですよね。45番の44番です。
1:12:21	44番か。はい。うん。
1:12:23	44万1044番の前野さん10呉8番で、津波と地震を多分、あと葛西萌花。
1:12:36	他の。
1:12:38	基本設計方針飛ばしてますよねと、30、
1:12:45	よ。
1:12:47	でもこのスキームできたらさ、これずっときたら、ここで1階部分だよ。これで飛んでないやつを最後環境条件飛ばしてんだよ。だから、増設、
1:13:00	38ですよ。37と38でもうそっちを飛ばしてるから残ったやつの環境条件だけを69番飛ばしてってくださいね。
1:13:10	日本原燃石原でございますすみません、内輪で話してみたいです。
1:13:14	その基本設計方針の中でいくと3738で他に飛ばすものは飛ばしつつ、残ったものを、環境要件として扱わなきゃいけない36条では使わなきゃいけないやつを69番以降で飛ばすと。

1:13:29	ということで整理をしてました。はい。
1:13:32	規制庁の条例が変わりました。はい。37と38条、38番。
1:13:38	ところでの整理に基づいて、残ったものってということですね、理解しました。
1:13:44	はい。次にその次の45番なんですけど、ここの、ここって悪影響防止の部分なんですけど、横を見ていると、竜巻等、
1:13:55	内部発生飛散物とあと、16条の中の区域防止と書かれている部分になっていて、横の共用の
1:14:02	悪影響防止の部分って、何も書かれないうってというのはどういう整理でしょうか。
1:14:26	弓削志田でございます。一応ですねこちらで考えたのは(2)は45番で始まった景気防止なんですけど、45番から50番までが一つの多分区切って、それと、
1:14:40	51番が、悪影響防止の観点では同じなんですけども、経路が違う、いわゆる共用によるものということでここで切ってますグループを挙げて、
1:14:52	45から50は、いわゆる本当のっておかしいな、その衛生設備が計器及ぼさないという設計の観点を語るというチームで51番51番で、
1:15:06	共用関係は上の方から51番に直接飛んでくる場所を作ってリンクを貼ったというのが現状の整理の仕方です。
1:15:15	規制庁の藤原ですが、わかりました。
1:15:19	あれですかね、51番はじゃあ3番を受けてるってことなので、大分、
1:15:24	最初の方の、
1:15:27	から飛んできて、
1:15:29	途中経過がある。
1:15:31	はい。3番で共用対象の施設ごとについてというような話でMOXとの共用だったりって話で、
1:15:41	必要な括弧数を用意するといったような話があるのでこれから51番に飛ばしてます。はい。50、5051杯に飛ばします。
1:15:52	規制庁の藤尾ですわかりましたで、衛藤。
1:15:55	45番の両括弧2っていうところはそれ以外の、
1:15:58	この中で、
1:16:01	書かれている、50番までで書かれている悪影響防止のところの一番最初の、
1:16:07	宣言になるのでってということで、今の整理だということを理解しました。
1:16:15	続けてなんですけど17ページ。
1:16:20	の74番、
1:16:23	これって前回のヒアリングでも確認してて、73番と。

1:16:30	ガッチャンコするのかどうかとかいろんな話が出ながら、結局どう整理されたんでしたっけなお書きのところで、これらの自然現象及び人為事象とかって書かれている。
1:16:40	こういうフレーズのところってどう整理されることになりました。
1:17:20	この、
1:17:21	条件セキよりも、74-1 って言っても 3、
1:17:24	74、なお書きから 73 と 74 両方受けてそうそう。
1:17:31	それで上書きだけ後なかったんじゃない。確か、直した方が見やすいは見やすくなって、74 の 1 年、
1:17:39	でも結局 0 七三の考慮事項で、上に振るだけだよ、今度。
1:17:45	考慮事項としての条件だけをここだけ、74-1 として定義言って、自然現象の条件を人事諸条件を全部
1:17:55	1 手に引き受ける。
1:17:57	今ここに入っている、この条件設定ですねこの条件設定は、これだけ多層結局自然現象は 73 と 741 の組み合わせ、配送ねじ人為事象が 74 と 74-1 の国がそういうことです。
1:18:13	名は変わらないんだよね。やったところで。うん。見え方の違いだけ。
1:18:21	そうするか。
1:18:23	でも同じことがあるだけなんだからちょっとだから、今の制度だとこれ逆輸入しちゃってんですよね。74 から 74 アオキの内容を、73 の定義として逆流してる話サノンように見えてきてるので、
1:18:35	見えちゃってる。
1:18:38	言ってるので、役員は駄目だよ、弱ニワしてもいいんです。
1:18:43	だけど、いや、はい。
1:18:45	日本原燃志田でございますちょっとそうですね手当がうまくできてなかったの 74 に入ってるなお書きのところ 74-1 にして、
1:18:55	分岐させて、自然現象は 73 と 74-1 の組み合わせで、設計要件を追って後ろに展開する。
1:19:03	神小は 74 と 74 の 1 で、後に展開するみたいな整理にしていければと思いますはい。
1:19:12	はい、わかりました。じゃあ、はい。分岐をさせてってことですね、理解しました。よろしくお願いします。
1:19:20	ざっと見たところ他にこういうところはない。なお書きでっていうので悩ましい部分ってこの辺りただけかなと思いますけど、今後他の条文とかでこういったところ、
1:19:31	下、出てきたときのためにも整理は一応考えておいた方がいいのかなと思いますのでよろしくお願いします。

1:19:41	続けて 28 ページまでちょっと飛ぶんですけど、
1:19:48	28 ページの最後の、
1:19:51	ところの 141 番で、操作の確実性のところ、
1:19:55	なんですが、
1:19:58	お礼が、
1:20:01	環境条件だけよく見ていると環境条件だけで受けてるっていうのはあれですかね、文章の何か。
1:20:09	重大事故等における条件を考慮していうところだからこれだけで受けてる感じですか。
1:20:17	ね、そのあとの展開アノ 142 のうち、
1:20:22	だから次のページ、
1:20:24	あそこに、
1:20:25	次のページとかは、それぞれ、
1:20:28	操作性の整理をする中で、地震や火山とか、溢水みたいな話も考えてっていう話があったんですけど、ここは、この文章の中での、
1:20:38	重大事故等における条件っていう話で、
1:20:41	環境条件だけで受けてる感じですか。
1:20:56	はい。日本イシダでございます。まずご質問に対する回答としては足りないですね。はい。
1:21:04	重大事故等における感情検定のおっしゃる通り環境条件で設定している圧力運動、放射線ですかね、湿度、そういったものを、を対象として、こう書いてはいるんだろうという。
1:21:18	記憶ですけど、後の話と同じように、溢水とか含めて、操作場所、先ほどの本間であった。
1:21:30	あれですね、操作場所じゃないですけど、その話も含めて、他の条件も考えなきゃいけないと思いますんで整理します。
1:21:38	はい。規制庁の藤原ですよろしくお願いいたします。
1:21:43	続けて 30 ページの、
1:21:47	150
1:21:49	4 番とか 155 番なんですけど、ここで 154 番であれば、洪水とかの話が出てきて、155 番では、ダムとか船舶、
1:22:02	頭の崩壊等、船舶の衝突みたいな話があって、次のページで、
1:22:08	影響がないって次の 156 ですかね。
1:22:11	影響がないとはされてるんですけど、こら辺への、
1:22:16	手当てって何か考えました。

1:22:35	規制庁の藤村さん横軸に作って欲しいとは思っていないんですけど、ただ、そうですね手当ができてないのは実際、何も考えてない気もするので、
1:22:46	飛ばす場所をちゃんと特定して 154、155 を踏まえて、
1:22:55	実際、とはいえでも 156 までいくと、対象外しか書いてないから、でもここで飛ばすのが一番いいのかな。
1:23:04	これで全部まとめて書いた方が見えてまたそんな逆行することをいう。ちょっとそれだったら、
1:23:13	上げた上で後出身される方、
1:23:16	ちょっと表現は工夫してるんです。156 番で飛ばしにいくんだね、やろうとすると、154 と 5 は、156 人預けて、
1:23:26	最後の憂き目ってを 156 でやってそっから必要なところに飛ばす。
1:23:31	はい。そんなことで、
1:23:33	よろしいか。はい。はい。
1:23:35	はい。弓削イシダでございますそんな形にします。はい。
1:23:39	はい。規制庁の藤原ですよろしくお願いいたします。
1:23:45	続いて
1:23:48	後なんですけど 31 ページの、これは 158 番の次が 160 万ってなってるんですけど、159 番ってどこに行きました。
1:24:11	相磯から稲井みたいですね、これ、詰めて駄目だ、駄目かも共通に作ってるからみんなもうナゴ怖いはもう、
1:24:20	だからいいや、こんなの。
1:24:21	はい。欠番だんですけど、ちょっと気持ち悪いですね。はい。
1:24:26	はい。規制庁の藤原コサクです。
1:24:30	あちこちで数字書いてるのずらすのは非常に危険で、作業がすごいことになるのでやめたらいいと思うんですけど欠番であることがわかるように一行入れといて、
1:24:43	欠番だということで書いといていただけますか。
1:24:47	はい、宮城西浦でございますはい、承知いたしました。
1:24:51	はい。規制庁の藤原です。私もそう思っていてとかあと、今後もしガッチャンコとかで、衛藤するときも、番号をずらすというよりは、欠番なり、何をしたかってのがわかるようにしていただく。
1:25:04	ていう方向性の方がいいと思っていますので、よろしくお願いいたします。
1:25:15	そう。
1:25:18	33 ページの 181 番、
1:25:21	ですが、これって一た面機のところを書いている。
1:25:26	内容が理解しづらかったんですけど、

1:25:32	飛来物等 9 番の。
1:25:34	1.2Ssの影響により機能を損なわない設計っていうのって、
1:25:41	耐震のところで、竜巻のところに丸がつくんですか。
1:25:54	はい、二本木西尾でございます。そうですねおっしゃっていただいている通りでありながら、竜巻のところにですね基本的方針上も竜巻防護対策設備っていう、
1:26:06	項目があるのも考えてというのがあったのでここに丸をつけてます。1.2 Ssに対して、
1:26:17	真ん中にその内側にいるSA設備、
1:26:23	上のダクトのに影響を及ぼさないとその機能を損なわないということを見たいというのが実態なんですけど、ちょっとどこにどう丸を打つのがいいのかをもうちょっと考えます。はい。
1:26:36	はい。規制庁の藤原です。
1:26:39	溢水とかの 1.2Ssともちょっと違う気がするので、
1:26:44	そのあたりどう工夫して示すのかを検討してください。
1:26:52	続けて、
1:26:53	あとは、整理の、
1:26:57	仕方が少し気になってるのが整理の仕方というか、
1:27:01	ヤマサキ方針の分け方なんですけど。
1:27:04	例えば 33 ページの 184 番とかそれ以降、結構あるんですけど、
1:27:11	どこで区切るのがいいのかっていうのって、
1:27:15	先ほど、
1:27:17	内内的範疇のところ基本設計方針を分割したりとかっていう整理をさ、されてるんですけど。
1:27:24	他でこういう文章の中に、今回だったら、両括弧 3、184 番でいえばよ、両括弧 3 があってそのあとに、実際のAポツの両括弧Aっていうものがあると。
1:27:36	いったときに、ここで分けないのかとか、あとその次のページの 185 番であれば、両括弧Bの機器配管系と、両括弧椎野はハタ設備っていうのが同じ。
1:27:48	セルの中で同じババナカでいいのかみたいなどころって、何か検討されてますそれとも、あまりそこまでを考えてないとかっていう状況ですか。
1:28:03	はい。乾ニシダでございます。ちょっと考えます。はい。
1:28:07	はい。
1:28:10	そうですね。はい。規制庁の藤丸このマルつけとかの感覚だといいかもしんないですけど、京都 12 人行った時に、

1:28:17	設計としてこう展開していくときに、これで大丈夫なのかなって心配になったので、はい。はい。はい。
1:28:24	はい。ありがとうございます。はい。
1:28:28	ちゃんとやります。はい。
1:28:30	規制庁の藤原ですよろしくお願いします。あと、これもちょっと前回のヒアリングとかで聞いたかもしれないですけど 34 ページのその可搬型のところのくだりの中で、
1:28:41	荷重の組み合わせとかの話で積雪とか風の話。
1:28:46	185 番とか 187 番、
1:28:49	のところに積雪荷重風荷重も考慮するとかって話があるんですけど、
1:28:54	横を見ていくとそれが入ってないのってどういう整理なんでしたっけ。
1:29:01	はい。二本木ニシウラでございます
1:29:04	え一つとですね、ここはどこだっけ。
1:29:08	どこに書いてある。
1:29:11	書いてますけど、でもあれもともと地震荷重のナカ自身の耐震計算の中でやんなきゃいけないこと書いてあるんだよね。アカイシの計算の中で考慮する数。
1:29:20	大阪地震です。そういうことだよな。
1:29:24	はい日本イシダでございます
1:29:27	そうですね。積雪、風荷重はもともと、
1:29:33	耐震計算上の荷重として考えなきゃいけない組み合わせの中での話なので、もともと地震動六条のところにぶら下げてたということでございました。はい。
1:29:45	はい。
1:29:46	規制庁の藤原です。地震の荷重の中で考えていくってことで横の風とか積雪のところには、
1:29:54	特に印がつかないと、竜巻のところに入っていったのはさっきの 181 番からの、
1:30:01	流れで、
1:30:02	入ってきてるっていう状況なんですかね。
1:30:10	この番号だけではなくてっていうことなんですけど 181 以降、竜巻のところが入ってるので、
1:30:16	もう 181 番で入っちゃってるから、そこからの展開ですかね。
1:30:21	そうですねはい、竜巻防護対策設備を入れたところからずっと同じ展開をしているものになりますので最初の整理の仕方を考えると、おのずとそれに合わせて、修正が変えることも、と思います。思いますはい。

1:30:37	はい。規制庁の橋村です。わかりました。なので 181 番をどうされるかによって下、展開が少し変わってくることで理解しました。
1:30:47	続けて、36 ページの、先ほども少し話題に挙がっていた生物学的事象のところの 201 番なんですけど、
1:30:57	ここ、さっき議論があって、火災なのか、清が清八条の方ですかね生物学的事象の方なのかみたいな話があったんで、
1:31:07	そこら辺も工夫されるのかもしれないんですけど、
1:31:10	ここで竜巻、風にもわかるってなぜでしたっけ。
1:31:30	人間者でございます。まず必要ないですので、ちょっと何らかの間違いかと思いますので、必要なのは生物学的事象のところの丸。
1:31:41	あとは葛西先ほどなしで火災というよりは生物学的事象の中で全体をカバーしていくと。
1:31:47	火災がどちらかという、82 飛ばす側としての整理かと思ってました。はい。
1:31:52	規制庁の藤原です。わかりました。
1:31:56	あと、適切に修正をお願いします。参事同じ 36 条朝 16 ページの中の 208 番なんですけどこれもらって、
1:32:06	って話があるんですが、運用要求みたいのが書かれてないんですけどここは、
1:32:11	どういう整理でしょうか。
1:32:22	はい。日本原燃瀬谷でございますこれですねはいちょっと全体としてまずこの 190、
1:32:31	7 番。
1:32:33	違うな、196 番からのくだりを。
1:32:37	どうやって整理していくかということを、ちゃんと整理しないといけないかなと思ってますこれ全部冒頭線になってるのは、
1:32:45	葛西側に預けて、笠井でいう、
1:32:50	浅井の条文の 35 条の上では、これ可搬については、火災防護計画に定めて運用で管理するというのがもともとやっている 35 条側の趣旨になります。
1:33:02	運用要求のフラグはそちら側についていると思ってます。
1:33:06	その中で実際運用要求で火災防護計画に定めると言っているものに対してどういう設計を展開しますかっていうのをこの 36 条から 35 条に飛ばして展開をしようと思っているので今冒頭宣言(3)15 条と、
1:33:21	いうことで書いてます。この辺の扱いどうするかっていうのも、さらに整理をしていかないといけないと思ってますはい。
1:33:29	はい、規制庁のフジワラですよ。よろしく申し上げます。

1:33:34	そうですね。
1:33:35	確かにもともと是正条件があるところの整理どうしますかっていうところがあるのもそれとともに整理をしていただけたらと思います。
1:33:47	次に最後のページの 37 ページなんですけど、これ、
1:33:52	は、
1:33:56	中の文章を見ると、地震等の自然現象によってもみtainな話があったり、凍結、風、水害、風水害、
1:34:05	オカみtainな話があるんですけどここは河西だけまるで大いainでしょう うか。
1:34:14	はい。乳井ニシウラでございますこれも前の 169 番から 196 万 196 番 からの流れの一部として、35 条側で展開をして、これ実際 35 条にも、 火災感知消火設備に対する自然現象の投稿量と、
1:34:31	いうのが正しくありますのでそこの関係の整理というのも含めてする 必要があるかなと思ってました。
1:34:39	はい。
1:34:42	長ノジマ
1:34:43	ですか、その前のページの、
1:34:45	203 番とかそういう、丸付けをふやしていただいたところとはまた別の整 理になるんですか。
1:34:52	はい。井上ネシアでございます。多分ですねそこも含めて考えないとい けないと思ってます。200、
1:35:01	例えばですけど、この 196 番からの流れを 35 条の派生だと考えていけ ば、35 条に全部いった預けて、
1:35:15	35 条から八条に例えば生物学的事象飛んでくるとかですなそういう整 理なんもあるのかなと。
1:35:23	思いますので、そうすると、みんな 35 条だけに丸がついてそのあとの 展開も合わせて書くのであれば、何らか生物学的微小ねみtainに八条 とかいろんなところに飛んでいくものは、
1:35:36	35 条に行った上でどここの条文に飛んでいきますよみtainな問題 で、35 条側に、
1:35:41	※で振っておくかっていうところも含めて、
1:35:45	もしくは、この段階で必要な情報呉DB側に、それぞれちゃんと振ってい くと。
1:35:52	いうことであれば、今、丸がついている 200 番とか、の話じゃないですけ ど同じように、それぞれ飛ばしていく話をするのかと。
1:36:02	いうことかと思えますただその場合、やっておいてあれですけど、200 万 みtainなやつが、竜巻と風等、

1:36:11	森林火災ですかねと、葛西都丸が打ってあって一体どこで何をやるんだってというのがこのままだと曖昧なので、
1:36:18	そういったことの整理も含めてしていく必要があると思ってます。はい。
1:36:23	はい。
1:36:24	よろしくお願いします。35 条が 90 のフジワラ 35 条もありこの 36 条の中での展開があつての 35 条があり、また別の条文に振るって話なので、
1:36:36	その辺りの整理の仕方っていうのを、きちんと考え方作っていただければと思います。
1:36:41	とりあえず、添付 1 で私からは以上です。衛藤オカ岸上から何かありますでしょうか。
1:36:51	規制庁の荒井ですけど、先ほどの 201 番の生物圏目的事情に竜巻と風が入ってる理由って何なんでしたっけ。
1:37:05	はい。先ほど間違いですというふうに申し上げたんですね、機能がします。はい。
1:37:13	すいません。補足です。今の話の続きですけど、
1:37:19	この方針だけ見ると、進入しないようにするっぽく見えちゃうんですけど、
1:37:25	一方で八条関連での記載を見ると、
1:37:33	藤難波。
1:37:35	と少し上の方に、
1:37:37	だったと思うんですけどそこは
1:37:40	SAの方の方針として抑制っていう言葉も入ってて、一方丸付けで見ると単なる丸になっててDBと同じですってな。
1:37:50	てるんですけど、実態どうなってるんですか。
1:38:10	そうです。具体的に言えば 27 ページの 127 は、はい。
1:38:16	これはだから、
1:38:21	売ってるようで振りきれてないんで、中で丸付けたら、もう一緒ですって言ってるわけね。
1:38:26	中しがたい構造自体が設計基準を守れるところは寝るんですけど、さっき言った呉でばんばんして、猫が見えるようなそういう措置みたいなのは、
1:38:38	174 以降試験検査のであればそう延ばさないといけない、冒頭宣言で 174 つ飛ばしてるんですね、どこで。
1:38:49	うん。
1:38:53	だから、頭が砂田 アカシ要求種別で 174 って言って飛ばしてるつもりなんだよね。

1:39:01	ただそれは理由があるはずで、はい。
1:39:05	買ってくるようなものが、例えば車みたいに当然隙間は、
1:39:10	もともとのデフォルトであるやつはもうどうしようもないでしょっていうやつがいるから、そういう運用上の措置があるんだよね。
1:39:18	密閉できるものは密閉するんですね。だからその辺の考え方がどこで展開されるかっていうのも含めて整理してないと、このマルつきだけだとようわからんですよ。
1:39:31	はい。日本原燃志田でございますちょっと全体整理をさせていただきます実態は
1:39:36	基本、侵入をしないように、何らか密閉構造にするなり何なりということをやるとのこと。ただ
1:39:45	車両だったり隙間があることが前提でその機能が発揮できたりするものみたいなものは、運用で点検をしたり中を見て、
1:39:56	変なものがないんじゃないかっていうのを確認していくということがプラスになる。そういったことが機能喪失機能を損なわないための措置として必要になるというものもあるということで全体でどういうふうな設計書なのかがわかるように、どこでそれを展開するのかっていうのもわかるように整理をしていければと思ってました。
1:40:17	古作です。
1:40:21	対応されるので直ってくるんだと思うんですけど、174 番って試験検査性なので、必ずしもここでの冒頭宣言ってということではないはずで、
1:40:35	とちゃんと整理をして、わかいたきたいと今言われたのは少なくともここで何か振るんであれば、生物学的事象の枠のところ、
1:40:48	その違いを示した上で、具体はそちらの方でと言ってくる形で記載されるって理解でいいですかね。
1:40:56	はい。乳井ニシダでございますはい。おっしゃっていただいている通りだと思ってます。はい。
1:41:01	はい。補足です。整理をした上でまた確認したいと思います。
1:41:10	古作です。あとちょっと違う話になりますけど、
1:41:15	本文の方で話をすればよかったかなと思うんですが、横時空の 16 条の案いうで、内部発生し産物、かっこ悪影響防止の関係も含むと。
1:41:27	書きます。それで整理しますというのは言われてたんですけど、ウタ通右側にある悪影響防止っていうのはそれはそれであって、
1:41:38	これって何で分けているんですかね。
1:42:00	これ。
1:42:01	ニシダでございます。そうですねまず悪影響防止に入ってるパーツをどう仕分けたかそれがなぜそうなっているかの考え方をどこにも、

1:42:14	使えてないんじゃないかなあと思いながら本当にこれか。
1:42:20	でも、竜巻内は発生飛散物及び共用に悪影響を含めた整理仕事を踏まえての学校で何かこうあるべきなんです。竜巻には悪影響も含めます、内部発生したんですよ悪影響含めます。で、溢れちゃった。
1:42:37	多分ね、悪影響防止にどういう観点があるかっていうのをまずちゃんと書かないと。
1:42:43	駄目なんじゃねえ。系統上の考慮とかも全部ね、工数上で、そん中をずっとこうこういう理由で仕分けをしますと、
1:42:54	竜巻みたいなもの固縛が竜巻って項目がもともと建ってるからそこに預ける。
1:43:00	あとそうなる内部発生資産と悪影響防止を分ける理由は何かっていう、そこは設計上の考慮がそれぞれ違う部分があるから分けますなのか。
1:43:09	そうじゃないと、ババれる側のライバル生産物。
1:43:13	自分が加害者にならないのかって言って、守られる側がもうすでに研究してるっていう話って言って整理します。その辺の思想がないとわからんやんって、はい。
1:43:25	はい。日本原燃志田でございます。悪影響防止のところすみません全体の整理から、どういう意味でこれを分けてるのかっていう意図もかけてないので、その整理をまずちゃんとします。はい。
1:43:37	はい、古作ですよろしくお願ひします。今言われたように、悪影響防止の中に系統、
1:43:46	営業の話なりあってですね、途中で
1:43:52	接続のところでの話もありましたけど、視点は幾つかあるんだと思うんです。その対策くうとして違いがあるのでっていうのはそれはそれで、
1:44:05	分ける意味はあると思うんですけど。
1:44:08	果たして
1:44:10	そういった観点でこの悪影響防止の枠、
1:44:13	としているものについて本当にちゃんと認識をして、抽出し切れているのかなっていうのがちょっとシンパいいでして、その点を
1:44:24	明確にした上でチェックを一通りしていただければと思います。よろしくお願ひします。
1:44:32	はい、稲毛西原でございます承知いたしました。
1:44:44	規制庁岡です。
1:44:46	と、確認です。毎回、と聞いていることではあって、今回、
1:44:52	外部火災のところも少し展開されて、石油備蓄基地火災とか、敷地内とかをちゃんと分けたり、あとばい煙、有毒ガスの湯で分けたりして、

1:45:04	何となく見えてきたところではあるんですが、
1:45:07	森林火災の二次的影響の二つ、今回の自然現象のところに丸が打たれてなくてですね、ちょっとその辺って、
1:45:19	どういう整理になってるのか勘案してください。例えば、10 ページ目の10 番。
1:45:43	日本イシダでございます。すみません、私が追い切れなかった10 ページの10 番で、
1:45:49	もともと自然現象の中に森林火災が入っていて、
1:45:56	でもあれか。
1:45:57	ばい煙はいいんだ。
1:46:01	そして、
1:46:03	ここで言う森林火災時影響も含めた部分です。
1:46:08	を、
1:46:09	この辺場所がこの順番がいいのかって話で、森林火災等へ持っていったらいいんじゃない。
1:46:16	でも、あれですよ。何だろう。
1:46:20	バレーのところだけここオーバーラップさせればいい。
1:46:22	うん。
1:46:23	ちょっと工夫します。
1:46:26	エンジ対応の中にも、真ん中にできて、
1:46:31	有毒ガス、だからここで二つ持ってきてラップさせて、はい。
1:46:44	はい。ちょっとすみません。離れコジマになったせいで受けましたね、ちょっと整理しカノウお伺いします。はい。
1:46:50	はい。社長がです。それが、の案項目かありますので、少し工夫した上で、本当に自然現象にっていうか、森林火災に付随するもの。
1:47:01	とか、金、近隣工場等の火災に付随するもので、検討していかなきゃいけないところには、丸を打っていただければなと思います。
1:47:12	以上です。
1:47:19	規制庁の藤原です。その他、添付1で、規制庁側から何かある方いらっしゃいますか。
1:47:31	特になさそうなので、
1:47:34	県は振り返りって、このままの続きでできそうですか。
1:47:44	はい。大丈夫です。はい。
1:47:48	はい。規制庁の藤原です。では
1:47:51	原燃側から、今日の振り返りこの5センチのSAの整理についてお願いします。
1:47:56	はい、宮城西原でございますはい。まず本文のところで

1:48:04	これか。これじゃねえな。
1:48:08	ううん。
1:48:09	個別条文。そっか。
1:48:12	36条以降の個別の事故条文の扱いをどうするかというのは、全体のスキーム目的の中で整理をしていくということ。
1:48:23	あとは、
1:48:25	文章本文上は、先ほど最後の方であった悪影響防止ですね、全体整理した上で、全体の中でどう仕分けていくのかとその考え方をどう考えてやったのかということがわかるように整理をしていくと。
1:48:42	いうこと。
1:48:44	あとは、溢水の話を考えていなさい薬品はってところが、3ページですかね前半事象のところですね。
1:48:54	ここは抜けがないように整理をさせていただくということ。
1:48:58	あとは
1:49:01	米さんをなくす時の生理学整理の考え方、さあ、3ページの(3)のところですかね、考え方を整理をしていくということが、その対応抜けてましたんで、
1:49:15	対応させていただきます。はい。
1:49:19	あとは3ポツのところはまず全体としてのスキームちゃんと整理をして、どういう整理をしていくのかというところ、基本は別添をちゃんと整理をしていくということがベースだと思いますが、
1:49:32	アベ. 0.010203の関係性全体の基本設計方針での重大事故の要求事項のす。
1:49:42	考え方というか設計とスキームですね、を整理して、その立て付けにしたがって、
1:49:48	整理をしてし直す。
1:49:49	いうところをさせていただこうと思ってます。はい。
1:49:54	で、添付1の方が
1:49:59	条文の番号ですね、56条七条これ
1:50:05	11条もそうですし十七条の在庫もそうですけどSNアノ条文がありますんでそれを整理させていただきます。はい。
1:50:14	0。あとは、
1:50:17	ちょっと共通的そうなところ、丸が打ってなくて対応するものを、11ページのところです。
1:50:24	1ページの一番下ですね17番みたいなものを、何々展開するっていうのはその条文で扱うということで同じように丸を打っていくと。
1:50:34	いうことが必要だと思ってます。

1:50:37	あとは共通的なそういうのも出ていった火災の扱いですね可搬型のお話は全体 35 条との関係等を整理していくか、やらせていただこうと思います。
1:50:49	あと一部欠番になったところは番号のオギ大田した上で欠番であることを明示させていただくということ。
1:50:57	あと、何かあれだ、自然現象と人為事象のなお書き何番だっけ。
1:51:09	70、737374 とかですね、アオキナイトウあるところの人為事象として領域かというところは、仕分けをして整理をしていきたいと思います。
1:51:21	案件は、生物学的学事象で出てきた
1:51:33	70 何番だっけ。
1:51:35	理事。
1:51:41	127 番、のところの扱いですねこれも全体の設計方針の扱い。
1:51:49	のところの整理をした上で紐付けだったり、ここで語ることをしっかり語るということで整理をしていきますということでございます。はい。
1:51:59	はい。それでさらに紐づけ等で、間違いがないかマルつけ等で間違いがないかというところアリタ上で整理をしていきたいと思いますはい。
1:52:10	あとは、
1:52:17	なきソウノかもしれません。本当に価値 1 日の資料が、これがベースになるんですけど、
1:52:24	ちょっとやり方を考えます今日の話を可能な限り反映はしますけど全部反映し切れるかどうかというところがあれですのでまずここ、あるところをベースにした上で、D野瀬、
1:52:36	基本設計方針との紐づけ、番号の整理というのをするというフェーズの作業もした上で、どこか反映してないかっていうのは、資料出す時には明示をして、
1:52:47	お出しをしたいと思いますはい。
1:52:54	規制庁の藤原です。
1:52:57	そうですね最後の方に言った基本設計方針をもうちょっと分解する話とかがっていうのはもう少し、
1:53:04	落ち着いてされてもいいのかもしれないので、
1:53:07	そういった、何かできていないのかっていったところは、12 月 1 日以降、講師の金曜日の
1:53:15	整理を提出されるときに、明示的にしていただいて、衛藤どこに対して議論ができるのかみたいなのは、はっきりしていただけたらと思います。
1:53:29	あと、細かい点では何か言葉とかの話もあったので言葉も整理していただくみたいな話もあったかと思いますがその点もお願いします。

1:53:38	文章の方ですね。
1:53:43	はい。規制庁側からの振り返りに対して何か他ありますでしょうか。
1:53:49	大丈夫そうですね。
1:53:52	院長ヤマグチです。それでは全体を通して確認願う。
1:54:00	これでヒアリングを終了したいと思います。6 表します。
0:00:02	原子力規制庁の菅です。
0:00:05	それでは、午前に引き続いて、日本原燃とのヒアリング
0:00:10	を再開します。午後は耐震のパートになってまして。主出席者等変わってますので改めて紹介します。規制庁側の手術。
0:00:23	記者方のキシノハバサキカミデ後送りて長谷川管理官が出席することです。あと0分から古作調査官が参加しています。
0:00:34	それでは日本原燃から、出席者と、資料の説明、紹介ですね、お願いします。はい。日本原燃の大場でございます。日本原燃側の出席者でございますが、日本原燃よりケツク、
0:00:47	ノモトオガセヤマグチ、衛藤前セキより、宇野さん、森崎様大林より様。以上、斜めの出席。
0:01:08	議長からとりあえず資料としては、
0:01:12	11月20日付の補足説明塩田市建物等発生に係る対応。
0:01:22	はい。
0:01:24	また昨日ページあった、介護説明講師、
0:01:29	そうですね。うん。
0:01:31	ペーパーがありますけど、
0:01:33	まずは昨日、
0:01:36	提示いただいた、次回の会合で、サトウとナカに説明すると。
0:01:42	この資料の話をしたと。
0:01:46	でその資料についても説明しますか、説明が。
0:01:52	変なことでございます。
0:01:55	ご提出いたしました入力時。
0:01:57	コサクで次回会合し、
0:01:58	骨子案のパワーポイントでちょっとまとめさせていただいてる資料でございます。
0:02:03	えーとですねこの内容は時下いいですね会合での、今のご説明内容、後になる内容を、
0:02:13	をして、ちょっとどういうふうな形になるかという観点でちょっと今回とつてきても、実際の会議の時には前後がわかるような文言をもっと出したりとデータが、

0:02:24	大田線とかいうことが必要ではあるんですけども、大体内容としてどういうものをお出しすることになるかというイメージとして、お持ちしたものでございます。
0:02:33	で、簡単に申し上げますと基本、えーとですね、2-3 ページご覧いただきます。
0:02:40	向けた検討ステップと書いてございます。
0:02:42	センターのアンプラインを、
0:02:43	必要なものとして、ご提示しております、ステップ 1 施設にステップ 3 って書いておりますのは、前回の会議の時に、次回説明と、いうふうに申し上げておまして①②③に、
0:02:55	概ね合致するようなイメージで、これ書いてございます。そのうちのですね、どこまでが、この次回、2 の
0:03:04	それから、
0:03:07	あと残りがどうなのかというなステータスがちょっとわからないところを、今ちょっと書かせていただいております。ここのですね、赤丸と、集まってない
0:03:19	ここで書いてある、その結果を説明する方針説明するもの、それで打ち合わせをしてございますけども、その内容を後ろに付けていくと、いったような形でまとめ落としてございます
0:03:30	ちょっと 1 点補足をさせていただきたいんですけども、
0:03:35	ページのところで、この赤マルが方針と結果までをご説明
0:03:41	データなんかはほとんどステータスにあるんですけども、
0:03:44	青丸が更新と、結果をご説明するんですが、結果の地域がそろわないといったようなもので、少し
0:03:53	積み残しアベという姿勢として書いてございます。で、黒丸がこの方針を説明します結果はその次、
0:04:00	行きます。
0:04:00	というようなケースでまとめるものなんですけれども、とですね、今現在の見込みでちょっとこれ赤丸青丸、車に書いてるんですけども、
0:04:11	青丸になっております。ステップツリーの岩盤部分の部セキ等のところを、に、
0:04:21	きますよ。こちらできるだけですねこの時点で赤間瑠羽までご提示
0:04:28	したいなと思いつつ、少しちょっと今の作業の昼からいうと 1 呉のデータが、解析がちょっとそぐわないかなと。
0:04:39	というようなところで、今ちょっと暫定的に青丸さしていただいておりますのでこちちょっとステータスがまた変わる可能性がございます。補足以上でございます。

0:04:50	はい。すいません。
0:04:53	まずこの資料先週の進め方ヒアリング 2、
0:04:57	2回の会合の説明、
0:05:01	内容、
0:05:02	認識合ってそうなのでというので、出してもらう。
0:05:05	うん。
0:05:08	ちょっと私がイメージ出してもらおうとイメージしていたのは、17ページ。
0:05:18	要はステップ2の、
0:05:20	まとめの部分をどう示すんですか。
0:05:24	という問いをしたつもりでした。はい。
0:05:27	それに対して今17ページでは、
0:05:31	何かやったこと。
0:05:33	ステップ2で、結局どんな結果がやられたんですかっていうのはその前にちりばめられちゃっているんで、その前にいろいろ説明はあるのはいいんですけど、結局ステップ2としてはこういうことです。
0:05:47	どれぐらいの物性になりそうですっていうのを、
0:05:52	ちゃんと
0:05:53	次の会合で話を聞きたかった。
0:05:56	いうところでした。
0:05:58	なので、
0:05:59	それで大体イメージ掴めますか。
0:06:04	泉の図でございます。そうですねはい。
0:06:08	では、ちりばめてはいけても、一部しかちょっと今、お示しできてない状態。
0:06:15	かなというふうには思います。
0:06:18	そう。
0:06:22	今、
0:06:23	リードして、
0:06:24	1番目。
0:06:26	深津室長は、
0:06:29	岩盤部分の物性値であれば、
0:06:32	いずれも全部出したいとは申し上げておりましたけれどもPS検層アノ追加調査まで選べたデータをもとに、それをまずその平均カーアサノグループにおける平均した値っていうのをご提示する必要がある。
0:06:46	衛藤平均3者に対するの適用性というのを、許可地盤や直下に断層があるものそれから

0:06:57	建物許可にピークはないものの、適用性を確認したものを、それぞれの検討結果をご提示すると、そこまでがステップⅡでやらなきゃいけないと。
0:07:08	かなというふうには思っています。それはヒダカでちょっとご提示するかというふうに思う。
0:07:15	はい。はい。
0:07:19	物性値でいうと、各、
0:07:22	それぐらいの、
0:07:24	小磯。
0:07:26	漢字でモデル化しますっていう、12グループ、
0:07:29	幾つかあって、
0:07:31	それー。
0:07:33	表っていうことで、っていうかがステップの成果でもあるんだけど、
0:07:38	それを17ページのところに全部載せられても、それはそれで、ステップ2のまとめとしてはわからないんじゃないですか。もう、この物性だけで12種類、バーッと並べたって何なんだ。
0:07:50	はい。
0:07:52	さっき言われたように、
0:07:54	もう平均値でやるそうというふうに決めますみたいな、
0:08:00	まず、不正は、あるステップの結果としてはそういうもの。
0:08:05	ます。はい。具体のデータはその後ろにつける。
0:08:09	いいんですけど、それぐらいの、
0:08:12	メッシュ間で、設計は、線形性は
0:08:17	はい。減衰はこれぐらいです。そんなイメージが1枚に集約されていて、ステップ2の結果としてある場所がわかるように、
0:08:28	いうことを、
0:08:31	という説明が欲しいなと思ってたんですけど、はい。
0:08:36	なります。
0:08:38	あんまり、すいません。ステップ2の対応方針を、
0:08:44	を一つにまとめて、それぞれに対しての対応方針をまとめて、
0:08:52	それができれば、1枚にまとまって、
0:08:56	形が望ましい。
0:08:58	ツツミお願いします。
0:09:00	例えば原水だったら、対応方針、
0:09:05	塩水であれば、両方なんですか。
0:09:08	岩石コアもやります、あれもこれやりますっていう方針。
0:09:13	ありがとうございます。

0:09:16	あれもやります。これもやります。やったものに対して、
0:09:23	それぞれのデータの意味合いをお話していく。
0:09:25	決まって、
0:09:28	待っているところです。
0:09:30	日本原燃の佐々ですけれども、ごめんなさい、イメージが違ったらごめんなさい。減衰のところを例にとると、今回、いろんな着目点、周波数特性とか材料特性とか踏まえた分析っていうのをやって参りましたその中身は今書いて、
0:09:43	それらを踏まえまして、そのステップ3に飛ばす上での間にステップ2での結論という意味では、いわゆるうちの敷地では周波数特性があるんだけれども、それに対しての何ていうんですかね、敷地の特徴としてはそういうサンダン件数
0:09:58	みたいなものがあると。で、③のところではそういうところを、何ていうんですかね。無視しないって言い方はちょっと変かもしれないけどそういうようなところの佐口の影響も踏まえて設計上合理的なものを、
0:10:08	設定するっていうような、なんすね結論と次へのパスみたいなのを書くのが何か綺麗なのかな。
0:10:16	何ですか、集中減衰に関してはその分線歩道、不安とかがないと。
0:10:24	この資料を見るときには、
0:10:26	普通、13ページと、宗派臍臓なしのアオヤマ線
0:10:32	が3エリア。
0:10:34	うん。これが正しかろう。
0:10:36	ただ、ふさわしくあろう。
0:10:38	言っているように私も言って、
0:10:40	それだったらそう書けばいいし、そうじゃなくてハッタもやってるんだけど、リニアバイリニアの方がいいと思ってるっていうんだったら、
0:10:50	それがステップの結論ではアマヤってはいるけども、
0:10:55	より実態という意味では、同じじゃないっていうのが青なり緑なりっていうところですよっていう説明だったらそういう説明があれば、
0:11:04	いいと。
0:11:05	はい。日本原燃オガセ理解しましたそうですね装荷ステップ2の結論という意味では、いろいろ分析をやった選択肢がいっぱい今回調査、
0:11:14	やりましたけれども、そのうちどれが一番最もらしいかみたいところでいくと、リニアがあり、あとはちょっと書くとすれば赤もやってるんだけども応答としては等価なものになってるとかそういうようなところが結論。
0:11:26	はい。
0:11:29	すいませんコサクです。

0:11:33	今更ではあるんですけど、
0:11:35	何でこれ 3 エリアなのかなってというのがわからなくて、
0:11:39	そもそも今回モデルって 12 グループって言ってましたよね。
0:11:44	いうのとの関係って何か分析ないんですか。
0:11:48	検査ノートでございます。これ
0:11:50	いや、と書いてるのは地震観測記録自体が、お子さんにいや 1 点ずつで、補足です。
0:12:00	だからデータが三つだっていうのは別にいいんですよだから分子、
0:12:04	結果が三つなのは構わないんです。ただ、
0:12:08	12 グループって言ってるんだから、うん。
0:12:11	12 グループのそれぞれの特徴を踏まえたときに、
0:12:15	それぞれ、
0:12:17	そのまんま
0:12:19	適用ができるようなものなのかこういう工夫が必要なのか。
0:12:23	そのあたりの分析ってないんですかっていうことです。
0:12:27	はい。日本原燃のオガセでございます。これにつきましては、まずやはり当然今古作さんおっしゃいました通り、12 グループ個別に今回えさ検層取ったってというのが、一番まずアノコウ、この
0:12:37	追加調査をやったときの一番の理由になります。それが今 14 ページに図で書いております通り、12 グループごとのアノsアトベフジタ件数をとれたデータというものを見ていくと、それは当然個別にまず、
0:12:49	でちょっと順番がすいませんあまりよくなかったかもしれないんですけど、12 ページのところの文章。
0:12:54	行きまして、
0:12:56	この中の下の方の四角ですね、核データの取得位置を踏まえた分析というところもでございます。これがまさに今のコサクがおっしゃってありましたところでした、
0:13:05	個別のものを見たときに、先ほど野本が申し上げましたような、地震観測点のところのものと比べると、各 12 グループの土居特徴というものが、それほど変わらないこと、あとは、いわゆる先ほど申し上げた地震観測記録で出てきたリニアの青線、
0:13:21	真帆包絡というかされるというようなこと、それからそういうことから最終的にはこの三つのもので代表できるというそういう順番の話になりますので一応今のお話は触れているつもりでありました。
0:13:35	はい、古作です。状況はわかりました。で、これはあれです。
0:13:40	ステップ 2 か 3 かがちょっとよくわかんないんですけど、これ見、

0:13:46	普通、今その 12 と三つの関係を話しましたが最終的にどうしていくんだの方向性としてこの三つには違いがあるのかないのかっていうのは、どうい。
0:13:57	ことになるんでしょうか。日本原燃のオガセでございます一応確認させていただきます。今小崎さんおっしゃった三つに違いがあるというのは、13 ページである今西中央ヒガシという単位で三つ分けてますが、西中オオヒガシそれぞれが違ふと見るのかそれとも西中オオヒガシ全部同じと。
0:14:13	そういうようなご質問でしたでしょうか。
0:14:17	補足です。多くそんな感じですか。はい。かしこまりましたそういう意味では、今はこのデータの分析という観点では、我々としてはこの中ニシカワ中オオヒガシ側という、13 ページの三つで分けている。
0:14:29	これを一緒にするというのはあくまでデータの分析からは言えないと思っています。あくまで、12 エリア、ごめんなさい、古作です。そういうと一緒にするしないんじゃないじゃなくて、
0:14:39	違いとしてあるのかないのかだったり、違いとしてはこういうようなことで違ってるんだと思いますっていう分析とっていただいたらいい。
0:14:49	すけど、どういう見解ですか。はい、了解いたしました。これはですね日本原燃のオガセですけれども、今はちょっと部、上の方の散乱減衰とか材料減衰の 12 ページの上の四角のところ書いているところでございますけれども、
0:15:03	この周波数特性の特徴、傾きがどのぐらいであって、どれぐらいで、材料減衰に相当するような周波数に達するかみたいなそういうような分析を個別に中オオニシヒガシごとにやっております、その特徴が何かちょっと違ふみたいだと、例えば東側の 13 ページの上の図なんかを、
0:15:20	いただきますと、材料減衰のファンドでありますオレンジの横のバンドがあると思うんですが、そこにちょっとアノ 0.01 秒ぐらいでも達してないと、やっぱりヒガシがシバでもう少し先のところ、もう少し短いところで材料減衰が、
0:15:32	出てくるのかもしれないとかそういうようなところの状況の違いというところもございしますので、これ個別に分析した結果として、西中オオヒガシというところで
0:15:41	個別に分析すべきものだというふうに分けた結果として出てきたもの
0:15:46	ます。
0:15:48	とコサクです。それはなぜそういう特徴が出てきたんですかね。
0:15:54	なぜですね。はい。日本原燃のオガセですなぜが。はい。ちょっと分析を深めたいなと思いつつ、

0:16:00	なかなか出てきたデータと、今まさにやろうとしていることが、これからやろうとしていることが、今までもお話ししておりました速度構造に基づく分析、速度層断面ですか、に基づく分析というようなところが、今後やることとして上げていく。
0:16:14	つもりでいるんですけども、ちょっとそこで例えば東側他と比べて速度がこうだから、中央と比べてこういう状況になってるとか、一応そういうところを行っていくことをによってその要因、こういうふうなデータが出ている要因というところは、今後ふやしていこうとは思っています。
0:16:30	コサクです考えていることはわかりました。赤嶺さん戻します。
0:16:35	はい。都築。
0:16:37	では、
0:16:38	セガワ鹿庭ちょっとられて、ちょっと時間の都合もあるので先に外観。
0:16:44	だから、しっかりした以降も、
0:16:46	むしろ、
0:16:48	そのあとに、
0:16:52	規制庁のハセガワですけども、
0:16:56	多分、これまで、あと、
0:16:58	今データをいろいろと、
0:17:00	うん。
0:17:01	これからどうすんの。
0:17:03	ていう、これからどうするのって実はさきに最初からある話なんですけれども、
0:17:10	最初の方針に、
0:17:13	不足ってどういうことをやっていかないといけないかって言うのを、
0:17:19	原燃として書いたのが3ページ。
0:17:26	なります。
0:17:27	そうですね。
0:17:28	それはそうだよ。原燃から出てきた資料。
0:17:32	で、
0:17:34	随分、
0:17:35	イメージが、
0:17:37	違う。
0:17:42	で、
0:17:44	何でイメージが異なってしまうのかっていう。
0:17:47	ことが、まず、重要な
0:17:51	前年、
0:17:52	全くだから、

0:17:55	原則論に沿ってない。
0:17:58	ようなものに今なっているんだけど、ここが今までの減免と変わらないのではきっとこういうふうになってしまったんだろう。
0:18:08	ということでこの3ページを作る前の、
0:18:12	段階が非常に重要な、
0:18:17	ていう、その認識に立たないといけないんだけど、
0:18:24	等、
0:18:26	どこをどう言ったらいい。
0:18:30	アノ。
0:18:32	まず、
0:18:37	現連として、
0:18:39	何をしたいのか何を目標にしてるのか、目的が、
0:18:45	どういうふうにするのか。
0:18:49	ていう、
0:18:50	ところが、
0:18:51	すごい重要。
0:18:53	うん。なんですよ。
0:19:00	規制庁浜崎です。ちょっと
0:19:04	先ほど野呂さんからも説明があったの、ちょっと確認しますけれども、3ページの、
0:19:09	このステップ1、これ先週の会合のものを、説明内容と、いうことを、表のような形にしておりますので、赤丸に関しても、
0:19:21	これ説明済みっていうんじゃないで、
0:19:24	今後、これも含めて説明するっていうのはまずポジションでいいわけですね。
0:19:28	妹尾でございませうはい相当でございませう。はい。
0:19:31	まず、あまり
0:19:32	規制庁のハセガワですけど、そのデータの部分からまずいうと、まず原燃からきちっとやらないといけないところでは、データをちゃんと吟味しましょうという話だったので、前々からだから、今までのデータ、
0:19:47	それから、追加したデータ。
0:19:49	土肥イマダから市中にあるすべてのデータっていうのを、ちゃんとそれが、信頼性があるもの。
0:19:59	要は、どういう状況なので、ただそ例の、その信頼性。
0:20:05	ていうものがあるって、さらにそこは当然それは適用範囲だとか、こういう試験の条件でやったものっていうそういうものがみんな明らかになった中での、

0:20:17	データの信頼性なり、
0:20:19	伝えたかっていうのがあるわけですよ。
0:20:23	で、さらにそのあとに、信頼性があるデータをどう料理していくんだらうと という考察の部分が出てくる
0:20:34	必ず、ここは人間に寄ってしまうわけですよ。ただその人間がどういう 人間がちゃんとやってるかという信頼性。
0:20:42	なんですよねそれは原燃が今まで言っていたオールジャパンと言われ ている、要するにそういう見識が高い人たちがしっかり見る、
0:20:53	ということなんですよね。
0:20:56	で、
0:20:57	そのあと2次何があるかというと、
0:21:00	その信頼性があるデータ。
0:21:03	ノモト、
0:21:06	見識が高い人たちがしっかり見みた。
0:21:10	中での、
0:21:12	今の原燃の
0:21:14	意識、地盤地質の構造的には、
0:21:18	こういう状態なんではないかと。
0:21:22	こう見るのがいいのではないかと。
0:21:26	ていうものが、それぞれの、
0:21:29	10、残り12地点、
0:21:32	に対して、それぞれ出てくると。
0:21:38	いうことから、そこが科学的な根拠なり、
0:21:44	もうもって、信頼す。
0:21:48	が、信頼性のもとに見えてくる、原燃の敷地像というかね、その各々の 12ヶ所のつていう、そういうものが見える。
0:22:00	で、これを、
0:22:02	ちゃんと見せていくつていう。
0:22:04	そうすると、
0:22:06	何をしないといけないかっていうと、その
0:22:09	いろんなデータがあるんだが、
0:22:13	この中に1点、要するに直下を原則としましょうと。
0:22:18	いうものがあって、
0:22:20	その直下のモデル、モデルじゃない、直下のDた、要はあるA地点、
0:22:26	ていうものに対して、どういうデータを使えるつていうのが、最初のデー タに戻るわけですよ。
0:22:37	例えばだから、VSとか、地下構造、

0:22:42	地質構造っていうものは、直下のなりその近傍からとれたデータを、これだけ、
0:22:50	この、この量を使いますと、この部分使いますっていうように、要するに、どこの地点にどのデータを当てはめていくかみたいな、
0:22:59	そういうことが結構重要になってくるわけですよ。
0:23:05	さらに、今度はその直下だ形ではデータが少ないので、今度広域のものを、
0:23:14	例えば、地震観測みたいな3ヶ所しかなかったり、それから今回やったPS検層というか、
0:23:22	みたいなものっていうのも、そんなに量が多いわけじゃないからそういうデータを、
0:23:29	どう、
0:23:30	当てはめていきましょうっていうのが必ずあるんだよね。その時にあるその地点にとって、
0:23:38	全部使う必要もないかもしれないし、RDFからこうだって言ったらそこに、
0:23:46	見識者の方、
0:23:48	うん。
0:23:48	なりの考察。
0:23:51	科学的なそういうものが、根拠をもってっていうそういうものが重要になってくるんですよ。
0:24:00	だからそそういう作りで、そうするとさっき浜崎さんは途中だけど、
0:24:06	既存のデータっていうのは1回、既存のデータとしてはよかったかもしれないけれども、新たにとったデータを見ると、本当にこれが全部使えるのかとか、
0:24:18	どうだっていうのまでやっぱり吟味しないといけなくなるわけですよ、必然的にね。はい。
0:24:27	だから、今度は中のデータで、だったら平均んなり、何か使えるよねって見たのが、10が50に例えば増えた場合に、
0:24:38	本当に50のデータからして大丈夫なのかっていう目で、新たに見なきゃいけないわけですよ。
0:24:47	終わってないんだよね。
0:24:53	それはさっき多分野本さんが言った、
0:24:59	だからすべてのデータをもう1回ずつね、
0:25:02	全部土俵に上げて、そしてちゃんとした目で見るとっていうのが原則になるわけですよ。

0:25:10	だから原則論に立ってねっていうのがそういうことなんで、ただそそういうところを、別に紙に書けとかっていうことではないのかもしれないけれども、
0:25:20	3億こういうのを作る前にはしっかりないと。
0:25:25	おかしくなるっていう。
0:25:27	ここには、その科学的なデータ、要は信頼性があるデータ。
0:25:35	2、
0:25:36	を使って、有識者、
0:25:39	見識者が、
0:25:41	科学的にちゃんと見たときにどうだというのが、
0:25:47	あるんだそこが科学的な部分が詰まった部分なんだよね。
0:25:54	で、今日のこの3ページなんかを見てしまうと、それに最終的な何か、
0:26:00	保守性だとか、解析の用意さだとか、別の視点がまじり込んでるわけですよ。
0:26:09	ステップ3まで書いてしまったがいいですねだからそのステップが、だからステップ3とか2とかっていうのをもう1回ちゃんと見直さないといけないんですよって言うわけですよ。
0:26:20	ちょっとね。
0:26:25	県のでございますからそれが科学的な、
0:26:31	データを見ながらそういうものを途中で入れ込んでしまうと。
0:26:35	非常に議論がわかりづらくなってくるんじゃないのかなあと。
0:26:40	いうてそこに相当大きな、
0:26:43	我々とのとか、データの見方使い方。
0:26:47	ていうところに、
0:26:50	隔たりがあるんじゃないですかねと。
0:26:56	というのが、大きなはい。
0:27:00	流れのちょっと、
0:27:02	違和感が。
0:27:04	今日見たところ、
0:27:05	非常にこのまず3ページの部分で相当な違和感を感じましたと。
0:27:12	ということなんですね。
0:27:14	で、それに、
0:27:16	それをまずきちっとお互い何か、
0:27:21	最初に思ってた方ってどうなったんだ。
0:27:24	この3ページだけ見ると、従前の話と、
0:27:28	皆さんの思いで、一番最初のね、

0:27:31	もうこういうことへの理解に入る前の申請当時と言ったらいいのかな、2、また何か戻ってるような、
0:27:38	気がするわけですよ。
0:27:40	はい。
0:27:46	なので、まずはそこんところをちゃんとすると。
0:27:50	データを全部出す。
0:27:52	そしてどういう見方をしないとイケない。だから、まず我々に説明するのは、たが信頼があること。
0:28:01	そのデータに信頼性があること。
0:28:04	なんだよね。それと、どの時点に、どういうデータを当てはめていく。
0:28:10	ていう、それは結局、考察が込みになるわけですよ、理屈がいるからね。
0:28:16	その理屈とかっていうのが、ちゃんと見識者が、
0:28:20	呉なりがちゃんとしっかり見て、しっかりした理由を作る。
0:28:25	ていう。だから、理由とセットでそういうものがある。
0:28:29	と常に理由がないよう、結構今日みたいに、結果だけ並べても何の価値もない。
0:28:40	価値あるものっていうのは、そうですね、何度も言うようだけどね、使えるデータに対して、
0:28:50	正しい見方を、
0:28:53	するというその、トータルの信頼性をまず説明してください。
0:29:06	それがまとめなんだよね。
0:29:08	これ今までやってきた事実と、これこれからやろうとする人たち、人なんだよね。
0:29:15	やってきたことの信頼性、要はデータの信頼性と、それからそれを見る人たちの信頼。
0:29:23	言いなり、その、
0:29:25	部分っていうのが、重要。
0:29:28	表なわけですよ。
0:29:33	そうすると結果に価値が出ると。
0:29:36	その下、8 からどこにあるかっつたらしっかりした、裏付けられた結果であるかどうかなんだよね。データに基づいた、要するに根拠がしっかりしているかどうかっていうところの説明が、
0:29:49	非常に重要になってきますと。
0:29:52	あとは結局その結果として出ちゃうんだから結果はそうだよって言うふうには必然的になるので、結果の説明はそれほど重要。当然結果の説明はあるけれども、

0:30:04	価値としてはそれほどでもない。
0:30:08	実は、
0:30:11	話を戻すと、ちょっと隔たりがあるんじゃないかと。
0:30:15	いうところについて、
0:30:17	ちょっと議論なり、
0:30:20	見解を、
0:30:24	名簿でございます。
0:30:26	おっしゃっていただきました考え方は全く我々、同じ 2 位を持っています。で、
0:30:34	その意味で、
0:30:38	ここで我々が
0:30:41	まずちょっと説明として、そういうふうにはやはりイシマルというところの何かいけなかったのかと言いますと、
0:30:51	このステップ 123 と、そのパラメーターのマトリックスみたいな形でわかりやすくあろうとところでちょっと作ってしまったんですけども、こうすると一つ一つを、何か一気通貫でやるみたいに見えてしまったところでちょっと今おっしゃっていただいた。
0:31:05	決まると、やはりですねステップワンでトータルの信頼性をデータとして確保するというですべてのデータについてヒライテラモれました。それはもともとの
0:31:15	会合でもご説明してきた計画に基づいて、今取り切りましたと、いうことがおそらくまず最初に、きっちり認めシマなきやいけないことなんだろうなど。
0:31:26	特に認識されました。
0:31:28	で、その次に、適用範囲の分析ですとかその使い方についてその人による信頼性を担保させている根拠がしっかりしたものであると。
0:31:39	言ったようなことを述べるとそれから内容としてですねちょっと抜けておりますが、広域のものをどう当てはめるかの考察っていうのが、ちょっとまだ、ちゃんと見えるようになっていないこのところをきちんと保管しないといけないと。
0:31:53	そこまでのステップ 2 で、まず、データに基づいて、科学的技術的にどうなのかというところでまず止めないといけなくって、それを 3 までちょっと嫌やっついこうというのが、
0:32:05	何だか我々の思いがひょっとしてまじってるんじゃないかという疑念を抱かせてしまうと、いうことなのかなというふうに思いました。

0:32:14	以上でございます。最終的に下のケツクでございます。先ほど小崎さんにもうご指摘を受けた、13 ページ、14 ページの関係がまさにそうだと思う。
0:32:24	まして、さっき 23 と聞いても、
0:32:27	何故かしなくて、三つになってるのは、
0:32:29	人数が、まず、14、14 があって、
0:32:32	データが全部があって、そのうちこうだから、こうこうまとめるんじゃないかという、見識者であるとか有識者の見解なんかも踏まえてちゃんとまとめて、
0:32:42	その最後に持っていくというのはわかります。ちょっと我々を出した資料がですね、すいません最初に結論、なぜなのかみたいな何か、管理課からおっしゃってたまず
0:32:52	Dた。
0:32:54	信頼できるDた、それを信頼できる人が分析したんだ、こうだったと、そこに考察を加えたら、こういうまとまりで評価できる。
0:33:03	いうので、最終的に地盤の構造はこんなものであろうというのが今回の会合の出す最初の答えですけども、そこに持ってくる数字が少し、
0:33:13	一足飛びになっていた資料になっておりまして、ちょっと今のお話を聞いて少し理解が進みましたので、
0:33:21	手直しが必要だという認識に立っております。
0:33:23	以上です。
0:33:30	規制庁発生なんですけど、先ほどの野本さんの
0:33:33	間も、言葉の使い方微妙にちょっと、
0:33:37	何となく、
0:33:40	どうなのかなと思うところはあったんだけど、
0:33:43	本当に理解してるかどうかは、
0:33:48	まだよくわからない。
0:33:50	はい。正直わからないんですけども、
0:33:54	わかったつもりでやってみてくださいなんだけど、
0:33:58	人の信頼性がどう担保します。
0:34:02	県のってございます。それは、
0:34:07	人の信頼性ですから、もう
0:34:10	世間の信頼のある方ということで、いわゆるオールジャパンと、
0:34:15	いうことで各、そうですね所属の第一線級の方々に、その複数の方々にご覧いただくということで、担保していくということでしかなくて、100% というと何が 100% だと。

0:34:29	難しいんですけども、ベストエフォートといいますかできるだけのことをするという意味で、各所属の県民の手の届く範囲で、精一杯見ていただくということに尽きるんじゃないかなというふうに思っております。
0:34:43	規制庁の長谷川ですけど。
0:34:45	当然そのまず最初に今言った部分の、
0:34:48	どうももう、
0:34:50	ていうのが重要なんだけど、結局、結果として見えるのは、要するに、考察なり根拠なんだよね。
0:35:01	ある結論に。
0:35:02	そういった人たちがデータを見て導くわけですよ。
0:35:07	その根拠が、
0:35:09	我々もに対してもうなるほど、世間に対して、なるほどねっていう、そこが説明できるということが、
0:35:21	重要。
0:35:23	それが多分、最終的には確保は、
0:35:29	なんじゃないかなと思うんですけどね。
0:35:37	どうです。
0:35:39	前の本田でございます。はい。おっしゃる通りかと思えます。
0:35:44	で、やはり、人による信頼性を担保させるということの意味合いっていうのは、例えば1足す1は2だったら、人による信頼性なんかなくて算数的に言えばいい話なんだけれども、
0:35:57	ここにやっぱりトータルの、やっぱり技術的なですねこの地盤という現象に対するやっぱり試験という点で、1人の人がこうだと言っても、
0:36:10	そしてそうじゃないかもしれないというところが残り頃からこそその、やっぱり非常にお知らせなんだというふうには思っております。
0:36:17	ですので、やはりですねそれをやっぱりちょっと繰り返しますけど、何かの方にいただいてそうするとですね規制庁さんが、なるほどねとおっしゃっていただける。
0:36:27	バンドと、それやっぱり、有識者の方がおっしゃる、こうだよねっていうバンドっていうのは、かなり相当にやりくりになっていくんじゃないかなという思いで我々やっているというところでございます。
0:36:39	うん。久田世良ですけども基本的にはそうだし、我々むしろgooの音も出ないほど、しっかり、
0:36:49	やってもらえば、
0:36:51	いいんだと思うんですよ。
0:36:53	少なくとも我々よりは、みんな有識者の形式が高い。
0:36:58	ていうのが、もう話の前提に実はなっているわけで、

0:37:04	そこをきちっと、そういう人たちが、
0:37:07	しっかりした議論
0:37:09	をし、
0:37:10	結論を要は、科学的根拠に基づいた、
0:37:16	結論に導くと。
0:37:19	で、科学的根拠というのがしっかり示す。
0:37:23	説明がされれば、結果はおのずとついて、
0:37:27	きますよっていうところが今回最も重要な
0:37:32	さっき、当然データの信頼性からして、そこまでが議論 8 割以上を占めるっていうかねそこでもう決定するんじゃない。
0:37:43	ということなんですよ。
0:37:45	あとは、
0:37:46	そこまで行ければ、
0:37:48	最終的な話としては、そこに、
0:37:53	解析上のとか、もう少し手間を省きたいってこうだとか、皆さんの思いとかいろんなものっていうのが、
0:38:01	そのさらに上に乗っかってくる分にはそんなに。
0:38:06	大きな議論っていうかその議論というのはまた別の次元の議論。
0:38:10	ね。
0:38:13	だからその議論に行きたいんだったらその手前のところが 8 割を占めるところをしっかりとっていただきたいと。
0:38:21	まずはそこだよ。
0:38:27	だからそこまででもいいんだから、12 月はその、今言った部分のどのあたり、っていうのか、だからそういうことをまずちゃんと説明してもらった上で、
0:38:38	どんな具合ですかっていう。
0:38:41	その説明がどれだけできるんですか。
0:38:50	新野でございます。はい。だから、規制庁の発生がどうもちょっとできると。はい。なので先ほど野本さんが、基本的には一緒ですって言ったんだから、
0:39:01	すでにそこは済んでいるはずだから、
0:39:07	かなりできると思っているんですか。
0:39:11	2 年ほどございます。不安が残るのは全く同じ認識だと思っていて、そのつもりで作ってきて先ほど丹治も申し上げましたけどもそれがやはりですね資料のでき合いでして、
0:39:21	認識が合っていないよねって、おっしゃっていただいたというところで、我々ちゃんとかいう資料を、共通認識がとれるように、ちょっとつくり上

	げるかというところに、若干まだ不安が残っているところではございます。
0:39:33	ですね。
0:39:35	今私の理解で申し上げますと、今おっしゃっていただいたことを踏まえると、まずこのStep1 委員さんのこういう流れでもう行くというのはもう自明とろんことといたしまして、初めてだったら、はい。
0:39:51	うん。規制庁の長谷川ですけど、3 ページの、これは自明ではないって言ってるんだよ。
0:39:57	この中身は自分ではないですね転倒だからそこにステップ幾つとかっていうのを最初からつけてしまうのが非常によろしくないと思います。ステップ幾つなんてどうでもいいんですね。
0:40:08	それを最後につければいいじゃん。ここまでをステップ1 というとね。
0:40:13	だからステップ1 はここまでですとかっていう、ステップ1 というのが先にあるわけじゃないんですよ。
0:40:19	はい。
0:40:23	ね、いくつかこういうねさっき言ったピンどめするっていうところのピン止めっていう言葉はね。の方がむしろで、このピンどめまでをステップ1 というっていう、
0:40:34	そういう言葉遣いだったらいいんだけど、だからおかしくなっちゃうんじゃないかなっていう
0:40:40	何か、何しろこの差を、うんのこういうものを使いたいというのが、頭ん中に残っちゃうから。
0:40:48	いつもおかしくなって、だから前キャラにして、もう1 回ちゃんと
0:40:53	ね、整理し直したらいかがですかと。はい。
0:40:56	そうすると資料作りではないんですよ。
0:40:59	データの、
0:41:01	まず信頼性をどうね、ちゃんと中で確認することですよ。
0:41:07	その結果として、
0:41:10	こういうものがあるからそれをどう見せようかっていう時に、資料作りに入るわけですよ。
0:41:18	だからデータの信頼性データの吟味をしっかりとしたんですかっていう。
0:41:23	前はね、浜崎の方から質問があった、友野みたいな今回何も載っていないわけですよ。
0:41:31	はい。
0:41:32	ね。
0:41:34	だからそういう原理がちゃんとされているのかどうかっていう、その分を聞いてるんですよ。

0:41:43	だから資料作りは、それはもう、あと、
0:41:48	具がないと資料できないから、はい。
0:41:53	これはどうなってるんですかっていうのが質問。
0:42:00	でもす。先ほど来の話をもとに総合すると、具がないんだよ。
0:42:08	大した苦にはなっていないっていうのはオガセさんも、さっき言ったようにこれ、これからこういうものについて検討しようと思ってますと。
0:42:16	ね、そういう段階の何か結論が先に来ちゃって、
0:42:22	だから、根拠がなく、結論できてるっていう、そういうことをやってるわけですよ、事実として。
0:42:31	そういうことはありえない。
0:42:35	私の感覚では、
0:42:37	それをやるとね、
0:42:41	いつまでも議論がっていうか、むしろ疑いが深くなってくる
0:42:47	うん。
0:42:50	それはただし、
0:42:52	ノモトさんの的にはどうなんですか。
0:42:54	そうですね、作業許可のオガセから申し上げたアノ分析っていうのは一つの例だ。
0:43:00	はい。ええ。
0:43:02	今回まだ追加調査の取りきれないデータっていうのがあるんですね、ちょっとですね。
0:43:08	における今、今お話になってですねまず一番最初にせなあかんのはもう、何回も言っていたら、データの信頼性とか、適用範囲とか、
0:43:19	いうところを、まず、まずその作業をどうやったんだと言ったところが何もなくて、取りましたデータです。であるので、それでは、
0:43:28	生産でそのデータを細かく、まずそこから聞かなあかんから、まず、こういうふうにくわしくとったデータ、過去のやつはこうとったデータだからこの適用範囲がある。
0:43:38	いたところを明確にするそのデータの信頼性をまず明確すると、このステップが全く入ってないと、要は書いてあるんです。あるデータを取ってないんで、そのデータ載せてるんですけども、
0:43:49	その話ができるのでそこをまず、
0:43:52	そのうちに考察を加えて地下構造はこうらしい、手伝ってる六ヶ所の構造はこうらしいといったところを出すと、その時に最後設計もちろんあるんですけども、

0:44:05	多分 12 月の時にそこまでいかないんですね、内川小浦シート、ステップ今回のデータ、今あるデータ、また取れてないデータもございませけど今あるデータからすると、
0:44:15	どうも減衰はこんな感じに表層はこう、こんな感じであるといったところまでを、12 月の会合に出すというような答えですので一番最初のデータの信頼に足るところの話が一切
0:44:27	抜けてるので、先ほどから
0:44:30	議論のかみ合わないところだと思う。
0:44:32	まずそこから、ちょっと資料の構成決して下にデータをとったわけじゃ、ちゃんとトレサビにとってデータ取っておりますので、そこからちゃんと説明して、ちゃんとトレサビとトヨタデータであるといったところを示した上で、
0:44:45	このデータをどのようにするかといったのをお見せしないと、
0:44:50	世間の方にですね 1 からやり直す必要あんまり見えないと思いますので、そこからちょっと資料を考えて参りたいと思います。以上です。
0:45:06	この話はいいでしょう。
0:45:07	わかった。
0:45:08	プレイズ
0:45:09	それ相応にしていただければいい。
0:45:14	どこまでですけど、
0:45:20	多分、
0:45:21	結論的には最もらしい地盤はこうであろうというところまではお見せできると、いうふうに考えておりますデータはありますので、
0:45:30	そこでつまり資料資料化されてないね、あれはすぐ信用してもらえませんが、ちゃんとフジオカした上で、本村Cコードはコールや、今、一部のデータ除いてこうであろうというのが見えてきました。
0:45:41	で、12ヶ所分、
0:45:43	12ヶ所、12ヶ所であります。
0:45:45	大変にまとめたり、あと遠く重要なのか、AだったらA地点でどのデータを使いますみたいなのは、
0:45:55	使ってますみたいなのは整理されてる。
0:45:59	センミョウでございませ。はい。これをちゃんととらえるようですけどその起点だったり線のそのグループのところセキとして、
0:46:09	何を使うかということの、我々の製品は対
0:46:14	取れてないっていいませかまだ分析っていいませか習得できないものっていいませかそれがありますからそれは後から追加するんですけれども、

0:46:23	元田という必要が、
0:46:28	そういう一覧表みたいなのも、
0:46:31	見えるわけですね。
0:46:33	基盤等のイメージですか。地点の何々は、このデータとのデータって、例えばね、例えば、
0:46:46	ちょっと素人で私申し上げませんが、例えばこの地図であって、このデータを使うか使わないのか。
0:46:52	いたところの議論というのがもちろんされてる使っっていうより、メインは、ある施設群だよ。
0:47:01	そうですねはい。はい。それが12ヶ所あるわけですよ。12ヶ所だから、A2なり使ったのっていう。
0:47:10	はい。はい。ていうことなんですよ。むしろね。
0:47:14	そういう感じですか。
0:47:19	いやそれは結果だからさ。
0:47:21	それを出すまでに、どのデータを使った、なぜそのデータが使えるんだっていう、
0:47:28	なぜそのデータを使ったんだっていう、
0:47:32	使ったんだとか使えるんだらうか。それがデータの信頼性と、その意味だよ。はい。
0:47:40	じゃあ、そこに全部、
0:47:42	乗っかるわけですよ。はい。
0:47:45	そちらにヒラタというのは、例えば、例えば、イメージがちょっと当てたのかなと思いますけども、タテヤノカワバタで、自分に並んだとしてですね。
0:47:57	横井国は、それに対して、例えば難波布施だったら岩盤物性のデータ設計に使うデータが、このボーリング孔のものをを使うと、いうことがまず書かれるわけですね。
0:48:12	それをとることの妥当性は、こういうふうに。だからその1箱ごとに、今はコガできるでしょ、今のイメージ。はい。1箱ごとにそのデータを使った根拠と、はい。
0:48:25	結果とか、データのそこにばらつきとか、そういうすべてのものが結果として入ってくるから、そこに常に二つあるわけですよ。はい。
0:48:37	データとその根拠ですね。はい。そう。そうすると最初に、児玉さんおっしゃっていただいた減衰の準リアーに、その3時点の地震観測局のものをどういうふうに適用していくのかということだということも自動的に入って、

0:48:51	うん、だからそれは多分ね、そういうものは広域で使ってるものは、箱が共通化されるわけですよ。うん。AかAからCまでとかね。
0:49:03	でもそこには根拠があるわけですよっていうふうにだから箱ごとに説明すると、1箱ごとのやつっていうかね。
0:49:11	うん。ものとはコウが少し共通化される、三つ四つのエリアが共通化されたり、
0:49:19	全部かもしれないしねっていうのが、
0:49:22	存在するでしょ。
0:49:23	できるよね。はい。
0:49:26	そこに、当然、そのの、
0:49:30	結果が、
0:49:31	何か出てくるわけだから結果に対する根拠なりっていうものが、普通にそうセットで出てくる
0:49:38	それ説明すればいい。
0:49:45	新野でございます。はい。
0:49:46	わかったと思います。
0:49:48	思います。思って大丈夫。わかりました。
0:49:55	はい。
0:49:56	使っ
0:49:59	そこにはめ込まれるた。
0:50:02	なり、さっき言ったボーリングが何だかっていったものが、その前に信頼性がえられてりゃいい。
0:50:16	そうするとその結果を組み合わせると、
0:50:19	ある地点の、
0:50:21	何か、
0:50:23	構造が見えるわけですよ。
0:50:26	だとしてね。
0:50:27	全部を、
0:50:28	トータルを、
0:50:29	取ったときに何か見えてくるわけですよ。
0:50:37	そんなふうに、
0:50:39	やってるのはね、やってます。それはもうすぐ表せてもらえないので、
0:50:43	教えてもらえません。ちゃんときっちりやってますので、
0:50:46	きっちりツジツジを通して世間の皆さんにわかりやすく、
0:50:53	最後の質問では、
0:50:55	なぜそこまでできてるのに、
0:50:57	こういう資料になり、こういう説明になってしまうのかが、

0:51:01	非常に不可解。
0:51:06	ノモトですですねえ。
0:51:09	だから原燃はこれをもって何を説明しよう。
0:51:13	したいのかっていうのがそういう意味で、目的が何もわからない。
0:51:21	これはだから、こういうことが起こってる自体が、Steeringチームが、しっかりちゃんとやってないってことなんじゃないか。
0:51:31	日本原燃別府です。おっしゃる通りでございます。当然作っていただいても我々ヒアリングじゃなくて
0:51:37	本社の方が、重大事故も当然作ってる人間はもうある程度頭の中でデータを使えるもんだってあるとか、そこはもう大連ってことをすっ飛ばして作って、
0:51:48	そこをスペアリングがきっちり見抜いてですね、まずはデータの市外からといったところの指摘ができなかった。
0:51:55	のが最大の今回のデータがあると思いますんで、Steeringチームがちゃんと機能してないってことね。
0:52:04	はい。私も資料、庄子の方に入れてませんでした。
0:52:09	反省して、
0:52:10	したいと思います。
0:52:12	人の方です。えーとですね、むしろこの頭に私になっちゃってしまっていたという。
0:52:18	反省はございます。うん。それは、
0:52:22	やっぱりこのですね、今瀬戸さんまで書いちゃってますけども、そういう頭をちょっと私が持っちゃってしまっていたなというところをちょっと反省しないといけないなと思っており、
0:52:33	だから、昨日も、規制庁のさっきのもう何かいろいろ、うちの中でも話してたんだけど、いろいろこの後料理、たとえていくと、多分、Dた自体、
0:52:45	いうのは、それほど立派なね、食材でも、
0:52:49	多分ないのかもしれない。まあまあ普通ぐらい腐ってはないよねっていうのをまず証明してもらってという、どれぐらい立派なのか。うん。食材の程度つったのがデータの信頼性なり、そういうものだよな。
0:53:03	次に、そいつらを料理する料理人の腕だよな。
0:53:08	ということなんだよ。
0:53:11	ていうのが必要で、
0:53:13	そこまで実はできてましたっていうのが今までの説明だよな。でも最後のモリ付けに失敗してるんだよな。
0:53:21	ね。だからさ、ね、美味しそうにモリつけてねえから、それとつてもさ、ね。

0:53:27	普通の食材かもしんないけど一流の料理人が作ったんだけど、
0:53:31	ね、実際、最後の盛りつけなり出し方なり変わりはまずくなっちゃってるわけだ。
0:53:39	ていう、
0:53:41	そんな間Gだし、
0:53:44	あとはだから、Steeringチーム考えないといけないのは、例えばね、
0:53:49	中身がとてもすぐれたね、品物。
0:53:54	こいつどう売るかっていう世界。
0:53:57	Bなんだよねそのとってもすぐれていても全く売れない。
0:54:03	周りの担当者はすぐれたものを作った。
0:54:06	なんだけど、売り方悪いから、全然売れない。
0:54:11	でもそこがSteeringチーム、
0:54:15	悪い品物でもばか売れできるぐらい考えないといけない。だからそ、そういう意味での視点っていうのが、
0:54:23	全く足りてないんだよね。
0:54:26	どうしたら買ってもらえるか。
0:54:28	このケースどうしたら我々が、
0:54:31	なりね、一般の国民の人がね、原燃がね、しっかりやって、タカハシをちゃんとですね、出してきたんだ科学的にちゃんとしっかりしてるよねと。
0:54:44	だったらね、信用しましょうかと。
0:54:48	ていう、そういう世界に、ちゃんと説明しないとイケないんだ。
0:54:53	もともと信頼性がすごい高い人だったらなんか出せ売れるっていうね。
0:55:00	任天堂のゲームみたいな、佐田社売れるとかっていう世界ではなくて今までさ、信頼をさ常に裏切り続けた人たちが砂丘にいい品物ができてもさ、みんな信頼しない。
0:55:15	そこちゃんと考えてもらいたいんですね。
0:55:17	だからこそそこには、
0:55:20	本当にしっかり、
0:55:22	やってもらわないと。
0:55:25	せっかくちゃんとやったんだろうか。はい。
0:55:31	ていうことかな。
0:55:35	のでございます。ありがとうございます。ここの資料作る時に、私率先して3番の資料、朝、さっきの資料はですね想定して全体がわかるようにこんなんじゃないみたいなことを、
0:55:46	やってたっていうようなところもございまして、ちょっと認識として、最後、教えていただいタモリつ形っていいですか、ちゃんと

0:55:54	モチギの仕方ってところの認識がちょっと私泉とったなというのは、ちょっと今、認識いたしましてありがとうございます。
0:56:02	お前が悪いんだよ。
0:56:04	前の整理、
0:56:11	以上、
0:56:12	はい。
0:56:15	はい。
0:56:17	衛藤。
0:56:18	そうすると、コールドこの会合の骨子の資料としては、大分体裁を、
0:56:26	思いますけど、
0:56:29	とは言っても、
0:56:31	この間、中身、中身はそのまま会議に出るわけでもないと思いますけど、この間の使用の中で、
0:56:40	なぜこういうことを書いている。
0:56:43	考え方。
0:56:44	自主タイプ。
0:56:48	てもらう。
0:56:50	技管締結後、
0:56:56	フチセちゃうわけじゃちょっと資料の中に入る前に、今の管理官の話の、ちょっと、
0:57:03	より具体的な確認なんですけども、まず、
0:57:07	3 ページでいうと、赤丸のところも含めて、資料が、データが取れてきましたよと。要は、既往データと追加データ含めてですね。
0:57:18	これをトータルとして、これから領域という段階だと思います。それで、
0:57:27	例えば前会合でも言いましたけれども、追加でPS検層をやりましたそこには反射ハダとかそうその影響っていうのは、話が。要は、データの信頼性っていうのはですね、
0:57:39	それ。
0:57:40	っていうのはもう英語があるということも進捗は、
0:57:43	されて、結果も出ていく。
0:57:45	説明もできると。
0:57:48	はい対象当然設計のものでございますが、耐震担当の 08 の方にですね、前から昇進の影響ですとか、あと
0:57:59	建屋影響ですとかっていうのは、こういうふうなことで出てるということで、一応ですね、まだ要因分析をですね、これからしようとしてますが、こういう結果が出てるといふのを、
0:58:12	載せてございまして、

0:58:28	参考のですね。
0:58:30	166 ページ。
0:58:35	7 ページ。はい。でございますが、
0:58:38	このところにですね、
0:58:40	現在ですね、これ観測技術者の方といろいろ話しながらですね、実際に コリレーションした、
0:58:49	結果につきましてですね、一番最初にその速度を出すときにですねそ の速度が実際のですね、地盤の速度と乖離していると。
0:58:58	いうものは、何らかの影響を、が出てるということで、今までこの観測者 さんたちはですね、こういうものについては、希釈、企画してると、いうふ うなことで、
0:59:09	我々のところでもですね 12ヶ所中の 3ヶ所にですね、S波もP波も同様 の結果、或いはS波のみっていうものもございまして、今それですね、
0:59:19	どういう原因なのかということで、近傍の建屋の位置関係と、あと表層 の不陸がございまして、その関係を見てですね、何か共通の要因がな いかと。
0:59:30	いうふうなことをですね、今確認しております。で、今のところですね、 一つはですね、建屋に四方方囲まれてるものについてはですね、
0:59:41	この上のほうな、その計算フローみたいなことができない。
0:59:46	というのと、あとやはりちょっと不陸、タテが全くないところでもですね同 じような現象ができておましてそれはもうちょっと不陸がですね、10メ ーターぐらいありましてその背斜がですね、何かその表層で影響して るのか。
0:59:58	じゃないかというふうなことをですね、今のところ、
1:00:01	今回の理由としてですね、確認しております。ただ、実際にですね、減 衰を出すときには、差分で出しますので、その差分感ですので表層の 影響というのをですね、
1:00:13	全く入らない。差分だけで地下の地下構造の差分だけで出してるという ことで、一応その観測技術者の方とはですね、そういうふうなお話を今 しております、
1:00:24	これに加えてその原因分析みたいなものをですね通知していくというふ うに考えてます。はい、規制庁です。そのあたり 665 ページの方に、
1:00:34	まだ触れられてると。
1:00:36	ただ下から 4 行目ぐらいのところですかね、確認中であるという文言も 集まり予算からご発言ありまして、状況。
1:00:45	いうふうに理解して、まずここら辺をしっかりと確認しないと、このPS検層 の元データ自体の信頼性というのを我々も、

1:00:56	いうところをしっかり、
1:00:57	する必要ないと認識してますので、それは他にも配慮事項ありますかと いったように、これは一つ事例にあって、
1:01:06	他にこういうことを、データの信頼確保の上では考えて、
1:01:12	評価してますということをまず説明いただくというのが最初のステップ。
1:01:17	はい。はい。で、
1:01:19	規制庁浜崎です。あとですね例えば先ほど、同じジャッジの資料、これ 後から、
1:01:25	見るんですけども、
1:01:26	245 ページ、2 以降に、
1:01:30	各 12 グループのですね、これ、法律上の別児童日、
1:01:37	僕言ってますよねで、これは既往度、
1:01:41	あれですよ。調査結果に基づいた、
1:01:44	ね。
1:01:45	ここにPS検層の、
1:01:47	追加分が入って
1:01:49	それと、それが、もうできてるんですか。なんか、僕はできてるってことは もうそういう情報ができてるのか。
1:01:56	さらに、これ、
1:01:58	ドイ地上部、PS検層、
1:02:00	としての、こういう各グループの中で、既往のものと、追加の傾向分析と いう形で、各グループの土質構造、
1:02:11	地質構造としての、
1:02:12	うん。
1:02:13	確認、
1:02:15	データの確認という位置付け、そういった情報ももうできているという理 解。
1:02:20	はい当然関戸でございますが、今回のそのS波検層と言ってるもので、 出てきましたPS検層、実際にP波速度とそS波速度の速度構造につい てはですね、それは出ておりました、
1:02:33	それは今までの赤く青コウアノ。
1:02:37	プラス、新規追加コウということで、まとめるような形にはとっておりま す。はい。はい。市長。そういったまとまった資料で、すでにこれ例えば 井清経由しても 12 校における
1:02:53	一応提出地盤構造のモデルに基づいて、その指摘
1:02:59	それを変更、追加の家、PS検層等の

1:03:04	データに基づいて変更する必要があるのかないのか、ここ重要だと思う。
1:03:10	要はそこで変更があるとなったら、
1:03:12	さっき言ったその日清家さん、もう1回じゃ、その
1:03:15	人のモデルでやりなさい。
1:03:19	その必要があるのか。
1:03:21	はい。はい。日本原燃のオガセでございます。ちょっと後で構成は変わるの承知でこの資料のパワポの資料の3ページのところで、一応その辺も触れているところでございます。今野ハバサキさんがおっしゃったところの話ですと、
1:03:34	一番上の岩盤部分の物性値のところにつきましては、この青い枠の中の右っかわ追加データの取得のところに、矢印で書いてるところ、既往データに加えて追加データを反映した上で改めて平均値作り直します。これはちゃんと反映をすることです。
1:03:49	あと今はこれは当然データがとれたもの、剛性アップ成長そのものを物性値を
1:03:54	追加データ直すって話なんです、それを他の因子にはねて羽根させていくというような概念のところは、いわゆるステップ2の分析のステップって言い方をちょっと今は資料通りしますけれども、Dた自体をこう見ていくと。
1:04:08	2、次の行の①の実剛性の非線形性のところですね、の二つ目の矢羽根のところですけども、
1:04:15	河崎さんに疲れてると思うんですけど線形と非線形解析をまわします。その時の地盤条件については、今申し上げました物性値のデータというのをきちっと反映するというふうにしていく。
1:04:24	そういったところは一応書いていますのでこの辺ははいやる方針というものはこの08の厚い資料でしこの
1:04:32	コウノなしに、次回の会合の中でも、そういうものはちゃんと入れていくことを考えております。はい。規制庁浜崎です。今、説明のあった、追加データのところに基本データに加え云々とかですね。
1:04:46	で、これも、例えば12号のうちの1個なのか0なのか或いは、
1:04:50	大多数なのか。
1:04:52	そこら辺我々わからないんですよ。
1:04:54	現状、
1:04:55	つつたら全部議案。
1:04:58	日本原燃合わせでございます。

1:05:01	先ほどの上川との話もあったんですけど、じゃあそ取った追加データを、どこのエリアで使うんですかっていうところを根拠つきで今後説明する必要があると思っております、まずその説明をきちんとします。その上で見込みとしては、
1:05:14	全部のグループについて、
1:05:18	何かしら追加のデータがえられてそれを反映していくということです。はい。
1:05:22	わかりました。規制庁ハバサキです。
1:05:26	はい。ある意味、作業量のミキモリモト影響してくるかなと思って。はい、木下ですけども。はい。
1:05:33	やはりそういう情報を事前に月、
1:05:37	ということが最初かなと。
1:05:40	で、
1:05:43	準備をお願いしたいというのが、
1:05:46	それともう一つ、今はそれは個別等中にこうなるのをグループ形としての、まずはですね、評価なんですけど先ほど来話があった減衰
1:05:56	ごめんなさい、減衰か。
1:05:59	減衰、或いはもともとの三つのエリアの話とかですね。
1:06:05	そういったトータルとして、要は減衰なんていうのは地震は観測。
1:06:10	基づくとしたら、三つしかないわけなんで、
1:06:13	それをじゃあ 12 グループとしてどうやってこう、
1:06:17	排風すーというかな、
1:06:20	割り当てるというのか。
1:06:22	どう考えるのかと。
1:06:24	それについては、何か具と言いますか、順次、
1:06:28	されています。
1:06:36	もう、そのエリアで、ほぼすべて同じ原因を考えますっていう、そういった定性的な話じゃなくて、
1:06:46	先ほど出てましたですねグループごとで、はい。
1:06:52	14 ページ、これに日本原燃のバスですけれども、先ほどちょっと管理課に言われてしまったところではあるんですが、今これと別に、岩石コア試験っていう個別、1、各深さのデータがこれから増えます。今、
1:07:05	次回会合時点ではちょっとまだ間に合わないところなんですけどもそれが出ると、このS波検層というものと岩石コア試験でもって敷地内の、
1:07:13	ちょっと言い過ぎかもしれないけど 3 次元的な減衰構造みたいなやつがちょっと離散点なりに出てくると。

1:07:19	当然設計ですけど、結構です。基本的に、岩石コアっていうハダはどう伝播のない一つのポイントとおっしゃったんですから、あまりこの辺の本当に、波動伝播をしているものと一緒くたにする。
1:07:31	というのは、後でまとまらなくなる可能性があるんでしょうか。いや、今ちょっと、あまりそこで、
1:07:38	自分の思いを持って言わない方がいいと思います。はい。現状のステータスは、
1:07:45	今も変えられていただいでですね、そういった、
1:07:49	個別、或いはトータルとしては、
1:07:53	決めようとしているものをどうやって各グループ、これは最終的に集約されるかもしれませんが、
1:07:59	割り当てるんだというところを、今後、
1:08:02	そのデータをですね、情報をする。
1:08:05	説明してもらいたいということですので、特に今話が出なかったんですけど、管理課が昨日注意されてたのが耐震 08 の中で、ばらつきの話が出ましてですね、ばらつきを、
1:08:17	従来、東西中央 3 エリア、
1:08:20	ヒガンシは二つに分けますっていうのがいきなり出てきて、
1:08:24	これも
1:08:27	その根拠がわからないわけです。なぜ、
1:08:30	注意する必要があるのか、或いは、中央も分けなくていいのかとかですね。
1:08:36	そういったアプローチがプロセスがなくて、いきなり、いや、是正するのかな。はい。それで当然岩種違いますから、四つにしますとヒガシを二つに分けますっていうことしか書かれてない。
1:08:49	やっぱり結論ありきとこちらは良いと読み取ってしまうんで、
1:08:54	やはりその
1:08:56	プロセス、
1:08:56	根拠をもとに、
1:09:00	モデルの方に構築最終的にははい。
1:09:04	1 点だけ。
1:09:05	それがですね、今日の
1:09:09	この資料の 3 ページではやっぱり読まなくて、前回の介護資料の②の項目ですね、そこをまず、
1:09:20	まだ読みやすいかなと思ってます病院に対して科学的な観点で各データの適用範囲や一応位置付けを踏まえて分析方針を説明して分析状況を説明しますということだと思いますんで、

1:09:34	的て的確に、この丸について、2番目の項目について次回説明しますという会合でも発話があったわけですので、
1:09:43	準備の方をお願いしたいと思います。
1:09:51	はい規制庁青柳です。本資料に関しては井口のところは以上です。私の方からは以上です。もし中身のここのところで、
1:10:01	細かなことだな。
1:10:03	現状でというパワポでちょっと気になってない。
1:10:08	今お話あった中で、耐震建物、
1:10:14	145 ページ。
1:10:19	今、画面教育してもらってますけど、
1:10:23	これって追加調査。
1:10:27	ということです。日本原燃はずです。今は追加調査ではないですということしか調査が入ってくるんです。
1:10:35	次の提出、次の提出を今 11 日に結城だったかな、十分予定させていただいておましてそこに追加調査で今回、トモダシ、
1:10:47	物を載せる認定をしてございました。
1:10:51	本日わかります。じゃあその時に並べて、どんなもんか、要は対カー。
1:10:58	町さあを含めても、
1:11:00	別に問題だからというかあんまり変。
1:11:04	違ってたらもう一緒にする。
1:11:07	その辺が見えない。
1:11:10	その後行っちゃう。
1:11:11	速度構造としては見えなくて、やっぱり旧大津レベル。
1:11:17	ていう感じ慣習とかですか、原燃オガセですけど速度と柱状図とセットだと思ってますんでそれに基づく分析、例えば地質がいけるからこのグループ、
1:11:28	のものとして扱っていいですねみたいなそういうような話をする。
1:11:32	先ほどちょっと、乗り遅れるかなって言ったのはそれを平均化し、
1:11:38	令和、
1:11:39	コガちょっといけるのかいけないのか今のようなところ。
1:11:41	今そういう、石堂でございます
1:11:45	順速度が載ってる。
1:11:48	ページってあります。
1:11:50	それ、日本原燃オガセそれはですね本市の方の 90 ページぐらいの辺りは、
1:12:00	阿久津君。

1:12:03	当然すみません今日の話もあるところの前に、じゃあこのデータはどこのグループで扱いますかっていうような話を多分挿入する必要があるんですがその上で、このグループで使う速度構造のデータはこれになりますねっていうような、そういうような見せ方とか、
1:12:16	はい。規制庁の有井です。わかりました。はい。じゃ、(13)。
1:12:21	はい。
1:12:23	それです。
1:12:26	信頼性。
1:12:30	3 ページの説明でございますと、
1:12:36	岩盤部分の物性値と、
1:12:43	追加調査の、
1:12:45	追加データを反映した上で物性値平均値として整理してもう方針が固まってる。
1:12:53	されているんですけど、
1:12:55	当然追加データって、
1:12:57	多分各グループの近傍だからそのグループの中に、
1:13:01	含めて、各グループ、
1:13:03	の設定に使うんですよとした場合に、
1:13:07	グループで見られて、既存データ、
1:13:10	問題はないのかどうか。
1:13:13	単純に何も考えていい。
1:13:16	これ、
1:13:18	もうないんですか。
1:13:19	そういったデータの信頼性は、
1:13:23	平均に対して問題ないよというような確認をした上で使う。
1:13:28	1 枚ですけど、そのあたりの考え方。
1:13:32	はい。日本原燃のオガセでございます。今ちょっと先取りになっちゃう 08 のほうの別紙 2 の 1 岩盤物性のところでも、とあるグループに複数のコウがある場合、
1:13:42	この地質構造とか速度構造を並べてあげて、これは変化していいもの
1:13:47	全く違うものを平均化しようとしてないですよっていう確認を挟むフェーズを入れておりますので、その分析も交流、分析というか、データの整理に合流させてから、平均化することになりますので、なんでしよう、今やってる数字。
1:13:59	入れていくような形になりますがその時には今岸野さんご心配されているようなところはケアされる。
1:14:04	次お願い

1:14:06	はい。わかります。
1:14:08	他に、データの信頼性。まず最初に使われたかどうか。
1:14:12	面接ステップとして、そういったところ
1:14:14	はちゃんと説明します。
1:14:18	そういったことも、
1:14:25	日本原燃のカシマ
1:14:34	で頑張って、
1:14:36	ゴシマ 16 ページ。
1:14:39	はい。
1:14:40	多田課長、突合せ工事。
1:14:44	考えてるのかな。
1:14:48	10 ページの松葉昆の下の方に、上本指導も、
1:14:53	分析を行います。
1:14:55	ないんですけど、結構数年以降、
1:15:01	プロセスとなることに着目し、
1:15:05	全部行う。
1:15:07	これは、
1:15:08	90 年以前、1000 年以降、
1:15:10	とりあえず北尾値そのものとして分けて考えます。
1:15:14	そういう方針を示しているのか。
1:15:16	それとも、
1:15:20	はい、東電設計の増でございます。これにつきましても施工プロセスが異なるということで、今のところ、二つに分けて、分析といいますか。
1:15:31	その辺の評価を行います。ただ、最終的にはその工学的にここれを分ける必要があるのかどうかということも含めてですね、そのばらつきも含めて、その辺をご説明したいというふうな思いで書いてございます。
1:15:46	はい。
1:15:48	今までは、
1:15:49	もう一緒なんだっていうような前提で、
1:15:52	ずっと説明をされていたように、
1:15:54	理解して、
1:15:57	開校初心に立ち返って、
1:15:59	まずは分けるところからスタート。
1:16:05	そこまで。
1:16:06	はい。当然実験のようでございます。ちょっとこれ前から

1:16:10	何ですけれども、基本的には事業許可のですね、許可整合ということで、これらをですね同じものとして、今まで整理されてきたという前提がございましたので、
1:16:22	それに向けて我々今までご説明をさせていただいてたんですが、アノと、とりあえずものが、その施工プロセスが若干違うということで、材質も、
1:16:32	若干違うということで、分けて、1も整理する。
1:16:37	いうことですが、前回はですね、ちょっと2000年以降の方で心臓進路のところは若干足りない。全体的には統計量的には満足してるんですが、
1:16:47	そういうものを今回ですね、全部取れておりますので、そういうものも含めてですね、この連絡、
1:16:54	違うのかどうか。
1:16:56	評価をしていきたいというふうに考えております。
1:17:02	最初から分ける前提に立つとか、何となくそれを横にらみしながらも基本的にはもうごちゃまぜにしていたと同じだよなっていうような、今までと同じような設備を考えなくちゃ。
1:17:13	でございます。とですね、これは、まずデータをそろえる時点では、その時点の施工プロセスをまず確認した結果というのになります。これはもう生のデータをそろえます。
1:17:27	この物性値のデータについてもこれも生のデータをそろえますと、そうしたときに、以前よりアノになってます900tですよ。以降、この施工プロセス数でちょっと分けれるよ。異なる値と言ってるコウ使用あるんだけど、
1:17:44	それに基づいてのデータが今こうなってますというのをまずフラットに並べるところから始めるんだというふうには思ってます。
1:17:50	で、最終的にですね、ちょっとどうやって扱っていくかという、見通しはあるにはあるんですけども、そのデータを踏まえて、やっぱりどういうふうに解釈できるかというのを次に、
1:18:04	考察ということでそういうプロセスになるんじゃないかなというふうに思ってるところでございます。
1:18:09	すいません。ちょっとまだ掴めてないですけど、いずれにせよ、時期によって施工プロセスが違うということを念頭にこういった整理を、
1:18:22	その整理の具体のイメージが、今の話ではちょっと掴めなかった。
1:18:26	もう、その辺はちょっと今までと考え方は、
1:18:32	アベの出村さんの後ですね、今まで1999年以前と以降、

1:18:37	分けた、色は形でプロットしてこれがどう見るのかっていう、議論をなんかずっとしていったっていう気はあると思います。
1:18:47	ちょっと話は前後になるんですけども、やっぱこう分けたものとしてどう見るのかっていう視点の分析っていうのは必要だというのは、以前変わらなくて、ここのサカイをなくすモリイ、
1:19:00	中北分析でいいじゃないですかっていうようなところにまず立つわけではないっていうことだと思う。
1:19:09	うん。
1:19:11	色分けもなくしちゃって、なくしちゃったところから、ナツメじゃないですが、
1:19:18	今この絵でもございますけども、青と赤で分けてございます。ただ今まで我々がですね、これ同じかどうかということいろいろと
1:19:29	検討させていただいて、例えばその金額特性的に同じですよとか、
1:19:33	あと、ウメキですよとかそういうものを流動量粒度分布も同じですよと。
1:19:38	売ってるものですね本当に違うかどうかっていうこと目で見ると、今のところプロセスで分けられるので、その分けた目では見ていきます。ただ、それを工学的にですね、最終的に判断するとそこまで、
1:19:52	秋谷さん言って分けてデータを出したんですねっていうからそれはわかってデータを出します。それで考察もしますし、最終的な攻撃はこれはもう次の話ですけども、どうするかはまだそこ先の話ですけど、
1:20:05	はい。現在ケツクですはい、わかりました。
1:20:08	多分そういうステップ分けを今後説明していただく必要があって、
1:20:13	今最終的におっしゃった多分STEP交流ステップ3ミヤマ、
1:20:19	なんかちょっとわかりませんが、多分その段階でそういった考察をしていくっていうビジョンをですねちゃんと立てた上で説明していただくと。
1:20:28	かなと思います。
1:20:30	うん。
1:20:33	はい。私から、
1:20:35	はい。戸田設計のものでございます。承知いたしましたそのように、
1:20:38	発生していきたいと。
1:20:46	等、
1:20:47	何か今、全体的にもう一通りなめちゃってる感じがしますんで、
1:20:53	とか。
1:20:54	このパウポ、関連して、
1:21:03	はい。規制庁浜崎です。これ非常に細かい話でいいんですけども10ページのGのですね、
1:21:11	万博あって、

1:21:13	その中で、これ
1:21:15	以前戸松からパークの説明、
1:21:19	質問があったさ、新城元た議員で、
1:21:22	高速のところに発生があるじゃないですか。らしい、
1:21:26	これは何の影響ですかっていうと、
1:21:28	ああいう問いに対して、明確な回答。
1:21:33	まだ受けてない。
1:21:34	もう、
1:21:36	はい。当然設計のものでございます。これ観測技術者とですね、いろいろと話をさせていただきました。それで、これ実際に4回同じ
1:21:47	観測をしてるんですが、4回等ですね、この同じ信号が出ております。ですんで、そのとき偶然に起こったものをとらえてるんじゃないと。
1:21:56	いうことらしいんですが、
1:21:59	いろいろと実際にキャリバー検層コード、
1:22:03	断面をですね、とってみるとちょうどこの28メートルのちょっと上にですね、丸くえぐられたような、うん。コウがキャリバーで、そのコウ崩れを起こしてる。
1:22:15	あるらしいんですね。はい。で、観測所の話ですと、多分そこですね、反響したやつがここに載ってきて、そういうものが、たまたまこの後ろの方の、
1:22:27	これ今も320ポイントなので、全部我々が相手にするところとは違う領域なんですけども、そういうものが取れてるんじゃないかっていうことなんですけど、ただそれは
1:22:37	これが確かですというふうなことはですねその感想技術者の方でもありますね、わからないということなんですけど、基本的に我々が使うのは、ここで言うところの100、
1:22:47	msecぐらいまでのところの範囲で分析をしますんで、この後に出てくるような、この波っていいですか一発系のですね、
1:22:56	波については全然影響してこないという
1:22:59	回答があって、
1:23:01	規制庁が悪い。
1:23:03	これ今、
1:23:04	上から下に向かって掃除ですよ。100ミリsecからです。
1:23:10	徐々にこう、
1:23:12	何が伝播するというような傾向ですよ。それが事象として、過信前には形があるように、

1:23:20	受け取ってるんですけど、そういうものではないですね。これ自体は、相互相関係数でございますんで、実際にその入れた、信号ございますけど、それぞれの一番初期、初期値から、
1:23:34	全部のインパルスの1波長が乗ったというふうなことで、ここに全部踏襲されてるんですね。
1:23:41	ですから、もうここで、基本的には、我々10Hzまでっていうことは、この最初に、
1:23:49	動き出したところから、大体もう100、百名が比率ぐらい。
1:23:55	10Hzになってしまいますので、そこまでの信号しかですね、これは用いアノ利用しないという、
1:24:02	してたわけです。用いないのはなんですけども、
1:24:06	要は、これもデータの信頼性の話で、
1:24:10	この後以降とか出てくるものはこういう原因である。
1:24:15	だと思われると、今考えられたら、当然関野でございますけど今考えられるのはですね、その反響してるんじゃないかということで、私の方はですね、
1:24:26	どうしてもコナミの萩尾見てもわからないんですけども、実際にはこれ、ここに書いてございますように相互相関関数ですんで、たまたまそういうところに、
1:24:36	同じような一番最初のどっかのインパルスと同じような、
1:24:40	わかるように、表記させていただきます。はい。
1:24:45	我々の考察を良くしていきます。はい。わかっている範囲で書かせていただきます。以上です。江藤。今、何か追加調査の方がまだに入れていません。
1:24:56	11日にツカベさんの方で提出しようとしてそこに、この分析の話も一緒に入れようというふうに考えていたところでございます。ちょっと今失ったような、
1:25:08	話の前に今、サンゴさんから説明のあったようなそういう高速のですね。こういう要因は、我々が取ろうとしているデータに影響をおよぼし得るものなのかどうなのかということに対する今日も含めて、ヒラタを確認したいということで、というふうに考えてございます。以上でございます。はい。市長。
1:25:27	データの信頼性ということで、しっかりと説明の方、準備してください。はい。
1:25:41	じゃあ、
1:25:44	何点か、
1:25:47	ページ、

1:25:50	9 ページ。
1:25:51	いつも載ってくるとっては、
1:25:57	ページ、
1:25:59	何かすごい唐突感があって、
1:26:02	なんでこの説明始まっているのかっていうのはよくわかるんですけど。
1:26:06	ちょっと考える。
1:26:07	説明してもらいます。
1:26:10	はい。日本原燃の間瀬でございます確かにナガエして読んで、
1:26:16	基本的にやはりその企業ステップ 1 からの流れでいきますと、そのグループの中に複数データがあるっていうようなところで、地下構造としては大体平均、
1:26:27	大体同じような岩種構造がなんで出ているような状況なんですけれども、果たしてそれを平均化するという行為で我々でステップ 1 は整理をしているところであるんですけれども、やはりその平均化したデータ。
1:26:39	ないし、そのもとになってる親グループのデータを分析するっていうふうになったときには、私じゃそれを本当に平均化してよかったのだろうか。建物の下に、なんつうかね、PS 検層が本当はないやつとか、あとはその断層で切り替わってるところとか、そういうようなある意味ステップ 1 の、
1:26:54	データ整理で残ってる宿題っていうものがきつとまずこう出てくると思うんですよね。それを踏まえて必要な分析項目っていうのが上がるので、それで上がってきた分析項目というのが、その直下に PS 検層がないですと断層、
1:27:06	断層の影響というような形になるので、それらについてはきちんとデータに立ち返って分析しようっていう、分析し直そうみたいなそういうようなちょっと話でやっていくのかなというそういう流れを、
1:27:16	考えていますかそういうふうなのがわかるように書くべきだと思ってます。
1:27:21	すいません。
1:27:27	楽しい集約される可能性があって、
1:27:30	そのデータの信頼性なんですか。もっと言うと、
1:27:34	グループが決めものになっちゃってるがゆえに、
1:27:39	あれで別に決めものにする必要がどこにもなかったんだけど、
1:27:43	片倉に 12 グループに、
1:27:46	ということなので、そうすると、12 グループはまず、こういう考えで設定しましたと。
1:27:52	タナカで、その中の公印をちゃんと平均して使っていいのかどうかっていう時に、宿題がありましたと。

1:28:01	あるものはこうやって解決していますという説明の中で、
1:28:05	こういうものが出てくるんだというのであれば、何かそういうのがわかるようにしないと、
1:28:12	いう感じがし、
1:28:15	もう1点、7ページで、
1:28:20	スペックとの比較をされていて、
1:28:24	ここは全周期体着目して、全体を包絡してるからいいねっていうのでそういう見方をするのであれば、特段、
1:28:36	議論もない。
1:28:38	これが、
1:28:39	代表の地震ハタケなんで、他のとこ行っちゃうとどうなのっていうのはありつつも、一つ、このグラフの見方としてはわかる。
1:28:48	一方で、
1:28:50	図にも建物の一次固有周期の線引っ張ってますけど、
1:28:56	非線形に限らず、他の検討でも、このスペクトルの
1:29:01	大小関係を見るにあたって、一次固有周期だけしか見てませんよっていうところが、
1:29:08	何個かあったはずで、
1:29:11	何か見方が定まってないな。
1:29:17	要因と見方を変わっているっていうのはそれもありなのかもしれない結局はどういう位置付けで、なんですかっていう話があるんだけど、
1:29:28	そもそもそのスペクトルを比較するにあたって、
1:29:33	どちらを選択しようという判断において、
1:29:38	どの周期体まで見るか。
1:29:41	大小関係はどこまであればいいのか、っていうところが、結構前から話をしてしつつ、明確にならないまま、今まできてるなっていう
1:29:51	そこしっかりして欲しいと思うんですけど。
1:29:55	どう、どうなんですか全周期体で見るというふうに今なってるんですか。
1:30:09	日本原燃のオガセです。基本的に今の考え方といたしましては、建物の入力地震動に使うってこれを使って、
1:30:17	これで作った入力地震動が建物の地震応答解析に使われると、いうようなところで考えますと、基本的に建物の中の床をとって、その建物の固有振動数のところのピークが立ってくるような、各フロア建ってくるような形になりますので、やはりこの周期が一番支配的というか、耐震設計、

1:30:36	一番企業の大きいところの周期一体だろうというところで、ここの一次固有周期を、に着目してみるのがよからうというふうに考えはしています。それは多分他にスペクトルで比較してるのっていうのは岩盤物性のところでの断層の影響とかの比較のところでも同じようなやり方してるわけで、
1:30:53	そこでも同じ考え方だと思ってます。今私が申し上げたのは横軸の考え方ですんで、縦軸の方の大小関係、完全包絡してればそれはもちろん、全くもう代表できますというふうな言い方はできると思うんですけども、
1:31:06	私もやはり地盤の応答というのはどうしても出っこみ引っ込みってのが出てくるというところでございますので、やはりその出っこみ引っ込みが一次固有周期のところでのどのくらい出てくるかというところに着目する。
1:31:16	じゃあその倍率が何%でいかっていう話ここは、どうしてもちょっと今の何%ならセーフというところが、いわゆるステップ1の段階ではどうしても言えませんので、ステップ3のところの、
1:31:27	工学的判断的なところを保守的なものを作るという中で、何、何かこうクラベていくしかないのかなというのが今思っているところです。
1:31:37	規制庁神戸です。何も、
1:31:40	ちなみにこの7ページ、
1:31:43	だと、成形非線形の影響分を、
1:31:48	見ましようっていうことじゃないですか、そういう目的にポンプだと、全周期体で見ますってことなんですか。
1:31:56	それともこれにおいても建物の一部収益の対象関係だけ見とけば、非線形の影響分っていうのはわかるんですよっていう話なのか。
1:32:06	日本原燃の大橋でございますそういう意味では、ちょっと今書いてること違うのかもしれないんですけども、じゃあ非線形の影響がどういう聞き方をしますかっていう考え方をすると、
1:32:16	やっぱりメインっていうのっていうのは本当はその剛性が低くなることによる地盤の固有周期のずれみたいなのところだと思っておりますので、この山のピークの、
1:32:26	横軸の位置が変わってないことっていうのも一つのやっぱり見る着目すべきポイントかなという
1:32:33	いいですか。規制庁浜崎です。これ共用化ですすね、当たりをつけるっていう意味では、いいと思います。
1:32:43	普通の考え方だと思います。ただ今回、設計用地盤モデルを作成するという中ですね、その判断根拠となる
1:32:51	に、

1:32:52	入力動の評価、
1:32:55	という観点で上下関係、適合度を見てるんですけども、当然ここに建物があって、さらに機器がある場合、建屋の建物を長周期かですね組成に。
1:33:08	その徴収期間、或いは建物の高振動数、工事の方、
1:33:13	さらには機器の
1:33:16	固有振動数を考えると、
1:33:19	やはり設計用となるとですね一次の建屋の面積であっても一次の振動数だけで判断するっていうのは、
1:33:28	納得もないなと思います。
1:33:33	そこを、
1:33:35	何かコウを説明し切れることがあるのか。
1:33:41	はい。三宅の池戸です。今、お話はそのまま基本、
1:33:46	もう、
1:33:47	ここで言うステップ3を作ったうちに、我々、過去に申請したやつをどう使うかというところの議論のところでは、まだその辺はイマダ、提案はしておりませんので、そこをちゃんとよく考えて話しなさいいけない。
1:33:59	一方ここ、岩盤5、岩盤のコウ非線形のところについては、どういう考えで、一緒やと、どうやということをいえるかっていうのは少し、ちゃんと明確にして記載したいと思っております。
1:34:13	はい。ちょっと、すべてがすべてにおいて、基金の伴坂東は全部見なさいいけないから、ないでしょうし、建屋でいけるところは建屋とそういった使い分け、なぜそれでいいのかといったところも、
1:34:26	1 明確にして、平等であるとか、一緒であるとかいう評価に使いたいと思っております。はい。はい。そうですね。はい。それがステップ2なのかステップ3なのかですね。
1:34:36	すべて。
1:34:37	検討はしてください。
1:34:39	私これ以上です。亀田さん。
1:34:42	はい、菅です。3の動向っていう、ステップ2のところ、最初にお話したところで、このDた、
1:34:50	だけ使える
1:34:54	もうちゃんと専門家の人たちと見てくださいねっていう、そこにもまた関係してくる。だってどう見たから大丈夫なんだ。
1:35:04	こういう線形だったら全体の方付けた方がいいし、こういうことだと。
1:35:09	注記に立ちやうすれば良いと見ましたよ。どうやってデータを見たんだ。その根拠は、当てはめ根拠みたいなところ

1:35:20	あそこ明確にしてもらってるってことだと思いますんで、
1:35:24	こちらとギャップがあれば、会合で話ができる
1:35:29	2の資料2。
1:35:33	ですけども、
1:35:35	明らかにして、
1:35:41	ございます。
1:35:46	は、
1:35:52	今日のところで、
1:35:56	の範囲ですとか、井清、
1:36:04	コサクです。大体話が出てるので、
1:36:08	はありますけど、
1:36:12	先ほどの6ページは唐突感があるっていう話も、最初の管理官が話にあったように入口からしっかりとそのプロセス、
1:36:22	どういう検討をしたのかどういう人がみたいなことも含めて話をするとなると大分様変わりをするんだろうなと思ってますので、
1:36:32	この四角囲みの中は、妥当性を確認する。
1:36:37	物性値等を設定するとかって書いてますけどそもそもここら辺の表現も、
1:36:42	いかがなものかと。
1:36:44	いうふうにも思いますので、
1:36:51	等、
1:36:52	一連ですね、説明を再構成してもらえればと。
1:36:56	思います。で、
1:36:59	それで言うと、ステップ、
1:37:01	1ステップ2と今書きちゃってるのであれなんですけど、
1:37:06	管理官のコメントを踏まえて対応するときってどういう構成になり、
1:37:12	どう説明していくのかなっていうのが、
1:37:14	話があったようで五つちょっと私がキャッチしきれてないんですけど。
1:37:18	そのあたりは、
1:37:20	どういうイメージでいるんでしょうか。
1:37:22	全然ノモトでございます。ちょっと細かいところはまた我々の中でもよくも見たいと思うんですけども、今のお話踏まえますと、これすべてのデータについて非なるものをまず、計画にしたら取りきれましたということ、
1:37:38	まずご説明を、最初にし切るんだと思ってましてそういう意味では、ステップ1って書いてるものと、ステップ2って書いてるものを具備して、ステップ1はちゃんと取り切りましたという話をアノシライオオハシのところにてやってしまうと。

1:37:51	そう。それを踏まえて、いや、これを基づく分析をいたしますという形で次STEP2って今書いてありますけども、このところに適用範囲の分析ですとか、考察1による信頼性でこういうふうな考察秋葉といったようなところ、
1:38:07	書いていくと、一つざっくりとそういうふうなまとめになるんじゃないかと今私は考えております。以上でございます。
1:38:16	とコサクです今言われたことだと何が変わったのかが全然わかんないんですけど今のステップ1として、そっか。パラメータごとに、
1:38:26	ステップ1ステップ2と書いてあるけどそれをステップ1時間まとめるっていうことを言われたってことですか。
1:38:33	全然ノモトでございます。はい。そう。
1:38:37	ウダの信頼性をちゃんと書き切って、セブ市としてのDたのアノ層をちゃんとしたものが取れるということを、まず衛藤カタギリ切ると。
1:38:48	いうことなんだというふうに思ってます。
1:39:04	日本原燃のオガセでございます
1:39:08	私思ったのはステップ1と2の関係性アノは、区分けとステップ1で信頼性の話をフクダという話はアノアノアノドイ0ですんで、ちょっとステップ2のところのところでこういうところを出さないといけないだろうなっていうのが先ほどの管理官のお話とあと最初のカミデさんのお話にも絡むんですけどもステップ2の、
1:39:26	結論をやっぱりちゃんと書くべきだと思ってます。それっていうのはまずフラットにデータを信頼性のあるデータを並べましたっていうところが出てきて、それは信頼性で終わりにステップ2で分析をするわけなんですけども、
1:39:38	その分析っていうのはやっぱりそのデータがとれた位置とか物理的な意味みたいなやつを整理し分析しました。その結果として分析結果をもって、ステップ1で整理したDたを改めて、じゃあこのデータをここに振り分けましょうとか、みたいなところの結論
1:39:55	Dを変えていって、国の結論としては、何ですかね、この分析を踏まえたデータセットで持つと、大体この辺の敷地としては
1:40:07	最もらしいというかそういう物性値としてはこういうものになりますみたいなところの流れが何か、1 やって2 やってまた1 をコウ、
1:40:15	再整理するみたいなそういう流れでやるのがいいのかなというふうに思った次第です。違ったらすみません。
1:40:31	コサクですちょっと違ったらっていうのは私自身は、正解を持ってるわけじゃないので、違うも何も無いんですけど、
1:40:42	いや、

1:40:45	そのステップもここでステップ1と言ってるデータを並べるといったときに、どんな
1:40:52	ことを知ったデータですか。
1:40:55	ということ言うわけでそうすると、
1:41:00	計測した結果ということだけじゃなくて、その計測が信頼に足るものだったかちゃんととれているかということ、検証なり妥当性確認まではするんだと思うんですね。
1:41:12	その内容っていうのはこれまで原燃を分析と言っていたような気もしていて、どこまでいって、しっかりとまとめたっていうことになるのかなということなんですよ先ほどの
1:41:28	後ろの方で振動が出てるといったところはこういうふうの確認をして理解をしますみたいなことも含めっていうことになるんですけど、
1:41:37	そ、そういったものを全般に言わなきゃいけないってとする。
1:41:41	とどうなのかなあとってよくわからなくなってるんですけどいかがでしょう。
1:41:46	峰ノモト
1:41:48	を、
1:41:49	まずそのとったデータそのものの、計測の信頼性は、ステップ1の中で言わなくちゃいけない、これはあまり迷いが無いんだというふうに思います。
1:42:00	で、少しグレーになってくるのがステップ域で、採取した生データを、例えば岩盤物性だったらば平均化するってところまでステップ1で、
1:42:13	やろうとはしていますけれども、その平均化するものの適用性っていうのは今ステップ2に分類してますけれどもこれがステップ2に分類していいのかっていうのはちょっとよく頭整理しないといけないかなというふうに思ってまして、イマダちょっとお答えを申し上げることはできないんですけども、
1:42:28	ちょっとここまですぐ何か出たの、市内の確認でやります。ここからそのデータを基に高検討でやりますと、
1:42:40	いうことをきちんと書くということが大事で、どっちになるんだよっていう、迷いが出るものはもうどっちかっていうことを、
1:42:50	何も続けても仕方がないのできちんと最後、きちんと呉ことが大事だという観点でどちらでちゃんとアノを整理するのかということ、明記して、整理していくのかなというふうなイメージでおりました。以上でございます。
1:43:06	策です。今言われたところで言うと、
1:43:12	どちらかでちゃんと、

1:43:16	判断していきますっていうのはいずれでもいいんですけど、逆 2 基になったのは、ステップ 1 で平均化しますって言われたのが非常に理解できなくて、
1:43:29	そもそも平均化することの妥当性を今回検証するのではなくて、
1:43:35	敷地の特徴をしっかりとらまえたモデルにしますというのが、
1:43:40	目的なので、別に平均化なんてしなくていい。
1:43:44	ですよ。
1:43:46	それを何で平均化を、
1:43:48	データを並べるっていうところに入るっていえるんですか。
1:43:53	そうですね、現在のごさいます。そこが、確かにそうですね。
1:43:59	考え方として、
1:44:03	うん。生後ガーダー若干、
1:44:06	ちょっと迷いが生じる場所でもありますねはい。
1:44:09	衛藤もともとがあれですね直下及び
1:44:14	近傍の分析をもって徹底するという大方針に基づいてやっていて、近傍のデータ集めてきますんで、
1:44:26	平均化するっていうことを前提としてやってきたと、いうようなことがあってちょっとそれは我々の頭から告示ついてるんでちょっとステップ 1 に入れた。
1:44:34	説明してしまっておりますけれども、
1:44:37	平均化するっていうやり方っていうこと自体が、規格基準なり、一般的に取られてるところから引っ張ってきてこういうことやってるんだというある意味ちょっと分析的なところが、
1:44:51	入るものではありませんので、ちょっとそういうものであるということを明記しつつ、
1:44:57	ちょっとステップ 1 で整理するのかってポイント整理するのかがちょっとよく考えたいというふうに、日本原燃っていうかちょっとまだ内部の議論は、これから持ち帰って、するところですけども、私の考え的なステップ 1 はもう、とったデータとトレーサビリティ、
1:45:11	信頼に足るものだよというところがステップ 1 という話するかどうかねとして、まずデータの信頼といったところは切って、次に、その最もらしい地盤を作る上で、まとめた方がいいのか。
1:45:22	住民の中には 10 年まで全部やるのがいいのか、広域を見なきゃいけないものはどんなものがあるのかといったところをちゃんと考察を踏まえた上で、平均するかしないかといったら、もう 10 年のままでいくのか。
1:45:35	規模のいかんがそこは、特別行事の中でのデータを平均化するところの話は、

1:45:47	コサクですけど、
1:45:49	10 人のままなのか云々は最終的にはこういうステップ 3 で言っていただければいいんですけど、その議論をするためにも、
1:45:59	地盤の特徴をしっかりととらまえる、そのためにデータの追加をしているということであって、追加をするポイントとして今回
1:46:10	地震観測記録からの分析なんかもしていくと、周辺の細かな断層といったところで、
1:46:20	上川下側といったところだったりっていうのでの影響も受けているよと。
1:46:26	いう知見も踏まえながら、それが分析できるようにデータを拡充しましょうっていうので、先ほどノダと、
1:46:35	ページとかで、
1:46:37	6 ページだったですかね、みたいな話もあってと。
1:46:40	そのデータじゃなくてもこの話があったんではありますけど、
1:46:44	そういったところで拡充しました。そうするってそれが議論できるだけのデータをそろえましたそれを、ここだけの
1:46:55	取り方なので数字として使えるようなものになっていますと。
1:46:59	いうことで、
1:47:01	12 グループそれぞれ平均してというのも、それをデータタダ全部を並べても、
1:47:07	それがどう、建屋に影響してるのかっていうのを分析しづらいから、とりあえず 12 グループという中で 1 次元での計算ができるぐらいに作り込んでいって、
1:47:20	どういう特徴として捉えればいいのかっていうのを、分析をしていきますっていうことだと理解をして、
1:47:30	いたん。
1:47:31	ですよ。そこら辺の
1:47:34	作業プロセスだったり、検討のポイントっていうところをしっかりと今回書き下して一連の取り組みっていうのをわかりやすくまとめていただくってことが必要なのかなというふうに思います。
1:47:48	県の方でございます。はい。承知いたしました。ここの
1:47:55	としてですね今我々書いてしまってるのはまず平均化をまず置いてですね、適用性というようなそういう流れで書いてしまっはおるんですけども。
1:48:07	ちょっとこの流れ自体ですね、いいのかって、ちょっとこれ我々も実はですね専門家の皆様と議論してる中で 2 転 3 転したらここにしてしまったんですけども、やっぱりもう一度ちょっとよく考えてですね、プロセスを書き下したいと思います。以上です。

1:48:25	はい、古作です。今2転3転されてるということであれば、それこそ何年かに決め打ちして書くのではなくてそういうことを検討してますっていうのがわかるようにすればいいんじゃないですか。
1:48:35	はい。全員の方でございます。承知いたしました。
1:48:45	はい。規制庁菅です。
1:48:48	関係はいいですかね。
1:48:51	一応パワーポD、
1:48:53	補足説明にも令和したんですけど、補足説明、直接でちょっと確認したい。
1:48:58	あるので、
1:49:01	ただちょっと時間が2時間ほどたってしまったので、十分ほどちょっと休憩を挟ませていただいて、15時半から再開したいと思いますけど、大丈夫ですか。
1:49:12	はい、承知いたしました。はい、じゃあ一旦録音止めます。
0:00:01	規制庁深見です。それでは、耐震建物08の方に行ったと思います。一応、
0:00:11	セ原燃から説明と言ってもあれなんですけど、特に
0:00:17	随時ってなってる部分が、どんな内容でいつごろ見れるのかぐらいは何か説明してもらった方がいいような気がするので、その辺り中心に簡単に説明して、
0:00:30	はい。藤野でございます。まず全体。
0:00:33	では築城なんて何ちゅうか調査の、あのですね追加調査データに関わる部分につきましては、12月11日にもう一度耐震タキグチオオハシを、
0:00:45	ご提出してそこに盛り込みたいというふうに考えてございます。で、基本的なモデルの設定に関するですね結果のところここはツジのままで、その時点では残るものと、
0:00:57	いうふうに考えてございます。で、大きくはそうなんですけども追加データのうちのですね、まずオガセ間についてはこれはツジのままで残るはず。
0:01:09	で、そうするとその岩石コアに基づく分析がかかる。ここについても対になるということになってございます。あとこういうパワーポイントの時にも申しあげましたけれども、
0:01:23	学生のデータですねまずPS検層の各々のデータについては、11日にお出しいたしますけれども、

0:01:34	それに基づくその平均化処理のところは、できたところまでの事になると思っております。でもこれは、できるだけ 11 日に全部お出しできることを目途には進めておりますけどもそこはちょっと今のような段階と、
0:01:48	というようなところでございます。大きくはそうございまして、もう少し答えはないし、ちょっと、はい。
0:01:59	はい。
0:02:01	それ、大体そんな感じですか。はい。
0:02:04	すいません。ちょっと、ですね、指摘事項を踏まえて反抗期のみ範囲課長のところで、
0:02:10	ちょっとアノ肺炎も例がございましたのでちょっとそこだけ言い訳させていただいても、
0:02:17	よろしいですか。
0:02:18	えっとですね、
0:02:20	そうですね。反映補償の範囲課長の 1 ページ目のですね、1-2 のところですけども、ここもともニッタ効率パラメータという用語については引き継ぎおけるデータに基づくパラメータ見直してちょっとこれこの前お書きした。
0:02:36	方針のままでちょっと残ってしまっておりまして、今ですね、これ前回の会合前後での議論を踏まえ、ちょっと我々検討した結果として、私たちも 08 の範囲につきましては、
0:02:47	一番の特徴をとらえた地盤構造と言ったような用語で、しかも%フジタを何か決めちするということじゃなくて地盤構造を把握するといったような、そういう趣旨の記載で、まとめているところでございます。これちょっとすいません
0:03:01	アップデートをし損ねたところでございます。
0:03:05	それからですね、もう 1 点だけ、4 ページのところの 4-9 のところですね、追加調査におけるアノオオキフクイソウノタケヤコウコウノアノ検討ですとか、
0:03:17	この今、こういう時 10 月 6 日になってます。これ 11 月の会合でも込めていただきましてそこ、記載し忘れておりました。すいません、ちょっとそこ、モリで落ちたので、すいません今ちょっと、
0:03:28	訂正させていただきたいと思えます。失礼いたしました。以上でございます。
0:03:33	はい。
0:03:34	それでは、
0:03:37	まず、まずは本文をやってそのあと別紙の 1134 という形で、
0:03:43	説明。

0:03:48	私から書き方なんですけど、
0:03:52	例えば、
0:03:53	ページ、
0:03:57	50 ページは、これ岩盤上で選定性についての、本文のメインですか。
0:04:04	説明するパートなんですけど。
0:04:08	さっきの話もありましたけどステップ、さっきの、今日の話だとステップ 2 の結果をちゃんと書いてくださいねっていう対応しよう。
0:04:17	この資料でも一緒に、敷地の実態を把握した結果どうだったのかっていうところまで、やはり今度書く必要があつて、
0:04:28	今これを見ると、じゃあ結果は別紙を見てくださいねっていうだけで、これが多分目次しか。
0:04:35	なっていないですから、ちゃんとあらましを本文に示した上で、詳細は別紙を見てくださいという形で書くようにしてください。これ線形だけじゃなくて共通でそんな感じの構成になってるので、本部、医師会柿木という
0:04:53	はい、神野でございます。承知いたしました。
0:04:57	はい。次
0:05:01	ですね。
0:05:03	61 ページにその基本
0:05:06	90 名です。
0:05:07	田野城間これはまず、
0:05:09	まだもう少し先。
0:05:12	になるんでしょう。でも介護仕様では今回ちょっと触れていて、
0:05:23	規制庁は、どちらにしても会合で説明をする以上はこっち側のまた今度っていうのでは駄目なので、当然、それ以上、
0:05:32	もう、
0:05:33	情報の考え方 0 は変えて欲しいなというところ。
0:05:38	椅子がしょっちゅうもんですけど、
0:05:42	現状でございます。はい。
0:05:44	検討いたします。
0:05:48	はい。
0:05:49	部分です。あと 62 ページで、この 7 ポツで計算書というまとめにかかる、
0:05:56	これは、
0:05:58	どう、どうなんです。この書類でやるのかどうかも含めてなんですけど、今何か、とりあえずは手つかずという状態なんですけど、販売、
0:06:07	えーとですね、これこそまさに、
0:06:12	モデルが決まって地震動が出たときに、

0:06:15	そこから後設計として行って、どう、
0:06:19	ちょっと計算書の中で、深津宇賀というのをまた展開していくのかなと思ってましてこういうすいません、今は手付かずですいませんちょっと置いて置かせていただければというふうに思います。
0:06:30	はい。規制庁鏡です。その辺が、
0:06:34	資料中の、
0:06:36	のこのこと。
0:06:38	これが終わってから、これを考えますとか、何かそれぐらいのステータスぐらいは何か教育、
0:06:46	事業なんていうのは、
0:06:49	そのまま。
0:06:51	原因の方でございます承知いたしましたここがいつ、埋まるのかという見通しがわかるような記載事ということだと思いますので、期待といたします。
0:07:04	群発で、
0:07:06	人ありますか。
0:07:08	規制庁、金です。
0:07:16	今、下段の、
0:07:20	うん。
0:07:30	こちらですねコメントリストは
0:07:35	本当は、
0:07:36	というところも、
0:07:39	を踏まえ、方針が書いてあるんですけども、
0:07:43	日本でも先ほどの 53 ページ、
0:07:51	無料考えないと。
0:08:03	も、
0:08:04	個選を使って、
0:08:06	その人がいるような、その他の表層地盤については、施設の個別評価の段階において、追加して説明するっていうんですけど。
0:08:15	何かの表層地盤。
0:08:17	何をさせる。
0:08:18	この間も含め、
0:08:20	を踏まえたものになってるかどうか。
0:08:28	現在、その他の結果でございますが今、このタテヤノ、この千葉布施の部分においては、これ友野首藤が処理の対象にして検討しておりますけれども、

0:08:39	このですね建屋以外のものが、今後評価においてですね投資、使用するということが、また、生じて参ることが、今回、
0:08:51	もので、屋外構築物で、構造物で、発生しうるといふふうに考えてございましてそういうものはもう本当に個別の設備の対応になって参りますのでそれを各々の設備を評価において、ご説明差し上げることになるかと。
0:09:08	いうことをここでは申し上げているものでございます。
0:09:10	このこの表層は具体的に何を指すのか。
0:09:15	はい。大関のものでございます。
0:09:17	ウエキ構築物ですね、表層のところで見えてくるんですね。
0:09:23	例えばですね、注意だけですか、
0:09:27	なんですとか、
0:09:28	そういうものについて、それが出てきた建物に対してその個別に評価をするといふような意味合いで、
0:09:36	ここに関して、
0:09:40	高位段丘という名称で、
0:09:43	えっとですね、それはPH層とって、申請書の
0:09:50	申請書の方にはですね、pHということで、第4チーム、
0:09:54	以降ということで、ひとまとめにしているものでございますが、ブッセン的に分けられるといふんであればですねその段階で分けるし、
0:10:04	もしそれが影響が少ないといふんであればですね、そのpH等の申請書の方ですね、記述している物性を用いる、それはその時の判断で行いたいといふようなことでここに関しては、
0:10:17	瀬野イシイです。はい。金融1というまた新たな名称も出てきたんですけど、これ重要度の構造物の地盤モデル図がフタミ六ヶ所層、
0:10:25	センミョウ層、
0:10:28	多分そこは名称を、そういうなり、こういう場合はこう読みかえると。
0:10:33	今回の説明が必要になってくるかな。
0:10:36	なんで、
0:10:37	何を対象にしてるのかっていうのをまず明確にしていきたい。
0:10:41	施設の個別評価の段階において追加して説明する
0:10:45	例えば、労働何年区間の中で警察の中で説明するようなセットのイメージ
0:10:53	なんですけど、
0:10:54	何を説明するのかによっては、
0:10:58	個別の計算書の中で説明する。
0:11:01	理由は、共通する物性値の整理の話、監視について、そうだとすると、個別の評価の段階というのは、この耐震建物で8、4、別紙の、

0:11:14	新しい技術の中で何か、或いは
0:11:18	別の資料があるかもしれないんですけども、そういう、
0:11:23	ことなんじゃないかなと思って、施設の個別評価の段階で追加して説明するのは、何を、
0:11:30	向こうで説明するのかっていう、
0:11:32	今お聞きしたかったんです。そのあたり、
0:11:35	いいですか。はい。
0:11:36	はい。甲田先生のものでございますが、今議長さんの方から受けて、どうどう
0:11:43	ですと銅像につきましては、埋め戻し同等、あと六ヶ所層が出て参りますので、労働の時にはその4日1ウノ資料について説明、
0:11:55	その他ですね、例えば屋外構築物の中でですね、
0:12:02	屋外工事物の中で、出てきます先ほど埋戻動とかですね、造成モリとかかっていうのは人工物でございますが、その他に自然、
0:12:14	って言いますか、実際に表層地盤として存在するものが出てくるものニワということですね、
0:12:22	そういうその時に、
0:12:25	出てきたときにですね、この耐震建物0608の中でですね、大体まとめて、その記述していくと、いうふうな方向では考えております。
0:12:38	はい、わかりました。
0:12:40	出てきたときにその都度っていうようなご説明がまだされていて、
0:12:45	要は個別の計算書の中でやるような
0:12:47	建物デマチと言われたら、多分共通する。
0:12:51	資料として、説明されるというふうな、
0:12:54	イメージですかね。
0:12:57	そこら辺がですね。
0:12:59	先ほどコメントリスト。
0:13:01	講師。
0:13:03	なんでも、
0:13:04	わからない。
0:13:05	今、口頭でご説明があったような、具体的なイメージがあるんで、そこまで、
0:13:13	その反映方針として、
0:13:15	このまま進んでいいのか。
0:13:17	考えの人がいいのかっていう半分努力をして、
0:13:20	なんかじゃなくて、多分、
0:13:25	ハンエン方針。

0:13:27	より建物 08 を反映しました。これは伊丹の建物、
0:13:32	すみません、古作です。
0:13:35	ちょっと岸野さんの声が聞こえづらいんですけど、
0:13:41	Ⅱ
0:13:43	追加した説明が必要なのか。
0:13:47	いうことについて、議論してるんだと思いますけど。
0:13:53	なんで、
0:13:54	個別評価の段階で追加すればいいって原燃は思ってるんですか。
0:14:03	はい当然設計のものでございますが、その時に、またいろいろな原燃が考えている。
0:14:13	その地盤の物性設定とですね、あといろいろとコメントをいただいた時に、修正して変わることがあるので、
0:14:23	あると思うので、そういうものを含めた形で反映させ、ごめんなさい、古作です。変わることがあると思うのであれば、今説明しないと駄目なんじゃないですか。
0:14:36	そう。当然関野でございますが、それは
0:14:42	こういうヒアリングの場ですねお話をした中で、我々がこういうふうに思っているということ
0:14:50	もしその辺の解釈が違えばですね、それを反映していくというふうなことで考えて、
0:14:55	ると思います。ごめんなさい。元の方でございます。私なんかは今、この他社の 08 でご説明してるのは、
0:15:05	敷地全体での建屋を網羅的に見た時に競争基盤をどう設定するわけ。地盤物性をどう設定するかというのでこの検討はやっている。で、今尾野さんとですね、
0:15:19	この全体として設定する時に、あるグルーピングをしながら、この地盤のモデルを設定していくような考え方取る時にこうやるということをこれルールご説明差し上げてるところになってるんだけど、
0:15:34	今、小野さんが言っている個別の設備っていうのは、もうまさにそのアノ地点でのボーリングに基づいて、その設備、ここにもローカルで決めるものであるから、そのところで、ご説明することになると。
0:15:51	優勢になってると私は思っていたんですけども違いますか。
0:15:55	当然設計のものでございますが、ローカルに物があれば、そのものを使うこともあれば、代表的なものをですね、違う。ごめんなさい。補足です。
0:16:05	その使い分けっていうのがあるのであれば、それがなぜなのか、どういうふう、どういう方針なのかって語るのはこの場所じゃないんですか。
0:16:16	うん。

0:16:21	権限でございます。どう設定するかというのを、全体として、この中で語るべきであるということですよ。
0:16:29	とコサクですけどべきであるっていうか、素行が整理されてないとそもそももう具体に入っていけないじゃないかと。
0:16:37	具体に入るためにここは整理をして方向性を固めようとしている場所だったと思う。
0:16:42	出てですね。
0:16:44	そのためにいろいろなデータを集めてきて、こういうような状況だからこういうふうに進めていけるでしょうと。
0:16:52	いうことなんだと思うんですけど、何かすべてが上辺でしかなくてあと後々って言われちゃうと、じゃあ今はあって、いうことにしかならないような気がして、ものでございます。
0:17:06	今考えているという物性値についてはこうであるというふうなことをですね、このところで書かせていただければと思います。
0:17:17	現状でございます。だから全貌として、これだけのものがあってこれはこのいいと、あれで、まとめたところになってそれから外れてるものが何であって、どういうふうな本誌に設定するのかと。
0:17:33	みたいなところを、ちょっと全体がわかるものを打っていました全体がわかる説明が必要だと、いうのはすみません木曾抜けておったかなというふうに思いますのでちょっとそこをちょっと我々の中でもあととは整理してちょっと記載を検討したいと思います。以上でございます。
0:17:48	はい。昨日、わかりました。それを踏まえて
0:17:54	その記載内容によってですね、岸野さんの先ほどの疑問点なり何なりがクリアになっていくんじゃないかなと思いますけど、岸野さんどうぞ。はい。ありがとうございます。規制庁、石松です。
0:18:06	要はそういうことで、今の御説明っていうのは具体的なプランがないんですね、単に先送りしてるだけの説明になっていたと思います。
0:18:15	で、一方で、屋外重要土木構造物のモデル地盤モデルについてはどうするんだっていうのは、
0:18:22	全然かいいとかそれぐらいの日、タイミングぐらいからヒアリングも少し話題に上がりつつあって、
0:18:28	今後のことを踏まえて、方針というのは今後議論していかなくちゃいけないことではありますので、先ほど近傍のボーリングがある場合は云々といった考え方を持つであるならば、そういった方針をまず原燃の考え方として、説明いただいてそれからの議論。
0:18:43	かなということ踏まえますと、
0:18:46	もうそろそろこの方針をですね、原燃の考えとして明確にして、

0:18:53	議論
0:18:55	と、
0:18:56	ということだと思いますかね、このままだと単に先送り先送りしてその時期に来た時にどうするんだと、また論点が長引いてしまうという可能性もあるのではないかなと思ってる質問ですので、ネットに、
0:19:09	準備
0:19:14	現状でございます。はい。承知いたしましたちょっと検討したいと思います。
0:19:19	はい。
0:19:22	はい。私から、
0:19:27	はい、規制庁カサオカ本文関係はいいですかね。
0:19:33	なければ、じゃあ、ちょっとすみません規制庁野崎です。ちょっと気になるのはですね、ばらつきの話で、
0:19:41	33 ページと 59 ページの関係なんですけども、中央時間、要は第 1 回、33 ページって 5 ポチってこれ第 1 回申請の時に、
0:19:51	モデルの決め方で、曜日に、MBについては基本中央地盤と言われてるところであります。
0:20:00	記載のですね 59 ページの今回、やろうとしてるのも仕事です。
0:20:07	PAの方なんですけども、PAな。
0:20:11	今回の第 1 回、違うじゃないですか。
0:20:15	こちら辺は、
0:20:17	どう説明をされるんでしょうか。はい。日本原燃オガセさんおっしゃっている通りの状況であることは認識しておりますので。つまり第 1 回の 4 と P でも考え方が、母集団のとり方が違うって言えば複数個あるからその複数コウアノゴコウでしたっけ、のばらつきをとる。要は 1 個しかないの、
0:20:36	中央のエリアに広げても集団を広げるということをやっておりましたんで、今回第 2 回は、12 グループ作りしましたけれども、とあるグループは 1 個しかデータないし追加しても 2 行しかないというような状況で、ただ一方で例えば立山李とかFAのところはこことか、
0:20:51	があるというところで、やりようによっては、例えば周りとかにつきましては、ピーエイと同じやり方をやるということも選択肢としてはあります、あるんですけども、やはり申請単位でやはりやり方はそろえたいという話が一つということと、そのばらつきカバーについても、
0:21:06	今回やはり広げて、ある程度広げた母集団でやるっていうような方針っていうところを方針として立てた時には 1 個だけは狭くするというやり方

	もちよつと横並びがとれないなというところでしたので、今回はいわゆる営業方式で、第2回の
0:21:20	を新しく作ったグループはそろえるようにさせて、
0:21:24	吉成です。はい、木内浜崎。
0:21:26	そうすると、
0:21:28	PA渡す見つけてですね。
0:21:34	えっとですね、日本原燃オガセサノ、
0:21:37	センコーは、
0:21:39	サイトウさんが実績なんかを踏まえてもPAのやり方というのは全然ある話で審査委員会でもご確認いただいているところですので、Pのやり方自体が何かしら不足か狭い範囲でしかないかという話では、
0:21:52	ないとは思っておりますのであくまで第二課出野なんですかね、さらなる
0:21:57	昔といたしますか、一応そういうような位置付けだなというふうには思っています。ベースはやっぱり、本当はPAぐらいのもので、うん。2番目ということだと思います。フューチャーベース、ばらつきについては冒頭の話もあったように、いきなり今回4回、4グループ、
0:22:12	シマみたいな説明があったんで、本来は月井はどう考えるべきだということから説明をですねきちんとしてもらったらいいと思いますので、
0:22:23	はい。
0:22:25	よろしいですか。はい。日本原燃尾松でございます。先ほどのパワポの資料でもありました通り、こういうばらつきを、
0:22:31	の母集団にするに至ったプロセスみたいなものが今書いてない状況ですので、そこから今ハバサキさん、ご指摘いただいたところも含めて書くようにして、この結果的に第2回はこういう母集団ますというふうに結論窓口、
0:22:43	カセ、
0:22:45	はい。来てた。
0:22:49	以上です
0:22:52	はい。定例は、次は別紙2-1の判断井清ですけど。
0:23:02	追加で、
0:23:07	はい、規制庁の岸野です。
0:23:10	今回新たに説明が加わったところ、
0:23:13	いきたいと思いますが、まず198ページの方。
0:23:21	6ポツ1の負債内容ですね(1)、(2)、(3)というご説明があります。
0:23:29	これまず中身を議論する前にですね、非常に文章だけだと、なかなか理解が追いつかないなというのは、

0:23:36	正直なところで、
0:23:38	具体的にどういう十条図とか岩盤分類図、
0:23:42	を使ってどこに着目してどうするのか、そういったあたりがもうちょっと実際が進むようにですね、代表的な部分でも結構です。音声でも結構ですので、
0:23:52	そういったものを使って説明いただかないとなかなか、
0:23:55	感じがしますけれども、
0:23:58	特に(3)のですね、最初の 123 行目のあたりというのは、
0:24:03	なかなか想像張り巡らして、
0:24:05	いうところありますので、ご検討いただきたいと思います、
0:24:10	本店、
0:24:12	そうでしょう。はい。日本原燃のガスでございます。はい。今後ろの例えば参考みたいところに、いろんなタテヤノbut構図をまとめたりとかして行ったり来たりになってるなんていうのは、はい。思いますで読みにくい。
0:24:25	お願いしますなので、例えばなんですけれども、どれかの建屋を 1 個ちょっと代表でこうなんていうか、文章を交互に並べるとか、近いところに攻めておいてあげて、
0:24:36	それ以外の建屋も同じだったら同じ内容を別紙に示して、違うなら違うところ差分を、この本の中で示していくようなやり方でやって、ちょっと何ですかね、最小限のデータで 1 回この 3 ページぐらいで完結するようなもので、
0:24:50	していくような形に直すのがいいかといいますか、聞いて思いましたがそういうようなところで、規制庁吉井です。はい。そういうイメージでいいんじゃないかなと思います。詳細は別紙に飛ばすのはいいとしまして、
0:25:03	そこを毎回見ていかなきゃいけないっていうのがなかなか、
0:25:06	ちょっと大変なので、今言われてコサクをちょっと検討いただければと。
0:25:12	かしこまりました。本県では、
0:25:14	ちょっと具体のナカミイ、
0:25:16	行きたいんですが、次の 199 ページ。
0:25:20	6 ポツに、(2)。
0:25:24	今回、その断層が直下にある場合の検討方針のご説明を終わってきますけれども、
0:25:32	これも少し、趣旨がうまく理解、
0:25:36	3 行目の断層の宇和盤と下盤で岩種分違が見られる場合とかですね。
0:25:43	この場合は、速度構造は同様の傾向を示す。

0:25:50	へえ。
0:25:52	これは何行、3行目ですか、下から3、
0:25:56	だから3行目の間を抜けますと、うん。こういう結び、
0:26:01	というような説明があるんですけど、これはどういう場合をそう判断するのか。
0:26:08	そうせんでそう判断して選定された結果ってどこで説明があるのかというのちょっと資料なこといけなくて、
0:26:15	ご説明いただけますでしょうか。はい、日本原燃尾鷲ですちょっと今は例としてこのことです。
0:26:20	ご説明します。これ、
0:26:23	はい。
0:26:27	少々お待ちください。
0:27:03	あ、これはユフ
0:27:06	ね。はい。
0:27:08	日本原燃オガセお待たせすみません、254ページをちょっと開いて、
0:27:12	それに該当するような、
0:27:14	ものがある。
0:27:17	はい。204、54ページの第3-2図の35分の6N-S6段目という構図がいっぱいあって、あれなんですけど、これの、えっとですね、建屋側のコウ。
0:27:28	その下半分の254ページの下半分の図なんですけれども、右から2番目のFP建屋というものがございます。
0:27:37	その下に赤線でSF-3断層とF-2a断層というのを赤線で書いておましてこの断層がFBの直下に潜ってる断層ですというふうな形にしています。
0:27:48	ただ、この開口基盤よりも浅いところの地質構造岩種の登場人物に着目しますと、基本的に濃い青の泥岩かな、泥岩下部層と、
0:27:59	薄い青の左右性というところの二つが分布しているというところで、そのサエグサをある意味こうぐっと上げるような形で断層が行っているというところになっています。ただこの細粒砂岩を切っているとは言いつつ、その切った、
0:28:12	何て言うか言わんとしたんですかね、上盤側の下盤側はもう両方とも細粒砂岩が分布していて、さっきなんかそそう自体の男子の登場人物がガッと切り替わるような例えば次14のイメージを持っていただければなんですけども、そういうような状況にはなっていないというところが、まずここから見てとれる。全部あの断層はレッド全部スマダ

0:28:31	繋がってますというようなところで、その細粒砂岩のところの特徴を踏まえてみますと、そこにつきましてはいわゆるその同じ岩種であれば、その上載圧みたいなところで一応延焼速度境界というのが決まって、
0:28:43	というような傾向もございますし、実際この左右差なんていうのはその岩相がんの深さに応じてその速度境界なんかもほとんどない、もう一応なく性速度構造をずっと示すようなところの傾向になっているところを踏まえますと、
0:28:55	この断層による切り替わりというところにつきましては、ここのFBの直下のところの速度構造には影響しなかりと、そういうようなところの、はい。
0:29:04	ことを想定して想定というかは示して書いている。
0:29:09	はい。よくわかりました。
0:29:11	ということでですね、多分今着目されてるのは、SD建屋の
0:29:16	北橋と南橋の間の、
0:29:21	に、多分、アカセは挟んでいるものの、ずっとPFS層が連続しているよと。
0:29:30	いうことで、
0:29:33	岩種分布が同様である。
0:29:36	なので、同じ岩種なので、速度構造は同様の傾向を示すっていう同様である。
0:29:44	ということなんですね。理解しました。ありがとうございます。
0:29:48	お礼をです。これもですねやはり先ほど同様に例えば、事例として、図を引っ張ってきてですね、ここに断層があるんだけれども、それを挟んでも上下と同じ層がずっと連続していて、
0:30:00	速度構造としては、
0:30:02	切り換えというか、急激な変化はなさそうであるっていうようなことがわかるような説明をしていただければわかるかなあと。
0:30:10	思いますので、
0:30:12	説明をしていただきます。日本原燃大瀬ですかしこまりました。多分わかりやすい例の、こういう場合が切り替わりがあるとする場合、こういう場合は切り換えがないとする場合みたいな、どっかを代表に、例えばこのFBのところをちょっと切り出すとかと自営的に、
0:30:26	この説明の後につけるとかして、はい。ちょっとわかりやすい。
0:30:30	はい。お願いします。
0:30:45	はい。
0:30:47	ちょっと 201 ページに戻っていただいて、
0:30:51	今言ったような整理をしたのがここの表だと思うんですが、

0:30:57	今日もう、中ほどですね。
0:31:00	別にですね、ちょっと困ったジンボPSですね。
0:31:05	判定をしている別があるんですけど、
0:31:08	そもそもこの直下待ったら近傍のPS検層の定義ってどっかでされてましたか。
0:31:14	ちょっと私の見落としかもしれないんで、どこで説明するっていうのは、日本原燃藤でございます。それは前回ご指摘いただいた、
0:31:49	はい。そうですね。はい。もし一緒になればですね、そこはちゃんとそういう
0:31:54	というのは、確か反映方針のですね、その定義を明確にした上でっていう説明がどっかにあって、どっかにあるんだろうと思って見てたらどうも私の部分ですから、
0:32:06	もしかキムラしてることであればすぐ明確にしていただければと。
0:32:11	はい、日本原電オガセサノ申し訳ありません。はい。北井の方は、
0:32:19	はい。お願いします。
0:32:22	続きますと 204、104 ページ。
0:32:41	はい。一番上のポツですね、フリー建屋直下ではというところで、
0:32:48	断層の宇和版と下盤で岩種分布が同様であるためってのはこれ先ほど 1 例を示していただいたちょうどそこだと思んですが、
0:32:57	同じ同様であるため、ドイ標高において同程度の上載圧が生じ速度構造は同様の傾向を示すと考えられるというのが、
0:33:05	ちょっと意味がわからないなと思う。
0:33:08	うん。
0:33:09	これは先ほどの説明でも含まれているということと理解しておけばいいんですよね。はい。日本原燃の勝アノその通りでございます。
0:33:18	ちょっと、
0:33:19	これを文字どおり読んでしまうと、
0:33:23	同じ深さだと。
0:33:25	CABRIやつも同じなんで、岩種はなんだよ。
0:33:29	その構造、同じになりますけど、ちゃうんですけど、多分そういう 1 市では、主ではないか。
0:33:36	思いましたので、
0:33:37	そこはちゃんと正確に書いていただき、
0:33:40	もしこの通りだとすると社外支援者の方がどういうトガシたのかなってちょっと、
0:33:45	聞きたかったんですが、多分ちょっと表現が足りてないのかなと思いますので、

0:33:49	はい。そこら辺を適正にお願いします。はい。日本原燃オガセです。単純に同様と書いているところが、すみません、ちょっと何、何かこう、はい。暗黙的なところで書かれてしまったまま残ったところで、
0:34:00	ますので改めて社外技術主査の方とか、
0:34:03	ちょっと申し上げ、
0:34:05	やりたいと思い、規制庁道口セト社外支援者の方と改めてということを一応支援者の方もこれを読んで納得ウエエダされて、
0:34:12	それで
0:34:14	そうすると、これ、この説明で通るということなんです。
0:34:19	特に私の理解が浅いだけで、ここは
0:34:22	こういうことですよっていうのが補足できるのであれば、言っていたいてもいいかなと。
0:34:29	いえ、言葉足らずであることは間違いなくて、大分見ていただいて直すわけですけど、でもちょっとこれはちょっと直で直せてなくて、
0:34:40	私もちょっと大分わからないところ大分足してもらったんですけどもちょっとこれ残っちゃってると思いますんで、やっぱり適正化したいというふうに思います。堀場さんの方向けのわかりやすという分けてる訳というのは、
0:34:51	はい。いや、一般の方向けの言葉が足りないだけで、内容的に正しいのであれば、それは一般の方向けにわかりやすく説明していただければいいんですけど、内容的に正しいのかという点はどうなんでしょうか。これは正しいと。
0:35:06	日本原燃のオガセすみません、さっきのありまして、はい。内容的にあまりこう何と同様とかいうところがわからない。同じ岩種の中で何か岩種によらずなのかというところが、はっきり書かれていませんでクロスチェックにもちょっと不足しているという意識、
0:35:25	あと、すみませんちょっと細かい点もあと2点。
0:35:28	304 ページをお願いします。
0:35:39	括弧になる。
0:35:42	文章で、
0:35:43	2行目に、
0:35:45	層境界レベルの補正の結果を示すと思います。
0:35:49	東海レベルの
0:35:52	はい。日本原燃のオガセでございます。これイメージとしてはもう306ページの図をご覧いただければ、まさにこの通り、
0:36:00	あります。

0:36:03	306 ページの図でございませう。これ右と左から挟み込むようなコーナーになっているわけ
0:36:09	でありますけれども、タテヤノ、今回の
0:36:12	立山藤範囲の北端のところの地盤物性をまず作って、断層の番として坂がミックスしているような機能というときに、いわゆる上盤側のデータがとれているPS検層、右側のデータ、左側が下盤側のデータがとれているというところで、
0:36:28	それをそのまま合体するのではなく、やはりこのMCTの場所のところの層境界の深さに合わせる必要があるということで、ここで言うところの赤線の、赤の点線ですかね。
0:36:39	例えばVs790 というところで細粒砂岩と泥岩の間のそうか。
0:36:44	ちょっと自由すんですけどマイナス。
0:36:47	たぐらいのところにいると思うんですが、それをアノコウ。
0:36:51	FCTの
0:36:53	ところの直下の地下構造の層境界に合わせて補正しているというそういう意味合いのこと。
0:36:59	補正という言葉が使われてるんで、何らか掲載するとかしてるわけではなく、
0:37:03	単に、
0:37:06	このMCT北端の地層境界に合わせて適用してます。はい。そういうことですね。野見山先生おっしゃる通りです。はい。わかりました。
0:37:16	規制庁、あと、すいませんコサクです。念のためですけど、
0:37:21	今、合わせるのが適切かっていうところで言うと、
0:37:29	事前監査記録の結果からすると、必ずしも合わせるというよりは、
0:37:35	隣の影響を踏まえたところにイセ。
0:37:39	或いは、境界を追加をするというようなことの方が適切なものもあるってことだとは思いますがここはそのままの方が適切っていう、
0:37:49	ところはどうか考えているんでしょうか。はい。日本原燃のオガセでございませう。ちょっとそこは実はかなり検討する。
0:37:59	持っていくべきか、そうじゃないかという。
0:38:01	つきましては悩みましたんで、タダですけれどもこちらにつきましては、どうしてもこの宇和盤とした場を同時に切ってるような、PS検層があるわけではない。東側地盤の地震観測点のところ、
0:38:16	持っていたデータというのは、その宇和盤と下盤がミックスされてるところのPS検層データだったので、もうその場所のところのPS検層の、いわゆるババンとした場合のサカイが、もうちょい上に本当は見るべきなのか下が下に見るべきなのかみたいなのが、

0:38:31	ちょっと地震観測記録を説明する上でどこに持っていきかがわかりにくかったという。
0:38:36	ございましたですけども今回検討している内容としましては、ちょっと言葉は汚いですけどほぼピュアな宇和版のPS検層のデータと、ピュアな下盤のPS検層のデータっていうものが、我々持っているもので、それをFC
0:38:50	の直下では、やっぱりそれが宇和盤と下盤がミックスされてるっていう状態になってる。そこのミックスされてるような状態を、今回見たいわけですのでその時には、やっぱりそのFCTの下の地盤の特徴っていうのを見てあげる必要がある。なので、やはり層境界の補正というものはしてあげるべきだろうと。
0:39:06	そんな判断をしてちょっとこのような設定しました。
0:39:13	そうです。
0:39:15	今のぴあだったりミックスだったりとかっていうあたりは
0:39:21	もうちょっとわかるような表現をして、するようにしといていただいて、その辺りのですね、検討の仕方、
0:39:31	考え方なり、パターンがどういうのがあるのかだったりっていうのを整理していただいて、こういうふうの設定していきますっていう、大枠の方針がわかるといいかなと思いますので、今後整理をしていただければ、
0:39:48	いいましたいわゆる、どう、どういう解析というか、補正補正、層境界の補正をすれば、今やりたいことができるかという目的を踏まえた方針をちょっと書き出すように、
0:40:04	はい、古作ですよろしく申し上げますキシノさんどうぞ。はい。どうぞ。
0:40:08	です。
0:40:10	そうですね。ちょっと
0:40:12	これ、今のやりとりを聞いててですね、これって、ピュアなものをそれぞれやってくれば、
0:40:19	いいんだっていう説明が逆に、地震観測記録でやられた知見とちょっと違うんじゃないかという気がしまして、
0:40:26	東側地盤の方は断層貫くような、PS検層で、硬い層カゴイ
0:40:33	で、やわらかい層が下に出てきているのを踏まえて、より適正な速度構造としてはそれらの影響を加味して、PS検層の値そのものではなくて、
0:40:44	中間層のところ、文化として高くしたり低くしたりといった説明があったかと。
0:40:51	一方でこれはもうそのままそれぞれペアのやつをウエダウエエダしてもできませんといったこと。

0:40:57	あとは、ちょっと説明が違ってくるんですがそれは、地震観測記録とはまた別の次元の話ですか。すいません。日本原燃のオガセです
0:41:07	そこがまさしく、そのミックスの四方の東側地盤ってというのは、アノとあるPS検層 1. のところのDただけだとその地震観測をうまく表現するような層境界の深さにはなっていないので、その層境界はいろいろと、
0:41:21	周りの地下構造を踏まえて考えようという話だったつもりですんで、今回のこの断層のやつについても、今 306 ページだけご紹介しましたけども、そのあとの三百七、八、九 ページのところ、
0:41:34	ずらしてあげてます西側東側北川ミナミカワという形で、これによって、建物の場所場所によってそのミックスの度合いが違うってところを踏まえたときに、
0:41:45	本当に与える影響というところが、どこがよろしかろうかというところを、すいません、どれも正解どれが正解って1個には絞れないんですけども、どう、どういうそのミックスがによって応答が変わるかというような確認を行うというような意味では、
0:41:59	やはりその層境界があまりその、その1点の周りの層境界の違いというものが、応答に与える影響ということもきちんと見るというような観点ではヒガシ出られて、知見の反映としては同じ、
0:42:12	というか岩盤物性を設定する上では、そのられた知見を反映するところでは、適切なのかなと思ってございます。
0:42:20	規制庁の基準です。
0:42:22	ちょっと違うなと思うんですね、東側でやられた事件ってというのは、その片イソダ方がいいですね、やわらかい層が下にきて、なのでその時点でとられたPS検層データそのものだと、同定がうまくいかなかったんで、
0:42:35	畠埜がやるかいうのが下にきてることを踏まえて、ちょっと調整をしますよね。
0:42:40	今回は、そういった断層を挟んでひょっとしたらPS系ソウノあたりそのものではなくって、ちょっと本来としてはもう一つ違うあたりの、
0:42:50	示すかもしれないところを、そういったことはしなくて気はなかったり、
0:42:54	嫌なものをそれぞれ、
0:42:57	その点、その地震観測データから入れた知見ってのは反映されていないように思うんだけど、そもそも、
0:43:06	土俵が違うものでこれはこれなんですよってという説明になるのか、いやそこはもうちょっと違うのか、或いはそれも踏まえても今回、
0:43:14	東西南北間で4ヶ所検討して、まず包絡できてますっていうような説明になるのかちょっとわからないんですがそのあたりは何か。
0:43:23	されたのかな。

0:43:28	ごめんなさい。
0:43:30	わかりやすくなるような記載をもうちょいするのはわかった上でなんですけども含まれて東側地盤の知見を含んだものになっている認識ではございます。ちょっと、
0:43:41	たまたま今、MCTのところっていうのがその泥岩と細粒砂岩で速度境界が全然ないようなところなのでわかりにくいところではあるんですけども、
0:43:51	当然この
0:43:58	当然この薄紫と青の泥岩と細粒砂岩の層に、もし速度境界があればなんですけれども、やはりこの上盤側のところが卓越していくCTの、例えばヒガシ橋で卓越していたら、
0:44:10	当然上盤側に擦り上がってるところの速度構造が硬いっていうようなところが、ちょっと表現されるはず仮にごめんなさい 306 ページの絵でいくと、仮に、
0:44:21	水井大江も村崎が課題とした場合には、FCTは浅いところから、やわらかい方にやわらかいというような層速度構造を示すことになると思うんです。で、そういうのをきちんと考慮してあげるべきなんじゃないのかなっていうのが、東側地盤出られた知見だと思う。
0:44:37	いるのです。で、今回たまたまActのところは、こういう速度境界がないようなところだったのでそれが影響しないものだったところなんですけども、例えばG14 とかについては、やっぱりその断層がぐっと切り替わっ。
0:44:50	断層の線で地質が切り替わってるところっていうのは速度境界自体も出っこみ引っ込みなってしまうというようなところがありますので、そういうようなところは、その切り替わってるレベルババとシバの切り替わってるレベルで、層境界が
0:45:02	どんぐらい変わっていくかというようなところはきちんと表現した上でそのゴトウの影響を確認しているということですので、やはり一旦減衰の時にやったものと同じトーンではやれてるのかなとは思う。
0:45:14	ございます。はい。わかりました。24 はまだ多分何も示されてないので。はい。日本原燃はおっしゃる通りです。24 が出てくれば多分なんかわかりやすくなるかなと。
0:45:27	一方で今例示されてるその 306 ページと、この辺りっていうのは確かにPS検層を見るとそんなに、先ほどの 9 割っていうと大きな変化っていうのは、
0:45:37	右左のPS検層データを、
0:45:39	なさそうなので、そこら辺の影響が少なからうというような、推定のもとでやっているということであれば、それは確かにそうかもしれない。

0:45:50	そういう面ですね、他のところもおそらく入れて、結果次 14 はちょっと見せて、
0:45:57	というところなのかなというふうに、今、感触はそうかもしれません。
0:46:00	ちょっと次 14 の結果を追記される際ですね。
0:46:03	他のところと違いも含めてそのあたり、
0:46:07	東側関係施設でやられた事件も踏まえてどうなのかっていうところがですね。
0:46:12	ちょっと説明。
0:46:13	ていうかちゃんとそういう観点で分析をした場合にさせていただければと。
0:46:17	思いますけれども。はい。よろしいですか。日本原燃尾松です。よくわかりました。そのような分析を、はい。
0:46:23	出すようにして、
0:46:24	はい。
0:46:25	します。
0:46:27	で、この
0:46:28	300、
0:46:29	6 ページ、4 ページなんですけど、規制庁に示す検討に用いた地震動の説明は特に、
0:46:36	と思います。何についてかで、今回、東西方向南北方向とそれぞれ分けて検討しているんだと。
0:46:44	聞くまでもないと思いますが、 S_s にNSとEWの違いがあるものを使ってるので、当然使い分けてますよねということが、
0:46:52	わかるような説明をいただきたいんですがそのあたり、いかがでしょうか。はい。日本原燃の長谷でございます。こちら今使っている地震動としては S_s-A になります。そういうところをちゃんと書きますというところで
0:47:05	今回やはりこの応答の周期体に与える影響みたいなのが確認したいところでしたので全周期でパワーアップ S_s で見え、見るのがよからうというのはこれあくまで相対的な比較だからというか、
0:47:17	十分だというふうに思っていますので水平成分一般の波ですのでそこには方向性はないかというふうには考えているという旨をきちんと確認をいたします。
0:47:26	はい、成長します。よくわかりました。はい。私からの確認は以上になります。
0:47:34	はい。
0:47:37	だからさっきの都築ウタダ。

0:47:44	300、
0:47:48	327 ページ、C、
0:47:52	D、
0:47:57	これが 320 ページになりますけど、
0:48:03	ついては、
0:48:06	何か冒頭でどうですか。
0:48:09	はい。
0:48:11	具体的に同等な、
0:48:13	言っていて、同等だったらこんななんなんですか。
0:48:16	ていうところなんです。
0:48:18	そういうところもちゃんと、
0:48:21	うん。
0:48:22	その次に、
0:48:25	300、
0:48:29	335 ページのこのデータアベ等こんな感じのグラフになっていて、何か全般にあんの東京都も包絡線。
0:48:44	同 3020
0:48:45	ページですけど、建屋の一次周期においては、出っ張っているの、み たいな
0:48:53	て、だから何なんですかっていうことまでイシイと。
0:48:58	いえ。
0:49:00	だと、いうところ。
0:49:04	全般的にしなきゃいけない。
0:49:09	してください。
0:49:11	はい。日本原燃大町です。
0:49:18	さっきお話してます外部支援員の数、
0:49:22	見てもらってるんですけど、
0:49:24	出ましたけど、
0:49:26	代理として、何かもう、こういうところまで、
0:49:29	なかなか、
0:49:31	ているのかな。
0:49:34	一応ちゃんと見てもらっています。
0:49:37	木戸です。えっとですね、
0:49:41	かなり入り込んで見ていただいています。うんだから一つ一つのデータを どこまで細かく見ていただけるかなの。若干見ていただく方によって疎 密はあるんですけども、でも、

0:49:54	いただいでるコメントがかなり細部にわたってもいただきますヒシカワ見ていただいでおって結構、文章全体の構成なんかもいただきながら、我々、それを一生懸命直してやってるようなところではございますので、
0:50:07	ご覧いただいでるといのがお答えにはなりません。
0:50:16	はい。
0:50:19	できたものを見てもらうっていうよりは、しっかり一緒に参加させて話をしていますし、あとは
0:50:26	技術的な、
0:50:27	うん。
0:50:28	そういうところ多分上流のところでは別に捨てて、
0:50:34	川名伊井となっちゃうとまた何か、
0:50:39	こういうことが起きない人達であれば、見てもらってっていうだけかもしれないんですけど、いまだにこういうところ、
0:50:50	ので、しっかり連携をとっていただきたい。
0:50:54	っす。はい。限度でございます。はい、承知いたしました。
0:50:59	提供とか、別紙2の1、岩盤物性、
0:51:04	はい。規制庁、まず、別紙2-1自体はまだ追加は、NoPS呉検討から反映されてないということで、今後、
0:51:15	内容が結構変わり得るとい、まず理解。
0:51:21	日本原燃、
0:51:23	確認する項目とか、フローは変わらないんですけどもその結果、その材料の管理ですねその結果もしかしたらそれで傾向が変わったら、当然、
0:51:33	はい。
0:51:34	説明終わります。
0:51:37	そういう意味でちょっと今ミキたいと思っておりますが、先ほど後、
0:51:43	先ほどの話があった
0:51:46	直下に、
0:51:47	断層面がある場合の検討で、Cの場合ですね、327 ページで、
0:51:54	医療、
0:51:56	東西南北プーさんごとの地盤物性での、
0:52:00	1、先ほど冒頭出ましたけども一次固有し、
0:52:05	周期ですね。
0:52:07	で判断するような、評価されてるんですけども、
0:52:11	今、実際の断面は 321 ページ、イシイが南北、当然
0:52:17	出てますけどもう
0:52:19	先ほど青野さんが説明されているように、断層面を境に、左右といいますか、が同じ岩種中とならば、

0:52:29	あまりそこに物性の違いってのは出てこないと思うんですけども、結構このACの直下っていう
0:52:37	必ずしもそうじゃないっていうと、
0:52:40	本来こういった検討とは2次元で、
0:52:42	最低ですね。
0:52:44	やるところだと思うんですが、
0:52:47	今、これ1次元で4番、
0:52:52	物性値で評価して、差があるとかないとかいう評価してるんですけども、
0:52:57	これ本当に信頼できるのかなというところあるんですけども例えば、
0:53:02	こういう検討をする上での、
0:53:07	何ですかねいわゆる支援者の方の意見とかも、いや、問題ないですという、
0:53:13	意見で、この結果出されている電波。
0:53:16	この辺りは普通こういう町、
0:53:20	地形の不整形の話は、やっぱり確認はとってると思うんですけども、
0:53:25	必要ないのかなあというのがちょっと疑問なんですけども、その点、事業者として、
0:53:31	どうですか、もう1年、絶対大丈夫ですって言い切れます。
0:53:36	日本レンジ河津 でございます。選択肢としては当然20年間あるんですそれはまだ配属されるものではない。
0:53:44	ありますね。
0:53:46	ただ、今我々が作ろうとして最後のところで別に結果的に言うつもりはないんですけども最後のゴールは我々が建物で使うシークの1次元用の地盤モデル。
0:53:56	というところを踏まえて特許的にはこういう相対的な評価のところでは、1次元で何かしらできないかというところの形でやるのがよろしいのかなと思って、こういうふうにいたしましたので、
0:54:07	ある意味、これって非常に極端なやり方なんですよね。
0:54:11	右腕と下盤をちょっとミックスする。
0:54:14	あとは、は無理にそれが広がってるっていう仮定にも拘らなくて、本当でしたら、言わんとしたミックスしてた、してたら大体その間にきつと応答というか増幅特性ってのってくる当然ちょっとした乱れがあるのはわかりますけれども、それがきつと二次元では、正確には出るんですけども、
0:54:30	こういった1次元の評価でも、オオハシ、
0:54:32	ほぼピュアな広告フェアにした場を見るというようなことをやるっていうような幅広い検討を行って、それらちゃんとデータセットというか考察の

	材料に並べてあげることで、僕らは1次元と我々が最終的に資源として使う中で、どれ、どの1次元がよろしかろうかっていうような話をするっていうシナリオだったら、
0:54:50	1次元の中でも、ある意味、大げさに検討することで、1次元のものに絞り込んでいくってというのは説明として成立し得るのかなというふうに思って入っているところではあります。はい。設置をいたしまして両極端を抑えるような意味合いで
0:55:06	1次元になってますという説明だと思いますが、ちょっとやっぱり物理的に1次元と二次元と、そのハダを
0:55:15	電波が違ってくるんで、そこら辺科学的に本当に次元で読めていっているのかなという疑問がありますんで、
0:55:23	あとですねイシイはこれー、精製建屋でしたっけ。ですね
0:55:28	そういうところも踏まえて本当に今のこの評価で問題ないといけないうのかっていうところが、思ってますので、
0:55:41	もう少し補強説明に補強するのか或いは
0:55:47	やはりバックとして2事業やってるのかですね、ちょっとそこはどうしても、
0:55:52	ちょっと
0:55:53	なかなか難しいところだと思いますけども、
0:55:56	327ページ見ても、結構、どこの直下の1次元を取るか値決めてるんですよね、これ全く。
0:56:05	だったらば、
0:56:08	多分大丈夫かなというところもあります。
0:56:11	一元化震源等の伝播の機構が違うということは言えますね、大きくはいいかというような判断できるんですけど、
0:56:19	ちょっとこのACについては
0:56:21	疑問を持っていますんで、
0:56:26	ちょっともう少し深掘りした検討というか対応。
0:56:29	をして欲しいというのは、
0:56:32	考えがあります。特にカノウ的なデータ、この結果の信頼性を高めるという意味ですね。
0:56:40	何ができるかというところを検討してもらいたいと思う。
0:56:44	意見です。意見といいますか指摘があったわけですね。はい。
0:56:48	はい。日本原燃のオガセですちょっと、何がやれるか考えさせていただきます少なくとも今ハバサキさんおっしゃいました通り327ページの結果を見ますと、これだけ大げさにドラスティックに1次元ではバーした場合、こうガチガチに変えても、

0:57:02	こういう周期の変動でほとんど地盤の固有周期ですね、その辺ってほとんどなくて、山の中で対象がちょっと上がったり下がったりぐらいのものであるので、ある意味、所詮このぐらいの変動しかないというところが、例えば二次元でもいえるとかそういうようなところが何かいえるかとか、ちょっとその辺含めていろんな選択肢。
0:57:18	考えさせていただきたい。
0:57:21	はい。
0:57:23	持丸。
0:57:28	はい。
0:57:30	別紙 2 の位置関係なければ、
0:57:33	2 号、
0:57:36	郵政です。
0:57:43	なければ飛ばして、
0:57:46	13 人。
0:57:52	皆さん、
0:57:58	規制庁のです。
0:58:01	これあります。まず、454 ページ。
0:58:08	こちらの方見ますと、西側地盤、東側地盤、観測地点ですね地盤構造の説明がされていて、
0:58:16	今回は、一方向だけじゃなくて直交する方向の地盤の図面を追加して説明が加わって、
0:58:26	で、説明すればというふうに思いますけれども、一方で、
0:58:30	中央地盤の説明が大事だということ。
0:58:33	があります。この会合資料ではですね。
0:58:36	重要地盤を地盤構造を示して、それとの比較で東側、西側の特徴を説明されていたと思う。
0:58:45	で、その会合資料にも断層らしくも実は出てきて、
0:58:50	これってー。
0:58:52	どういう検討を、もう許可段階で、もう同定の済ませたものなので、
0:58:58	追求することではないと思うんですけども、
0:59:02	こういった断層に対する配慮、許可段階ですでにやってやった上で同定しているのか、それとも、そういったものをする必要がなかったのか。
0:59:12	そういった辺り、介護資料でも説明が、
0:59:15	説明はないけど、図で示されて、
0:59:18	見て、補足にないというのも、ちょっとそれはいうところもありますので、そのあたりの説明をまずしていただきたいなど。

0:59:25	その重要事項について、どんな見解をもちろん教えていただけますか。 はい。日本原燃のオガセでございます。まず事実関係として今岸野さん がおっしゃっております。
0:59:34	中央につきましては同じ地震観測位置における地震観測記録でもって 許可の際に、スリッドで済みでありましたのでそれを今から速度を変える ということは今回してございません。
0:59:45	その時に、今回タダノヒガシ西井についてはちょっと、
0:59:50	初期モデルをちょっといじくりましようというところの根拠は、やはり中央 と比べて、こういう変な傾斜しかり、断層の状況があるというところがあ って、仕事の相対的な状況の差分みたいなところがありますので少なく とも中央に関して物は必要だというふうに認識しますのでそれは追加を いたします。
1:00:06	で、その上で、中央の時にそういう断層の影響なんかを見ていたかとい うようなところにつきましては、許可の際にそういうような議論はしており ませんでした。
1:00:15	中央につきましては実際先ほどのFPのところ、断層のところでも、おっ しゃるような同じなんですけれども、基本的に泥岩と細粒砂岩が厚く堆 積していて、他の岩種が非常に少ないような状況。
1:00:29	また中央地盤については非常に表層薄いような観測地点では表層部す るような状況でしたので、もうこれはもう1次元のPS検層のデータをそ のまま主要PS、
1:00:41	随時その同定に用いることで問題なかろうというところで、特に断層に 対しての検討とか、見解というところを、審査の中で述べたものではな い、述べたことはないというようなのが実情。
1:00:53	どちらですか。はい。室長。
1:00:55	本日関係はわかりました。
1:00:57	そういった添付はしていないし、なぜしなかったというか、今東側西側で やったのに比べて中をやる必要が、
1:01:07	ないんですけど、これは単にもう許可で決まってるかっていう、もちろん 事実はあるんですけども、その地層の状況を踏まえてもですね、東 側、西側と比べると中央っていうのは、
1:01:18	こういうような特徴を持っていて、エース許可での運用に対して疑問を 挟むほどの、即答は見られなかったというようなことが何か説明ができ るのかなと。
1:01:29	はい。

1:01:31	そういった説明できそうでしょうか。日本原燃のオガセですできるというふうに思っておりますちょっと今、が手元に多分なくて恐縮なんですけども、手法につきましては先ほど申し上げたて岩砕ユーザー後
1:01:44	はしょつ損
1:01:45	なんかかけっこ硬めの額だけで構成されて、地震観測地点がというところになっておりまして上から下までインピーダンスっていうか、コントラストがほとんどないようなところになってございますので、それが多少斜め近くで斜めになっているところであってもそのコントラストのダイソーがちょっとアノなんですかね、ちょっとガチャガチャしているという
1:02:02	ところで、東西と比べてって言い方になるかもしれないんですけども、そういう、地層の傾斜や断層の影響というものが与える影響は少ないだろうというようなところの考察ができると思ってございますので、それでもって中央今回はこのまま用いることで伺いたいというような説明が、
1:02:18	はい、わかりました。で、今の見解は多分そうだ。
1:02:22	で、そこはあまり深掘りしても仕方がないかもしれません。
1:02:25	本当だろうっていうところもありますんでそこはよく吟味してます。
1:02:29	本当に、が影響ないだろうっていうところは、
1:02:33	希望的観測といった言い方も悪いんですけどもそういう説明にならないように、
1:02:39	これ、やっぱ社外支援者、
1:02:41	根拠の説明ができるようにしていただければなど。
1:02:45	思います。はい。ください。現年オガセでございます。これってすみません冗談になってしまいますが、ヒガシ2っていうのは最初、何も考えず同定して、うまくいかなかったっていうようなところもあったのでこういう検討に至ったので中央は
1:02:58	割とストレートで、というのができたところもあったというところも一つの根拠になり得るかと思っておりますので、そういうところも含めて受診者の方と相談して、はい、白尾木下。
1:03:10	社長、岸です。はい。
1:03:12	1点です。
1:03:14	ちょっと後ろの方に行って665ページで、
1:03:23	追加調査の説明。
1:03:26	が取れているっていう。
1:03:28	下に下線部は、
1:03:31	で、これは冒頭のやりとりが、データの信頼性に関連する。
1:03:37	質問になろうかと。
1:03:39	思うん。

1:03:43	おそらく表。
1:03:45	これ、
1:03:46	当時、
1:03:47	地盤の影響について、
1:03:50	へえ。
1:03:51	何か一部で、
1:03:54	ちょっと変なものが出て、
1:03:56	ね。
1:03:56	それは棄却しますっていうご説明。
1:04:00	何ですか。
1:04:02	これ表層地盤。
1:04:05	とか、その他の観測結果に影響を与える要因に対する説明が尽きて、
1:04:13	違うように見えるんですけど、これだけですかと。
1:04:16	です。
1:04:17	まず、今回の観測データに影響を与える因子として、
1:04:23	ここでは表層の影響と軽く言ってますけれども、先ほどの口頭の説明の中では表層の不陸っていうようなご説明もあったし、
1:04:31	純層のその厚さの影響ですとか、あと、この資料の別のページでは舗装の影響があるかどうか事前に確認しというような説明がありました。
1:04:43	あとお。
1:04:44	当初の計画だと、夜間にやります。それは昼間の工事のノイズの影響を避けるためですって言ってたんですけど、現地確認で見させた時には、やってみたら特に影響はなかったんで昼間やってますというご説明だけで、
1:04:58	どうしていけなかったのかっていうところは特に深掘りをされて、深井説明はなかったと。
1:05:03	いうことも、
1:05:05	あとは、建屋からの反射の影響といったものもあるかと思いますが、
1:05:10	その観測記録に影響を与える因子っていうのを、一通り、
1:05:16	網羅的にピックアップした上でこういった処理、
1:05:19	うん。
1:05:20	しているのか。
1:05:22	ここに書いてある表層影響という言葉だけで全部集約されているのかそれともその飾る理事の中の一部しか、ここでは検討していないんじゃないかとも読めるんです。
1:05:33	この辺りって、
1:05:35	もうちょっと、

1:05:36	説明はされる、或いはの裏では多分いろんな分析がされていると思うんですけども、そこら辺の説明ができそうなのか。
1:05:43	どういう状況なのかもしれない
1:05:46	はい当然設計のものでございます。
1:05:48	今回、これちょっとフリー削ぎということで、実際には
1:05:54	先ほどご説明しましたように今因子分、因子の分析ですが、要因分析ですね。
1:06:01	それを行っております。先ほど私が口で出たことで、例えばの方に囲まれてるですとか、或いは表層の傾斜不陸ですとかっていう中に、
1:06:11	そのアスファルトですとかあと地層の層厚ですとか、そういうのも含めてですね、これ全部の印象ですねとりあえず、4 ようですね、とりあえずあげて、今先ほど中にこの事実、
1:06:24	こういうものが出てるといことで、それがどういうふうに該当するのかっていうことをですねもう少し細かく整理をして、ここにですねツジさせていただきます。
1:06:34	ということは考えております
1:06:36	はい。先生よろしいですかはい、わかりました。で、他にもその比留間のドイだとか、放送の影響だとか、挙げたらいくつが出てくると思うんですが、
1:06:46	それらも全部、今の
1:06:48	ご説明だと二つに集約される。
1:06:51	ということなのか。
1:06:53	それとも、そのあたりってのはまだ検討がいいのか。
1:06:57	自分の状況です。当然関野でございますが常時利用につきましてはですね、実際に測定したレベルがですね、実際現場で見いただきました加振のレベルに比べても、微小な、というのは、
1:07:12	最初のチェックのときに、もう判明しましたので、そういうものはアノvisionビジョン
1:07:20	上場につきましてはですねもうはぐくめ省きますということで、ハマグチマツオカアノ、それを常時微動の影響を考慮する必要がないというふうなことで、
1:07:32	もう調査の方始めてしまったので、その辺のこともですねちょっとレベルがですね、実際に御暑うの方のレベルで、これ言ってるんですけども、
1:07:43	そういうことでもし常時微動の比較ができるんであればですねその辺のところも、ちょっと確認をさせていただきたいというふうに思います。はい。それと申します。

1:07:52	多分レベル的にはもう非常に小さいということから、もうそのまま広まっているというようなことなのかなと思いますんで、そこら辺わかりやすく、
1:08:01	で、
1:08:04	そういった病院がいくつかあって、今回それをどういうふうにデータ処理によって考慮して、除去してるのか。
1:08:13	その部分ごっそりも捨てちゃってるのか、わからないんですけどそういったどういった処理をしているのか。
1:08:21	で、残った結果が出られた結果っていうのはもう本当にPR看板だけの減衰なのかそれともやっぱ表層と、
1:08:27	何とか表層の影響、依然として残しても、
1:08:32	その辺りっていう
1:08:33	もう少し説明して、はい。当然設計の部分でございますが、667 ページに、これ 1 例でございますが、
1:08:42	これR5-9-10 というボーリング孔でピアノSFAMアノPRをですね、この計測不能というのがここで出てございまして、これ全部が
1:08:54	3 方向で、建屋に囲まれてるものでございます。実際ですねケアの計測区間というやつはですね、ここで言うところの計測不能と書いてある下の、
1:09:07	例えば、参考 1-3-7 図からしますとですね、GL-28 メーターからGL-130 メーターという 2 区間のですね減衰をとってると。
1:09:19	ということでこの今計測不能ですとか、Vs戦略の下の参考 1-3-8 のVs 1270 と書いてございますような、実際表層なのに表層よりも高い表層勤勉近傍なのに、
1:09:32	勝訴よりも高いですね、Vsが出てるものについてはですね、取り除いて、その信頼できるものの差分、
1:09:42	減衰を算定しているということでございます。
1:09:45	はい。町長。
1:09:46	そうです。これは先ほどちょっと例に挙げていろいろな要因も含めて、ここに含まれていて、このVS1279 からも、
1:09:57	ごっそり捨て去ることで、残ったやつはそういった影響も完全に除去。
1:10:01	そういう理解すればいいんでしょうか。はい、当然設計のものでございます。はい。そのように理解していただきたいと思います。はい。はい。
1:10:11	うん。今、わかりましたという感じなんですけど、この処理の過程とかですねどこに着目してそう判断したという辺りはもう少し説明いただいた方がいいのかなと思います。

1:10:22	データの信頼性確保という観点で、どれぐらいデータをしっかりとって、適切な処理を行って、最後残ったデータっていうのは、岩盤の減衰をさせて判断する上で十分信頼できる
1:10:35	値となっているということが、
1:10:37	わかるような説明。
1:10:39	なんて言った方がいいかなと思います。
1:10:43	ここをもう少し、
1:10:45	なければ、
1:10:46	はい、門田関野でございます。その辺のところ、
1:10:50	実際に適用が可能かどうかというところも含めてですね。
1:10:55	規制庁ですけれども、
1:10:57	例えば今皆さん説明された 666 ページところに 96 項で、
1:11:03	次のペイジーは 90%じゃないですか。はい。
1:11:07	何で違うものを説明されてるのか、要は、先ほど参考でしたっけ、移行が見られると。はい。はい。
1:11:14	それを、この 666 ページ、それと 667 ページ、それぞれ示してもらうことは可能ですか。
1:11:25	えっとですね、当然設計の方でございますが、666 ページはですね、これ今回の
1:11:32	今回のといいますか審査会合資料でですね、この子を代表として出していましたので、継続としてはこういうふうな計測がされてますという、
1:11:42	代表でですね、この参考 1-3-6 図は挙げさせていただきました。で、そのあとのですね、この参考の参考の 1-37 と 38 っていうのはですね、代表的な POS も、
1:11:56	その表層部分で何らかの計測不能というのが出てる、代表として書かせてもらっております。で、実際に今度次ですね耐震建物 08 ニワ、これの観測データをすべて、
1:12:09	参考としてつけさせていただきますので、その中で、実際にこの計測不能というところは含めてはおりませんが、
1:12:20	すべての一応データを出させていたきたいというふうに思っております。
1:12:26	はい。消えちゃうわけです。その中で、
1:12:29	この 3 項に関しては、この部分は、
1:12:35	本当転換削除するというような処理をされている。
1:12:39	はい、当然設計のものでございますがここではですね、データの信頼性というふうな話でですね、こういうふうなか計測結果に対して、

1:12:49	実際にはこういうふうな表層の影響がありますということと、先ほどの審査会合資料の方に出ておりますその信頼性の評価ですね、あれも含めてということで、我々はこういうふうな信頼性を持ってこういう区間については外して、
1:13:03	データを整理してますというのを一番最初の方に持っていきたいと。
1:13:07	一番最初に言います。
1:13:08	ここのアノ賞の頭に、そのデータの信頼性も含めて、実際に使用するデータの適用範囲ってということで、説明させていただきたいと思っております。規制庁、和気です。そのデータを、結果を見れば、
1:13:22	全厚に対して、信頼が確保されているという、エビデンスが、
1:13:28	ということでよろしいですか。大田関野でございますが全厚に対してVsVpがほぼ、その分、対象とする岩盤の速度を持ってるところで整理をするというふうなことは参考のほうにつけさせていただきたい。
1:13:42	はい。
1:13:49	あ、いいですか。はい。
1:13:52	規制庁の土岐です。いや
1:13:56	私の方からですね、まず、510 ページに、
1:14:01	基本的に今回 0 鷲尾事業って今までのコメント反映ということで、それが反映状況を確認するというので、見させてもらってます。110 ページは
1:14:13	4 月以降の減衰の考え方ということで、意識のような形で評価されてるということなんですけど、
1:14:21	実際、
1:14:25	三つのエリアでリニアとかいうのかな、H0 とNの値。
1:14:31	具体的に使っている穴井値っていうのは、これは出てますか。日本原燃の大橋です。これシミュレーション解析のところの話でシミュレーションで使ってるH0 ということでよろしいですか。これはまさに同定解析の結果でして、
1:14:48	前の 504 回、
1:14:51	502 ページです。
1:14:54	これは東側、2 ページの東側のニイツ 0 と飯沼、
1:14:59	出ています。
1:15:01	この表です。この表の数字を使って、
1:15:05	うん。聞いていただけますか。この表の値を使ってということで。そうですね。はい。
1:15:10	北林わかりました。
1:15:17	はい、はい、菊川君。

1:15:18	理解しました。
1:15:20	これ、
1:15:23	解析行動の説明はないんですけども、
1:15:27	はい。
1:15:29	はい。
1:15:31	多分、
1:15:32	地域の方お願いしますという、多分定款を、
1:15:37	亀田です。日本原燃宇津かしまりました。解析コードアノ。
1:15:41	一番の東海はい。
1:15:43	はい。
1:15:44	沖田。
1:15:45	はい。
1:15:50	関係ないと思ってて、
1:15:54	申請書に使っているものは申請書に、
1:15:58	行動説明書ですか。
1:16:01	タダ細川細越しか使っていないものも、一応解析コードの説明書はつけて、
1:16:07	いいので、
1:16:09	それを、
1:16:13	会合とは言わないんですけど、
1:16:16	大体結論が見えそうな、
1:16:20	特にアノなんだろう。
1:16:22	全部実績あるもので、全然問題ないですって言うんだったら、あんまり、
1:16:37	はい、日本原燃オガセですそちらの解析コード自体の妥当性
1:16:43	の資料だと、地盤応答解析ぐらいでしょ解析コードは使っていない。
1:16:49	について、
1:16:50	使っているものと、
1:16:53	準備させていただきます。
1:16:57	河原木です。
1:16:59	それで具体的な結果ということですねもうサイトウでもあったんですけども、
1:17:05	特に西側ですね例えばステップですと 564 ページ、565 ページの
1:17:13	両括弧 8-8 と 10 番、地震に関してですね、
1:17:19	かなりシミュレーション結果を下回るような計算結果になっているということに対して、疑義を持ってたんですけども、560 ページの方にですね、それを原因という形で
1:17:32	ご説明されておりますんで、

1:17:36	基本的には
1:17:39	理解しましたというところなんですけれども、これ、
1:17:42	今見ると、これ西側だけじゃなくて東側も同じGだと思うんですね地震で結構だし、出てますんで、東側のところにはその考察ないんで、
1:17:54	そこはきちんと東側を同様ですという考察を追記してもらえればと思います。
1:17:59	はい。日本原燃岩瀬ですおっしゃる通りです東側地盤についても同じ傾向が出てきてしかもそれが同じ地震が小さい。
1:18:16	消えちゃうんです。その時にですね、
1:18:19	代表例。
1:18:21	でいいんですけれども、今これセットで比較をしてるんですけど、けれども、時刻歴は形で、の比較。
1:18:29	ていうのは可能ですか。
1:18:32	要はそのスペクトルと布施派遣の違いというか、形が
1:18:37	問題ないと思うんですけども、
1:18:39	現実的な派遣なってるのかとかですね、そういった各確認も、できればと思いますんで、
1:18:46	全然ケースについて、
1:18:51	徹するじゃないんですけれども、
1:18:54	レギュ例として進むだけではなくては、入力等も発見、
1:18:58	の比較ということで、周期型と、
1:19:01	日本原燃外すかしこまりました基本的にはもうご認識の通り、主は相当解析で地震観測記録を入れてカノウさせているので、もうほとんど同じような形、イセ、
1:19:13	はずですので、それがわかるようにさせていただきます。はい、どうぞ。
1:19:17	ていうのは、我々選ばしていただいても、いろんなところで実は代表の自信を示していたりしているものもありますのでそれがですね、して、はい。
1:19:27	はい。
1:19:28	代表で、ありがとうございます。
1:19:32	金城淡路です。あと最後なんですけれども、これもコメント対応ということで、709 ページからですね、入力等に対しての法令スペクトルで把握してみてください。
1:19:42	で、その実施内容についても確認をしましたんで、
1:19:49	まだちょっと少し判然としないところは実はあります技術的に、要はフーリエスペクトルと速度応答スペクトルの類似性をもって、模擬地震動を作るというような話もあるわけなんで、そうすると、

1:20:03	今この説明は、あくまでも放送スペクトルはフーリエスペクトルと違う特に短周期部分が、例えば今 1 秒のところ、盛り上がってるから短周期部分も、
1:20:15	自然にコモリ上がるという傾向で説明されてるんですけども、
1:20:19	そもそもこれ、伝達関数は周波数って、一番小さくて、
1:20:23	減衰はして、短周期部分って減衰が一番しやすい、大きい。はい。
1:20:29	大戸としては、10 月一定が、
1:20:33	短周期部分は小さくなるであろうという予想のもとに、
1:20:38	コメントをしました。はい。で、フーリエスペクトルはややそうじゃないですという傾向なんですけれども、
1:20:45	それは応答スペクトルとしての一般、一般っていうかな、そういう特性もあり得るということですね、理解しました。
1:20:56	最低ですね、この 709 ページにありますサトウさんの論文、こちら辺をもう少し詳しく説明をしてもらえればと思います
1:21:08	業務の内容ですね。はい。はい。人間のオガセです。かしこまりました。もう少し説明は、
1:21:13	もうちょっと工夫しております。はい、わかりました。
1:21:18	はい、キタムラスベンに関しては、私、
1:21:24	はい。
1:21:26	よし。
1:21:27	元厚生経済ですけど、
1:21:30	今あった、そのサンポさん。
1:21:33	188 ページからついてるんですけど、これって、何か、
1:21:39	急いで資料作られた。
1:21:42	から、いろんなものが、とりあえずここに載っているっていうだけで本当はマージされなきゃいけないものだ。
1:21:49	今、フーリエのところを呼び込んでるのは、
1:21:53	4 ページ。
1:21:54	100 ページぐらいのところを読み込んでですけど、本当はそこに委譲するところが一定、うん。
1:22:01	なので、
1:22:02	イマイ全社多分参考 3 が、とりあえず何か入っていないものをまとめましたっていう感じなんです。
1:22:11	はい。日本原燃の間瀬です。ちょっとこれ、実は以前に、岸野さんの方からいただいたご指摘の中でいろんな検討がこう、何かこうなんつうかね、途中途中で入っていくと、非常に、
1:22:22	中身が読みづらいという話があったので、何かこういう、何ですかね。

1:22:27	外からこうデータを眺めてみるような、セキ系は外にあえて追い出したというようなそういう経緯がございました。やっぱりやってみると、わかりにくいよという感想をいただいたというところでもあります。
1:22:40	ちょっと仕上がりが見ながらですね、できるだけ目安病院という最適化を我々も見たいと思います。ありがとうございます。
1:22:48	そういうふうに、
1:22:51	予算の中身として、
1:22:53	はい。まず一つ目が伝達関数を作っている時の地震数が、今の 10 何地震で足りるかというところを仮に 30 地震にふやしても全然感度がありませんでしたという話。
1:23:05	これつまり同じなんて本当にパラスターみたいなところでございまして、もともとちゃんと使ってる伝達関数はちゃんと本文が入っていますので、これは本当に
1:23:16	おまけというかこれ参考に落としてもいいのかなというふうには、ちょっと 1 ポツ 2 ポツでわかるように、おっしゃる通り 11 ポツがその 30 地震の話が地震数をふやして、
1:23:26	はい。それで、
1:23:28	終わり。
1:23:31	つきましてはご指摘いただいたリニアの減衰でも長周期がわあわあ本当にリニアで伸ばしっ放しでいいのかという話を、まっすぐ一律にしてみた場合でも全く応答に関係なかったんですという、
1:23:43	話をしていますんで、当然ここは感度分析で影響なかったことを数値的に確認してますけども、もっと定性的なところ、長周期っていうのはサイクル数が少なかったりとかそもそも
1:23:55	判断されないとかに聞くことないので、その周りにある伸ばしてもよかろうという考察はちゃんと本書いた上で、人のために数値解析通知しましたというものですので、ある意味このおまけというか参考的な扱いでいいのかなとは思っています。
1:24:11	そうすると、何で参考には独立してるっていう感じです。
1:24:16	それぞれ参考でもいいし、
1:24:20	出た感じもするし、
1:24:23	その上で、風景の話。
1:24:26	別にその外に出すんですけれども、
1:24:28	うん。
1:24:29	ます。
1:24:32	かしこまりました。はい。必要な説明のロジックの中で必要なものはちゃんと本当に区分けして、

1:24:40	ロジックの中でちゃんと答えが出ていて念のための、
1:24:44	確認系は参考に落とすんでさらに参考 2 すみません、確かに一緒にしてもいいなという気もしたのでその辺を踏まえて、含めて、
1:24:50	再整理させていただきます。はい。
1:24:53	はい。そういう情報を今すぐっていうよりは、助けとしてあるよっていうことを、多分参考 3 ぐらい取り扱いとけばいいんだと。
1:25:04	現在、かしこまりましたちょっとな、11 とかはちょっとあやしいかもしれないんですがはいタスクとして、対象でございます。
1:25:13	規制庁からそこはPCの 3、連通管。
1:25:19	なければ次、別紙 2-4、
1:25:23	予想のところですけど、うん。
1:25:29	はい。規制庁の岸野です。
1:25:34	そこで言えば 728 ページになる。
1:25:44	対応するコメントリストの方を見ますと、5 ポツ-1、4 ページですね。
1:25:51	個別配布の④番のところに、
1:25:55	方針が書いてあるんですけども、
1:25:59	管理基準の異なる 99 年以前 2000 年以降、
1:26:05	2 行目で、
1:26:07	減衰せん断強度で一致することの意味合い。
1:26:11	で、内部摩擦角は一致すれば、
1:26:15	どんどん強打増加するなどについて記述するっていう、
1:26:20	方針の御説明なんですけど。
1:26:24	一致するっていうのは、何と何が
1:26:28	一致することを示そうとしているのかが、
1:26:31	先ほどの補足の 728 ページ、ちょっとわからないんで、ここをまずご説明いただけますでしょうか。
1:26:37	はい。当然設計、
1:26:40	第 3-2-9 図を見ていただきまして、
1:26:44	この丸印とですね三角じる日を書いてございまして、この丸印が 1999 年以前ということで、
1:26:55	722 ページの 3-3-1 図に書いてございますが、
1:26:59	789 というこの三つですね施工年代の違うものについて、
1:27:05	Cu は、Cu 批判せん断強度を出した時に、これ今見ていただきますと、それぞればらつきを持ってるんですけども、ある同様の勾配に入ると。

1:27:20	同様の5倍といいますかそれぞれ大体同じょうなばらつきの中に入っていると。で、ここです内部摩擦角 ϕ がですね、ほぼ同じょうな値になってるということはですね、基本的に、
1:27:34	Φ というのは市アノ Σ タンジェント Φ で、拘束圧によって強度が増加することとございますので、今回のですね埋め戻し等の心臓深度方向のこの拘束圧有効拘束圧が、
1:27:49	増加することによって、強度が増加することと、同一のことというふうなことで、720ページの方のところですね、書かせていただいております。
1:28:00	設置の基準です。はい。もっと手前のところを質問していて、
1:28:05	内部摩擦角が一致しているっていうのはこの図の録音とか、
1:28:11	すいません。ですね、当然セキの運用でございますが、この第3-2-9図の、この破線ですね1点破線のバンドの中にそれぞれ収まっています。
1:28:23	いうことをですね、ちょっとこういうふうな言い方をしておりますので、規制庁キクチそれぞれってのは何かあと三角ですね1990年以前と、2000年以降の、
1:28:32	それぞれのヒライせん断強度、はい。わかりました。
1:28:37	それぞれ一致している99年以前と2000年以降が一致していることを示すと更新にあって、そういう説明をされているんだけど、図のどこを見れば、それぞれ一致しているのかっていうのがわからなかった。
1:28:49	た上で質問です。で、それぞれが一致しているというのは多分それぞれで別々に、 c と ϕ を求めて、比較したところを一致してるということを言っているのかなと思ったんですが、
1:29:02	そうではなくって、この図の中に、もう両者99年以前と2000年以降のデータも一緒にポロツとして、
1:29:12	それに対する回帰式と、あとプラマイワンシグマですよ。標準誤差の範囲の中に、いずれのデータもおさまるということを、
1:29:22	言われていると。
1:29:24	ということ。
1:29:25	モリ変えてよろしいですか。
1:29:27	当然世間のでございます。はい。そういうふうなことでございます。はい。院長金そうするとそれぞれが一致するっていう表現っておかしくないですか。はい。
1:29:36	当然関野でございます。はい。ちょっとおかしい。
1:29:39	いいですけど。
1:29:41	そのやり方して、一致しないことってある。

1:29:44	一緒にしない、主事という、すいません、東電が望んでございますが、ここに見てみますとですね赤の直線とその三角の直線を引いてあるとですね。
1:29:56	大体ほぼ一致するつちゅうのは砂地盤ですとこういうふうにφを持ちますけども、例えば粘性地盤ですとか、そういうものがまじってくるとこのファンが出なかつたりするんですね。
1:30:06	ですから、これを見て平均的に見てもですね、φを持つ物性値です。Vを持つ材料だということで一応こういうふうな書き方をちょっとさしていたいちゃったんですけども、
1:30:19	推進というのは総括できたと思うんですけども、
1:30:22	非常に不正確だと思います、正直。
1:30:26	もっと。
1:30:27	一致すると言った以上は 99. 2000 年以降を直接比較してほぼ一致するよねという説明ならわかるんですけど、一致して当然のような整理をした上で一致しているという説明なのかなと、今の。
1:30:41	思います。
1:30:44	ここはやっぱりもうちょっと正確に帰って行って、この図の整理した結果が何を意味するのかっていう辺りを正確に言っていたことが、
1:30:52	うん。
1:30:57	はい。当然のものでございます。はい。もう少し正確に記述させていただきたいと思います。ちょっと具体的に説明いただけないですか。
1:31:06	今でもちょっと正確についていうか、どういうふうに田尾さん。
1:31:10	ですから、引き取って、
1:31:15	元ジンノでございます。ちょっとそこのところですねえと。
1:31:19	読んでわかるように、
1:31:20	正確にちょっと事実関係があんさわるようにちょっとややいただきたいと思いますファイザーであるというふうなことをですね、この平均から見るとわかりますんで、
1:31:30	深度方向に深さ方向に持ちますというふうな言い方で、ここのところをですね、書き直させて、
1:31:37	はい。
1:31:38	説明。
1:31:39	両者を、
1:31:41	一緒同じデータとみなして整理した時にそういうことを言って、
1:31:45	ことなのかなと思いますので、
1:31:48	はい。誤解のないようです。
1:31:54	あ、すいませんコサクです。

1:31:58	同じまとめて、
1:32:01	分析した結果こうだからこうですっていう、その論法自体が間違っ
1:32:06	てて、
1:32:07	オオモトとしてそういうデータ処理ができるデータですっていうことを、
1:32:13	まず言うんだというふうに、不動産は認識したと思ってましたけどその理解でいいですよ。はいそうです。はい。
1:32:23	はい。コサクですのでこの今のこのプロット自体はメインではなくてっていうことかなと思いましたが、その辺りしっかりと説明できるようにしていただきます。
1:32:35	当然セキのものでございます。そうですね。これを歳出を左室族。
1:32:41	こういう傾向が出るんだというデータの処理方法も含めてですね、その辺からご説明
1:33:04	いいですか。
1:33:06	はい。
1:33:06	大丈夫です。
1:33:09	他ないですか。はい。ちょっと私、
1:33:15	見てですけど、2ページちょっと、
1:33:19	いますけど、227ページで、
1:33:22	36、
1:33:24	いえ、
1:33:27	これって本当に管理し、した結果ですと言われているんですけど、その、じゃあこの区の中に管理、
1:33:37	の上限値下限値みたいな形でその管理基準、
1:33:41	線2本ぐらい引いてもらえれば、なるほど。
1:33:46	管理基準に入ってるねっていうのがわかるんで、そういうプロットしてくださいとお願いしたつもりだったんですけど。
1:33:54	思ったものと対応が違っていたんですが、こういう感じで、はい、当然設計の呉でございます。
1:34:03	この管理というのをですね、まず
1:34:06	上にシルトの下限値っていうのが書いてございますけども、これ74マイクロなんですけども、それが、それが38%未満であれば、
1:34:17	38%アノ30。
1:34:21	あと、38%未満であれば、年度間になってしまう。それ以上は、これからSIPの下限値ですけども、それ以上のものであれば、歳出の方に含まれるということで、
1:34:34	この7375を、

1:34:37	マイクロと、あとここで言うところの歴の下限値っていうところに、オオモト概ねの、重量は重量の百分率が入ってれば、砂田 であるというふうなことをですね。
1:34:50	これを示しておりますですから、シルト下限値と液下限値の間に、ほぼほぼの重量比配分が入ってますよ、だからこれは砂ですというふうな言い方をしています。で、
1:35:02	ただ最後にですねもう一つそのべき劇との境目がございましてそれがエレキの下限値でございますがこの歴の下限値が 50%よりも、歴が多いと、歴史に入るんですけども、
1:35:16	実際にこれを見てみていただきますと、歴は、ここでいうと、シルトが 20%以下でございますので、今回の百分率の 20%から 100%の間の 60%。
1:35:30	以上、歴が入るとですねエビナ歴が的になってしまうんですけども今ここで見ると、
1:35:36	このうちの三つですね、アオノん中の青の三つがですね、ちょっとできっぽい良い砂、ここで言うところの歴史須藤に入ってしまうんですけどほとんどの
1:35:48	これ 68 個のサンプルがあるんですけどもそのうちの 65 個はですね、もう砂の中に入ってるということで、実際には砂として管理してるという
1:35:58	表した図面、
1:36:00	流動分布、
1:36:01	ということで示させていただい
1:36:09	て、
1:36:12	単純にでき、
1:36:16	下限の何%かだけ見るんじゃなくて、合わせてその種を加減
1:36:24	シルト下限の幾つとれてるかを一緒に見ないと、単純に電気下限が 50%いって受かって、
1:36:34	数桁とそうで、
1:36:36	そうですね、はい。ということが、一応説明が、
1:36:41	はい。
1:36:45	村井。
1:36:48	そういう説明をされている。
1:36:51	そうですね 720 の衛藤清家の上でございますが、第 1 パラグラフのところにそういう意味で、説明を加えているつもりなんでございますが、
1:37:03	はい。木曾。
1:37:05	ちょっとそういう意味でも、
1:37:08	はい。

1:37:09	わかりました。ちなみに、327 ページで言うと、アノイタニフローみたいな感じがあってサービスをSで、
1:37:17	3 出動っていうのはその砂分が結局より多くなっちゃいけない大井ものだというようなことが何か書いてあって、これだけ見ると、
1:37:27	2 ミリを超える、ウエキの限りですね、気分が 50%超えてる時点で、砂分より劇分が多いので、
1:37:38	何か再出動って言えないのかなっていうことじゃないですか。逆ですね。当然関野でございますが、これ全部のですね、通過百分率ですので、
1:37:49	小さい方から、
1:37:51	加算されていくんですね。そうすると、この歴下限って書いてあるところの下よりも小さいものが、ここで言う赤がちょっと代表的によく見えるんですけど 70%以上は、
1:38:02	このれき加減のものが通過してますよっていうことですね。
1:38:06	だからここで言うと、2mmよりちっちゃいものがほぼ 70%超えて通過してますっていう絵になります。
1:38:17	うん。ツベき下限の 2%のところ見て、
1:38:22	いいですか。
1:38:24	2 番目に新美です。劣化の 2 のところ見ていただけますか。
1:38:28	そうすると、バーツと赤い線が上の方に伸びておりますよね。
1:38:33	で、
1:38:34	例えば 70%よりずってというのは、
1:38:37	もう、
1:38:38	2mmよりも小さいものが 70%以上ありますよという絵なんです。
1:38:45	はい。
1:38:46	ですから、これはもうほとんどこの赤で書いてあるやつはもう砂分ですよっていうことと、あと、0.075mmのところのシルトが 20%よりも小さいんで、
1:38:58	もうこれは昼と室です。昼とJALで済ましつですよっていう。
1:39:07	だからこの間にほぼほぼその通過重量の 80%、これでいうと 50%以上、20 から 7150%以上その砂分が入ってるということで、
1:39:18	これは土質分類からするとさ湿度ですよっていうことの説明
1:39:26	で、駅下限 2mmのところが一番下にプロットされてるのは 40%ぐらいですね。青井そうですねはどう、どういう形で、これは、この、
1:39:37	実際にこれで百分率を出してみますと、
1:39:41	この歴がですね砂より多いのが 3 個だけ、このプロットの中で出現します。

1:39:48	ですから、ちょっとこの先ほどの説明の中にも書かせていただいたんですけども、
1:39:54	実際にはですね、
1:39:57	68 分の 65、95%以上がですね、これで見ると、砂分の中に入ってて、65 分の 1、68 分の 1 の三つだけはちょっと利益の方に属するものがちょっと入っちゃってるという、
1:40:12	ことに。
1:40:14	それ多分サンプルしたときに、やはりちょっと大きい利益を取り込んでしまうんですね、その歴史分が多くなって、こういうふうになって、
1:40:22	思うんですが、
1:40:26	5 番 720 ページ。
1:40:33	700、
1:40:34	ですね。
1:40:36	そうですね上から 3 行目、
1:40:40	思われますけど、大体ついてます。大体は結な差分サノさ湿度です。
1:40:46	概ねほぼ、
1:40:49	だから、
1:40:50	大体 1001 定量学年ほど指導はサービス部に分散冊子に分類されて、
1:41:06	それで、技術的に正しいんですか。
1:41:10	95%がサービスです。それ以外はウエキです。
1:41:15	普通そういう話なんですよ。
1:41:17	そうかもしれないですけどね。当然設計のものでございます。ただ、
1:41:22	95%っていうのは、基本的に 3 σ ですから、2.2. 50%、
1:41:30	ですからもうほとんど
1:41:32	その材料だっていうふうに言い切れるんじゃないかと思います。
1:41:38	うん。
1:41:39	規制庁のちょっと打ち合わせさせていただきますけど、撮像として管理されてるってオノさんおっしゃってるんですけど。
1:41:46	723 ページに、管理基準値は、
1:41:49	特に、
1:41:51	普及事項ないんじゃない。
1:41:57	えっとですね、1999 年につきましては、もともとのこういう段丘がベースでございましたので、差しぞっていうふうなあれはなかったんですが、
1:42:07	2000 年以降につきましてはですね細粒分含有率が 38%これは 30%っていう、今、
1:42:16	723 ページのですね、表の

1:42:20	右側のこの品質管理というところの表を見ていただきますと、最尤分含有率が $f_t = 30\%$ 以下。
1:42:28	最大粒径が 150 ミリ以下と、ここの 150 呉、
1:42:34	f_c コウノ 31 以下っていうやつがシートじゃなくて砂田 ですよって。
1:42:38	明日何してくださいというふうな管理基準だというふうにして、定められているというふうに、
1:42:44	はい。はい。なので、
1:42:46	要求されているのは、吉井さん 10%以下最低料金 150 ミリ以下であって、
1:42:51	統一した分類で冊子通り該当することっていうところは特に要求してない。
1:42:56	ですよ。
1:42:58	やってます。
1:43:00	多分、御説明としてはこれで管理をしているということではない
1:43:04	やってみた結果、防災係収まっていますよっていうのがおそらく言いたいことなんじゃないかなと思いますと、少々はみ出してても、大体左室ですよねっていう説明ができれば、
1:43:16	目的を達成するような気はしたんですけどそれは、
1:43:19	理解できます。
1:43:20	はい、当然設計のものでございます。
1:43:23	その理解でよろしいかと思います。はい。はい。還元の方でございませう。だからその意味でちょっと、
1:43:29	正確じゃないと思います機械がいうところは、すいませんちょっと改めさせていただきます。はい。
1:43:37	了解です。そうすると、
1:43:40	だから、
1:43:42	結局そもそもの発注から、
1:43:45	カせて、管理基準ちゃんと管理をしているから、一緒に見ていいんですよっていうロジックですよ。だから、
1:43:54	その管理基準を、この 3.2. 6 図にプロットできませんかっていうのが発注だったんで、今プロットされたのが歳出の基準
1:44:04	だけどそれ投函管理目標というのは別なんですよっていう、言われちゃうと、別の別のっていうかその心の管理目標を、
1:44:14	落とせませんか。落とせないような代物であればまた別の説明でもいいんですけどって結局またそういう発注になっちゃいます。
1:44:23	はい。
1:44:24	当然設計のものでございますわかりましたこの管理基準で、

1:44:28	この板東アノさん湿度ということに個人せずにですね、
1:44:34	この管理基準で、この番号を今は3させていた、いただ形いただきたいと、傘挟んで、
1:44:42	はさみたいと思いますが、
1:44:45	はい。
1:44:46	技術的にそういう、
1:44:48	時限が合うようなものであれば、そうしてもらえればいいし、そういうできないものを無理やり書いてもしょうがないのでそこは説明のしぶりはあれなんですけど、要は
1:44:58	同じように管理をしたんだということが結果からも、
1:45:04	ほら、ちゃんとやってるでしょっていう形で説明してくださいというのも、今まで何回って話。
1:45:10	その手当を、
1:45:12	配当設計のものでございます。はい、承知いたしました。そのように、同じ管理という意味で、
1:45:20	この辺をちょっとまとめ直させていただきたいと思います。はい。
1:45:25	はい、規制庁があります成果調査の結果、年代別でアリマというようなそんな仕事もする必要もないので、そういう次第ではありますけれども。はい。お願いします。
1:45:37	すいませんコサクです。1号のカミデの発言が、
1:45:43	ポイントなんだと思うんですけど。ええ。
1:45:47	ちょっと先ほどの図で言うそうですね、3点が外れちゃうんですけどって言うてるそれ、その部分が、
1:45:54	本当に一緒でいいのかという古藤のポイントになってきたはずで、
1:46:00	それが
1:46:04	ワンシングマの部分になってるんで別にそこはいいんじゃないですかっただけだと。
1:46:10	そもそもの説明のロジックとして違っちゃってるというか、それをちゃんと説明しなさいよってということなのに、それを伏せた状態で大体合ってますだけになってる。
1:46:21	ていうことになるんだと思うんですよ。
1:46:24	で、
1:46:27	特にその部分が
1:46:31	数百や1999年以前と、2000年以降で違って来てるようにも見えていてですね、その部分にもアカセもあるんですけど、
1:46:41	そこを特徴として何か変わりがあるのかどうかとか、部制としてどうなのかって外れてる部分ってのはどの位置にあって、建屋の影響として

1:46:56	場所の関係からしてその部分を気をつけなきゃいけないのか或いは単なるばらつきであってどこにも同じように
1:47:05	外れてる部分ていうのがあり得るってことなのかっていうことをよく、
1:47:10	分析をし、
1:47:12	分析調査して説明いただきましたかった。
1:47:15	ですけど、
1:47:19	どういう方向になるんですかね。
1:47:29	東大設計のものでございます。
1:47:32	今回のですね追力ーではですね、
1:47:36	この市有試験も通過百分率の試験もですね、
1:47:43	してございませんので、
1:47:45	この今、二つのものについてのですね追加調査による、
1:47:50	結果の分析というのがですね、
1:47:52	今、これ以上のことはできないというふうに考えております。で、ただちょっとここに出してるもの、ここで書かせていただいているものの、言い方といいますか、
1:48:07	その辺がちょっとですね本質的なことと違いますので、
1:48:12	ちょっとその辺も見直してですねもう一度、
1:48:17	書き直ささせていただきたいと思います。
1:48:20	ただいま小阪さんが言ってるように、どこの、イデとかっていうふうな話は今特定はできるので、それについてはちょっと考察に加えるなりですね、そういうことをですね、
1:48:34	ちょっと検討させていただきたいと思います。
1:48:38	以上です。
1:48:39	はい。補足です。
1:48:41	まずはそういう事実関係をしっかりと行っていただいて、このデータがどういう意味合いを持つのか、それによって今後の耐震評価における影響としてどういうことが考え得るのかと。
1:48:55	いうことを踏まえた上で何を特定しなきゃいけないのか。
1:49:01	どう扱わなきゃいけないのかっていう議論になるんだと思うので、その点しっかりと整理をお願いします。以上です。
1:49:15	規制庁亀井です。もしくは思いますけど
1:49:19	管理基準では定まっているように、
1:49:22	ちゃんと言った通り、
1:49:25	お疲れ様っていうことを見せてくださいと言ってますけど、絶対そうしなきゃいけないわけです。
1:49:31	当然なくて、正直に、

1:49:34	データを出して、高校目指したんだけど、この辺は外れてますっていうので、それが今回やることなので無理無理
1:49:45	なんか、理想形にっていないから変にこのパスではなくて、見えにくい形にするのではなくて、正直に
1:49:53	インターネットを積み上げて最終的にどう設計するのかということで、つなげればいいだけの話ですから、
1:50:01	あまりこういうところで時間を使われます。ぱぱっと事実関係を説明してくれればと。
1:50:07	よろしくお願いします。
1:50:08	コサクです。
1:50:10	今の言い方からすると、723 ページで、先ほど話のあった施工手順にあるように、
1:50:20	違うんですよね。
1:50:22	違うんだけど同じで扱っていいですっていう説明だから、違うことを説明するだけでは、
1:50:30	何の意味もなくて、
1:50:32	こういう違った管理ではあるものの、結果として、
1:50:39	これからの耐震評価なりに使うときのデータとしては、
1:50:45	この違いは影響しませんという説明を宇野さんとしてはしたくて、その時に、先ほどの分布なりを見て変わりませんと。
1:50:55	言いたかったと、いうことだと思うので、基準値を出しただけでは何も解決はしない。
1:51:01	だと思うんです。ということからすると、管理基準を出した上で結果としてこういう状態であり、それがどういう、物性としての違いがあるのかなのかと。
1:51:14	いうことをつなげるんだと思うので、ある程度、先ほど私が言ったのところで事実関係を整理をしてということをしてできるだけ制御、
1:51:26	いや、いや、できるだけというか
1:51:28	やれる範囲は限られてると思うので、それを素直にまとめてくださいということかなと思ってます。
1:51:36	皆さん一応その理解で大丈夫ですか。はい、鏡です。
1:51:42	はい。当然関野でございます。こういうふうに分けた結果、
1:51:46	やはり同じような物理特性ですとか、強度特性を持ってるという、
1:51:54	それを、そういう事実関係ですので、そういうことをちょっと書いていきたいというふうに思います。ありがとうございます。

1:52:02	長田です。重ねて申し訳ないですけど、宇野さんが今言ったことからすると、先ほどの少し歴が多いんですけどって言うてるのも物性として一緒ってということなんですか。
1:52:19	一緒というよりか、住ます砂というものでくるとすると、ちょっと外れたものもあるかなという考えなんですけども、もし砂というものであるのであれば拘束圧依存をするという、そんな独特の
1:52:33	物理特性がありますので、そういうところでは一致しますというふうなことを示していきたいと。
1:52:39	いうふうに考えております。
1:52:41	コサクですなんか微妙な表現だと思うんであれなんですけど歴が多めのものでも、そういった物質とか材料特性としては大きく変わるものじゃないってということ。
1:52:54	はい。当然セキのウノでございしますが、全部瓦れきですと、やはり乗り越える時 2 杯が経ちますが、実際にはマトリクスの中にれきが入ってるような状態ですので、
1:53:04	実際にはその砂の中にそういうれきが入って、
1:53:07	2、我々現場のコアですとかそういうのを見てると、そういう状況ですので、物性的には別に鉄筋が入ってるからと言って、深さ方向依存の、そういう強度特性が変わるですとか、そういうことはないというふうに考えております。
1:53:24	はい。補足です全般でいうとそうかもしれないんですけどこのデータの中に、60%ベキであってっていうものがあるわけですよ。
1:53:34	ちょっと表現適切かどうかわかりませんが、大枠で言うとそういうものが見受けられる中、今の宇野さんの表現が当てはまるのかどうかと。
1:53:45	いうことであってそこら辺を、
1:53:49	と理解すればいいのかっていうのを説明いただけたらいいのかなと。
1:53:53	はい。ちょっとその辺の言い方も含めて考えさせ
1:54:06	はい、規制庁。
1:54:08	この辺は、結構何回も話をしているので支援者の方ともしっかり話をして、
1:54:16	他競争。
1:54:18	安定成長がありますか。
1:54:21	はい。規制庁、丹です。ちょっとこれ論点違うんですけども、反映箇所の、
1:54:28	資料の 3 の、
1:54:30	6、
1:54:34	本、

1:54:35	おでこ文化の話をした。
1:54:37	東側の当初クボエンジンは今、流動化処理で一応考えますというのに対して、
1:54:44	それは妥当ですかというのに対して、耐震 05 ですか、6 年までの方の資料で説明しますということなんですけども、
1:54:53	結局その、この結果いかにによっては本当に流動化処理一様でいいかわからない。
1:54:59	もう 05 オオキ面いい。
1:55:01	予定されてます。はい。日本原燃のオガセでございます。これはどうしてもやはり数字を出して、解析分析的な評価がやってからじゃないと、どうしても結果はお出しできないというふうに
1:55:11	なっておりますので、
1:55:13	一番の大体この物性かなというところが始まってから、ちょっとなるべく早めにというところにありますちょっと今、いつというところはちょっと言いにくいんですけど、まだやられてないということです。
1:55:24	はい、わかりました規制庁ということで、
1:55:28	東側地盤の表層のモデル化としてどうするんだという結論に繋がるんですね。
1:55:34	はい。はい。
1:55:36	その対応は、
1:55:37	してください。
1:55:44	はい、規制庁、檀です。よろしいですか。
1:55:48	一応これで一通りですけど、何か。
1:55:52	全般通じてありますか。
1:56:01	開局しましょう。
1:56:07	少し、
1:56:09	10 分お時間いただければと思います。
1:56:15	35 分再開めどですか。はい。
1:56:19	どこ。
0:00:00	はい。
0:00:01	発生しました。はい、じゃあ、清です。ケーブリング再開します。
0:00:09	はい、神野でございます。それでは振り返りでございます。まず冒頭介護資料の骨子案の方でございます。まず大きな話として 3 ページの表を代表にいただきましたけれども
0:00:22	そういうことじゃなくてこう一貫して抜本的に見直すことというコメントいただいたと思っておりますんでまずはられたデータとそのデータヒガシを示すというのが第一歩。

0:00:32	それからどの時点、その時に、ドイセキトダテた、当てはめていくのか精算適用範囲と、これを型式名によるシライとなる根拠を示すということとそれから各地点においてどのような種類のデータがあり何を使っていくのかなぜ使えるのかを、
0:00:46	明確に説明するというのでこの分析のところをきちんと1点、いう地権者の見解を元にちょっとデータの種類と根拠をセットで示していくと。
0:00:57	ということで、いただいとるというふうに思っております。
0:01:01	議会の説明資料といたしましてステップツーと今回は言っていますけれどもまたこの記載を見直しといたしまして、今で言うてるSTEP IIのデータ分析の部門の結論といたしまして、
0:01:13	どのような結果がえられたのかという、そのですね、オオキ会についてまとめて説明する必要があると、いうことでその結論を真木前川なんか少しちゃんとまとめた形でお示するというのでいただいとると思えます。
0:01:27	で、次
0:01:29	頭角の中身に入って参りますけれども、ピース検層のデータの信頼性を確認するという観点で知らせるためにどのように分析する、しているかというのをしっかり説明することと、
0:01:40	実質救助やソフトなど旧データとの傾向分析も必要であるというふうに書いております。4番目に減衰定数等で各種データの取得位置に応じて、
0:01:51	どのような考え方で12グループに適用してるのか根拠を持った説明を行うこと。ちょっと戻るとかぶりますけどそうでございます。
0:01:57	で、5番目、データヒガシに係る説明におきまして、追加調査、PS検層結果につきまして、既存のPS検層、結果と比較して特異でないかの確認結果というもお示しする必要があります。
0:02:11	思っております。ちょっと若干言っただけかぶってますけど非常に、
0:02:15	で、6番目Q値測定におけるデータの信頼性として、観測発生における深度30メートル付近の後続八景に係る分析結果について、これ事実関係を我々見解も含めて、説明をちゃんとすると。
0:02:31	ということでございます。7番目、岩盤統制については12グループの設定の考えの位置付け、平均化を行う上での断層影響の確認の内容が、
0:02:40	これが必要ということでこれちょっと唐突なシートだよなというふうにいただいたところでございますけども、お話の流れがきちんとわかるように記載するというのでございます。

0:02:49	それから、ここに限らずですねオートスペクトルの比較による分析してるところでございますけれども、その検討の目的を踏まえて脚の薬点これ全周期など家庭や一次固有周期なのかと。
0:03:02	いったようなその着目点について、これはアノオオキの意見も踏まえて、きちっと我々の中で整理して考え明らかにすることというふうにいただいているというふうに思っております。
0:03:14	次に待機耐震建物 08 でございます。まず本文ですけれども、灯火区域におけるステップツーに相当するところですね、分析を相当するところの結果については、
0:03:27	別紙の読み込みで記載じゃなくて本文中で結果について、等を記載することが、いただいております。
0:03:33	ステップスリーEの基本モデルの策定方針についても、会合資料で方針を示すことになるということに一定における報酬の内容を記載すること。
0:03:44	11 番目計算書取りまとめにかかる検討について、どの段階の検討が完了次第、記載されることになるのか、ステータスがわかるような記載を追加することということでございます。
0:03:59	ソヤね。
0:04:01	で、53 ページのところの施設個別評価の段階との記載についてですけれども、考え方を明確に示すことというのをいただいているのが、
0:04:13	大変建物 08 の
0:04:16	共通的な資料を積み増して新たに別紙いいんでの説明か、施設の計算書での説明かと。
0:04:23	ということそれからその他の表層地盤に含まれるものを明確にすることが一番物資に係る全体の考え方で、考え方である資料であるので、現時点における物性値等の設定の考え方を明確にすること。
0:04:37	13 番目、何本のブッセン値等のばらつき幅の設定につきまして第 1 回目の設定結果も踏まえて、本来 2 度本来どのように設定すべきかを説明した上で、
0:04:49	第 2 回での母集団設定のプロセスについて、わかるような記載をすることと、ということになってございます。
0:04:57	2-1、3、
0:04:59	1 カミイチ 1、2-9 の岩盤部分の物性期でございますけれども、
0:05:05	198 ページから 199 ページ検討方針 2 につきましては、断面図等の位置で示しながら、そのですね、
0:05:16	ところを、個別の方針の説明がですねわかりやすくなるように、見直すことということで、それぞれの

0:05:27	支店における検討後にまとまっておるんですけども、その方針のところはそもそもちょっと何をやりたいというのが具体ではないのでわかりにくいというところで具体化すべきということだと認識でございます。
0:05:39	で、15番目ですけども、204ページと同じ評価において同程度の上載圧が表示速度構造は同等の、同様の傾向を示すと考えられる等の記載について、
0:05:52	同様の用語の意味。
0:05:55	等が不明確となっていることから記載を適正化するというところでございます。
0:05:59	16番目、直下または近傍表の中にごさいましたけどもその定義について、これ記載がちゃんとできているかというのは、その定義を明確にして、必要に応じて見直したいというふうに考えてございます。
0:06:12	17番目断層の影響確認におきまして、反映すべしということで、いただいているところポツに入っております。まず検討の目的として減衰に係る検討での丹政権に係る危険を踏まえたものに沿った検討といたしましてPS検層データにおける基礎境界を、
0:06:32	当建屋直下、各一段、規格を合わせて補正することが、適切やること分かるよう考え方ですね我々の検討の方針を具体化することということでございます。
0:06:43	二つ目断層の影響確認において、西本算定に用いる地震動の考え方、どの地震は解析条件、ハウジョウについて記載を、を追加すること。
0:06:54	ポツ三つ目、オートスペクトル比較における着目点の考え方を明確にし、最終的な結論がわかるように規制することでポツ四つめ、断層による影響確認について1次元性の評価をすることが、
0:07:07	妥当であることの説明について、検討すること、これ二次元での検討が必要ないかとおっしゃっていただいたところの部分でございます。
0:07:16	別紙2の3岩盤部分の減衰定数でございます。454ページ初期モデルの設定に係る承認を行って、中央地盤の地下構造波についての説明についても追加すること。
0:07:30	ということで、説明にあたっては希望地盤の速度や地質構造の特徴や、同定解析結果の状況を踏まえて断層による影響を考慮しなくてよいと考え方に立った判断につきまして記載追加ということでございます。
0:07:44	2条に、
0:07:45	番目、665ページのQ値測定において、観測記録に影響を与える要因を網羅的にコウを出した上で、本整理しまして比嘉清野。
0:07:56	あるデータであることの説明というのをこれ追加することが、いただいております。

0:08:01	23 ページ。
0:08:02	シミュレーション解析、仕事解析における解析コードの説明を追加すること。
0:08:07	他の別に置いて解析してる場合も、もう同様に追加ということで、全然詳しいことの妥当性に関する説明についても、別途用意が必要であることをちゃんとリマインドということでございます。
0:08:19	全 24 ページ、すいません、24 番、562 号におけるニシカワシミュレーション解析結果に係る考察については、この同じ地震による同じ要因である考察が含まれるんでこの東側地盤のところの記載が、
0:08:35	ないのでこれどういうふうに考察追加することというふうにいただいております。
0:08:40	それから観測記録の時刻歴はK代表のもので、追加することというのをいただいております。
0:08:46	25 番目、第 109 ページにおきまして、佐藤菅論文の内容について、この内容を金庫の中でも説明を追加することでございます。
0:08:57	26 番目、参考に 3 に記載してる内容を踏まえてあと、ちょっと構成をです、今は少しちょっと整合がとれてない状態にあるので、
0:09:09	この構成を改めて見直すということでございます。
0:09:13	備品表層地盤の物性値等でございますけれども、720 ページは内部摩擦角は一致としているが対応する図の説明ではこれはちょっと説明している内容がきちんとちゃんと
0:09:28	説明にあるになっていないということ、をいただきたいと思ひまして、データの処理含めて、当然本社について事実関係が正確に理解できるような、ご説明をと。
0:09:40	ということで、体制と答えと思っております。28 番目、727 ページ、3-2-6 におきまして、埋め戻しイワサ湿度であるという、結論ありきのような、
0:09:52	話ではなくて、施工管理基準と照らした結果と、そのデータについて、この耐震評価への影響も念頭に技術関係を整備して、まず事実関係をちゃんとお示しするということで説明することというふうに認識してございます。
0:10:07	29 番目、Z商品 44 における側面地盤までに関して、これは検討を行うことということでございます。以上でございます。
0:10:21	はい。
0:10:25	規制庁ちょっとミラウ
0:10:29	ベッショ。
0:10:31	ニワ 1 ですかね。
0:10:34	宮田板東さんの一番、はい。

0:10:45	17 番っていうのは、
0:10:50	これは直下の断層に合わせ、
0:10:53	全部検討の方針オダ具体化することです。要はですね、今日のコメントって、
0:11:00	たの信頼性の話と、分析に対しての話で、
0:11:05	これ、データの信頼性がないものを分析しても意味がないんで、まずDたのスマダイセ、そちらを優先するという
0:11:13	のは継続だと思いますので、
0:11:15	今、
0:11:16	そういう意味では、検討方針だけでいいのかなと思って今確認したんですけれども、
0:11:22	最初のページですね。
0:11:26	これは、
0:11:28	方針を具体化する、そういう、日本原燃の大橋です。すいません。そういう意味では今日のももとの会合資料骨子案のところでのご説明いただいた、全体構成の
0:11:38	リバイス中で、まずデータの信頼性っていうところが、どの品種もちゃんとしゃべることになると思っていますので、当然この
0:11:45	分析の方針はちゃんと書きますが今日直接いただいたコメントですけども、そのデータを使うデータの信頼性ってのはちゃんと、イクノは全部共通でアグリだと思って、
0:11:54	はい。
0:11:55	すいませんアノ事ジンノ1ではちょっと書いてないんですけど、全体としてというところでは、はい。
0:12:01	はい、わかりました。以上です。
0:12:04	瀬口です。多分 17 番で漏れてるかもしれないんですけど、
0:12:09	ヒガシが観測地点出られた知見に基づいて、
0:12:14	PS検層を、を適用する考え方の妥当性を説明してくださいといった趣旨のこと。
0:12:21	あったかだと思いますので、次 14 がまだ
0:12:24	今後ということなのでその段階に合わせて、24 とそのた地点の特徴を踏まえた説明をしてくださいという。
0:12:32	そういうシゲマスポイントを追記した。はい。日本原燃のオガセでございます。今 17 ページの 1 ポツ目の検討の目的の後に括弧で書いてんですけど減衰に係る検討での断層影響の中で知見を踏まえた目的をちゃんと設定した上で、

0:12:44	どういう比較やりますかどういう速度の補正しますかということきちんと書こうと思っておりましたので、その方針に照らした考察が抱えることになると思いますので、ここで読んでいるつもりではありません。
0:12:57	1 ポツ目の、
0:12:58	言葉です。
0:13:01	17 番の 1 ポツ目ですね。
0:13:07	はい。
0:13:09	とコサクです。すそだろうなどは思いつつ、
0:13:15	これ書いた人じゃないとそうは読めない。
0:13:18	地下構造に合わせて補正という言葉の中に全部が含まれてしまっていて、
0:13:24	今日のヒアリングでの、或いは今日の資料では、地下構造に合わせて補正っていうのは、
0:13:34	直下の 1 の
0:13:38	協会の指針、深度、深さのところ単純にデータを機械的に当てはめるっていう、
0:13:47	方針のように見えちゃっているんで、
0:13:49	でも話をしたところではそうではなくてたまたまこの場所ではそうだけど、それ以外のところはこういうふうに考えていくつもりですっていう話を聞いていて、そういった
0:14:01	使い方っていったところの方針を整理して説明してくださいねと。
0:14:06	というのがこのポツの意味合いでやって、緒方さんはその理解のもとではあるものの、わかりにくいんでちゃんとして、
0:14:16	もらえればなというところだと思います。尾崎さんの言う通りちょっと何か理解しつつ書きぶりが足りないっていうところ書くとしたらあれですね、補正っていう書き方ってよりはその直下の
0:14:30	例えば直角 1 の地下構造に合わせて、各、何ですかね、断層の特徴を踏まえたPS検層データを当てはめていく際の考え方が、そういう何かパターンっていう言葉をおっしゃってたと思うんですけどそういったパターンごとの考え方を示すことみたいな、
0:14:47	そういうような言い方になるかと思いました。
0:14:50	はい。コサクですそうですね。あとはその直下だけじゃない。
0:14:55	ところもあるので、断層がある場合のその周囲のとらえ方っていうことも含め、なんで、所々の言葉が誤解を生みそうな感じになっているのが次になりました。
0:15:08	はい。かしこまりました。
0:15:10	メーカーは、

0:15:12	また直轄これ直下だけじゃなくて、
0:15:19	中じゃない。
0:15:23	ここ直しますというご提案をさせてあげればいいのだから許可だけで書いてるところは許可だけでなく、古作です。あまり文言いっぱい付け加える必要もなくて、
0:15:37	これまでのそちらの資料だと直下及び近傍でしたっけ周辺でしたっけ。
0:15:43	の地下構造を踏まえた設定の仕方、考え方がわかるようにという、そういうことということといいと思いますけど。
0:16:01	我々ね、ミヤモトハヤシ徳田areソウノ疇津ーアノ、我々の中でちゃんと直しておきます。
0:16:14	とコサクです。同じ関係から言うと、⑮もですね、同様の用語の意味が不明確ってということよりは、そもそもその全体として、
0:16:24	表現したいことがあってないってということだったような気もするので、
0:16:30	対応はこれでされるんだと思うんですけど。
0:16:35	衛藤セガワつあれアノ生架空なあ。
0:16:42	事実関係のお伝えができるような記載とすることというのが、これが言いたいことなんだというふうに思っております。
0:16:54	はい。補足です。なのでそ、ある意味、ことからのところは、
0:17:01	かえって何なんですかね。本来言いたいことが明確になるように、そうですね。適正化するってということですよ。
0:17:10	記載について本来の趣旨が明確となるような記載とする。
0:17:16	予算。
0:17:17	はい。はい。お願いします。すいません。松本です。はいいたしました。
0:17:26	はい、じゃあ次へ。
0:17:28	コサクすみません、
0:17:32	その前のページ行ってもらっていいですかね。
0:17:36	そうですね。もういい。
0:17:39	スクロール一つ開けて、
0:17:41	はい。
0:17:59	コサクです。④番なんですけど、減衰定数等って書いてるの意味がちょっとよくわからないんですけど。
0:18:12	データで、⑦との関係でもあるかなと思うんですが、
0:18:16	あまり何かね、はい。
0:18:18	どのっていうよりは全体としての考えを整理をしてっていう。
0:18:23	古藤じゃないかなと思ってたんですけどこれ何で特定をして五つ等と書いてるのかとか、括弧でばらつき設定の4エリアと言ったりっていうのはどんな感じなんですかね。

0:18:35	まず、減衰定数等はこれ明らかにいらないので消します。ばらつき設定 4 エリアも同様って言うてるのはちょっと、これあれですね、4 エリアの各エリアへの設定。
0:18:48	イセ%と言われた根拠、これだけ言っても仕方がないのねということですね全部のデータの根拠をちゃんと整理して、当てはめ方をまとめる場合の、うん。うん。
0:19:03	まとめ、ちょっと待ってたら、広域を広域データにする場合、そう。そう。そうです。だから①の 2 ポツ目にほぼ集約されちゃうんですよ。
0:19:13	ただここには広域データの各エリアの適用性っていう言葉がないから。うん。だからそれをちょっと上にですね広域データの各エリアの適用性っていうのも付け加えさせていただいての個別のところでのローカルなところで書くのはちょっとやめるという形にしたいと思います。
0:19:32	はい。補足ですわかりました。
0:19:40	じゃあ、規制庁。
0:19:44	①番、ボス。
0:19:46	全般展示
0:19:50	ある。
0:19:51	言うてたの信頼性をしっかり定める。
0:19:57	有識者、建設、
0:20:02	にもしっかり見てないでしょう。
0:20:05	他、
0:20:07	なあ。五つ。
0:20:09	じゃあ会合に向けてどういうスケジュールにしましょうか。
0:20:13	ですけど、もし、
0:20:16	下にノートでございます。
0:20:21	このパワーポイントのて修正版については 2 ヶ月の介護資料案のご提出に、
0:20:31	合わせてご提出かなというふうには思っております。
0:20:39	思っております、そうすると、いつになるのかというと、
0:20:46	このままだと、あれですね 7 日のご提出になる。
0:20:51	状態、7 日のご提出で評価にヒアリングいただくと。
0:20:55	そこでコメントいただきましたらば、次がまた 10 日にお出して 13 日に、ヒアリングいただくと。
0:21:03	先ほど申しあげましたインターンタテの 089 の追加調査を踏まえたデータの次、基盤っていうのはこれが 11 日のご提出なので、その追加調査の、もうあんこが入ってくるのは非常に、

0:21:16	のご提出、今ちょっとそういうふうな形になるかなというふうに考えてございます。
0:21:24	規制庁の熱まず 08 の話でいうと、
0:21:31	あと 12 月 11 日っていうのは、
0:21:36	筒井課長さあの結果を追記したものです。
0:21:40	という予定は聞いていたんですけども、本日のヒアリングを踏まえた修正も含めて、
0:21:48	11 日、
0:21:50	2、
0:21:51	いたします。木津。
0:21:55	辨野でございます。少しやり切れるところと、できると付随的な蒲池が抜けるかなというふうなことは思いますけども、この次の会合の説明に係る部分については 08 に反映しているということかというふうに認識してございます。
0:22:11	で、それにちょっと付随して申し上げたかったのが、0 真木はですね今、ご提出しているスケジュールでは、ですね 7 日に岩盤減衰という酒総追加調査結果のセキをアノオダ引いて、
0:22:27	11 日に表層を、
0:22:30	を出す二段階での、ちょっとご提出を考えていたんですけども、
0:22:36	ちょっとそうするとちょっと 11 日まとめて出させていただくいう形にできないかなというふうに今思っております。以上でございます。
0:22:47	規制庁、富井です。
0:22:51	溜めておく理由がないので、
0:22:54	出せるものは出してくださいっていう感じ。
0:22:57	わかります。ごめんなさい。はい。はい。ちょっと 7 日に突っ込んでしまって、そこまでに 08 も間に合わせるということで、
0:23:10	承知いたしました。はい。
0:23:13	ベッショ個別なんでそのあと 8 と 11 人二つはタバタっていうのここはイマイの一つでもまたよくないのかなっていう感じはしますけど。
0:23:23	何かカッチてくるもの、11 出てくる、それぞれどんどん
0:23:28	今申し上げたのが 7 と 11 なんですけども、
0:23:32	何、はい。何出すのが、岩盤減衰とエザワ検層の追加協賛下水の方ですね、の-artをつなぐのを、結果の地域版でという地方に出てくるのは追加調査時表層地盤の方。
0:23:49	の追求ということになります。
0:23:51	井清カミデです。
0:23:57	でね、それですね、今日の話の踏まえると、そもそも、

0:24:04	資料の作り方という説明の仕方ですよねまずは信頼性あるDたであるかと、じゃあ見定めましょうとあってそのあと、求職者の方も含めてこういう当てはめないのかっていう、
0:24:19	ふうに説明しましょうというもうパッケージから変わっちゃったのに、とりあえず下水だけ。
0:24:26	8時だったら何がしますってそのあと11、
0:24:30	て言われても何か、
0:24:32	どこにどう反映されるのか全くイメージつかないんです。
0:24:38	だから、すみません、古作です。
0:24:42	きっと。
0:24:43	こちらのコメントも右往左往してる感があるんで頭の整理なんですけど、そもそも7日11と刻んでいたのは、
0:24:54	表層のデータ整理が少し時間がかかってるってということですか。
0:25:00	イエスでございます。
0:25:02	はい。補足です。であれば
0:25:05	まとめてって言われちゃうと後ろ倒しをするしかなくなっちゃうんですけど、その前のえさ検層の分のデータは早めに提示をしておいた方がいいだろうと。
0:25:17	少なくとも会合での議論の中心になるだろうからあそこには間に合わせると。
0:25:27	最低限その段階までやれることについては提示をしますという発想で整理をされてたのかなと思いますけど、合ってます。はい。その通りでございます。
0:25:38	はい。コサクです。であればなるべく今日の議論も含めて反映をなのか、
0:25:45	提示いただいて、介護の資料案というのも今日の踏まえてと。
0:25:54	ということなのでその辺りで平仄合った形で08が作られているのかどうか。
0:26:01	ということは見てデータが少し間に合わない分ってというのは、
0:26:07	11日になるけども、7日に出たところから路線が変わってないかどうかと。
0:26:13	いうのも見みつつ、話をすると、はい。
0:26:17	ということになるのかなと思う。
0:26:22	見ておりました。7日に資料提示があったもののヒアリング。
0:26:30	ていうのは、はい。
0:26:33	どこになるかって言うと、

0:26:36	これがですね、翌日の介護資料ヒアリングの時には若干コメントいただく余地があるかなと。
0:26:46	思いつつ、本当にまとまってお時間いただけるタイミングってなると、12日の午前中になるかなというふうには思っております。
0:26:58	とコサクです。それで言うと
0:27:03	見ているそのスケジュールの考えだと、1010日のヒアリングって11日の資料の追加部分のみのような感じで書かれてたんですけど、
0:27:15	というよりは
0:27:17	先行して、17日にワダしたものの、08のヒアリングとしては、12であって、
0:27:27	ということですかね。はい。知念ノモトでございます。はい。そのイトウでスケジュールを書かせていただいているところです。もちろん8日の会合資料の時に、08についてのコメントいただくのは全く我々、
0:27:40	大変ありがたいことかというふうには思っております。
0:27:43	はい。おそらくそういう意味だと今日の前半部分で話をしたところにも08に関連するところは、
0:27:51	おっしゃったと思いますんで、方向性の確認ぐらいは、8日にやっておいて、
0:27:57	いうことかなというふうには理解をします。上出さん、いかがですか。
0:28:02	はい、上出です。水、
0:28:05	それで、
0:28:05	それ介護資料なんですけど、
0:28:09	7日提出版は今日の玉田辻井っていうのは、当然だったんですけど7日版はそういうものってあるんです。
0:28:22	その時点での築地になるものっていうこと。
0:28:26	うん。ですかね。そういう意味では、
0:28:29	表層関係の追加データはツジになりますし、えーとですね、減衰はこれは江崎さんのところは入るんですけども、
0:28:41	これに連れもって変わっていく頑張っ線のところの、速度構造なんかのところはもう入るんですけども、
0:28:51	これ、ちょっとさっき言ったように、平均化していくような、そういうふうな分析のところについてはちょっとやり切れるところがどこかというので、江藤井様か一すいません7日時点で、まだ、おそらくそれは
0:29:04	途上になるかなと、また対になるようなエリアが出るかなっていうような感覚を持っておりますそんな感じ。うん。うん。
0:29:15	はい、規制庁さんです。そう。
0:29:18	8日のヒアリングを踏まえたものが、

0:29:24	12日に、
0:29:26	出てきて、
0:29:27	11人ご提出です。
0:29:33	11じゃなくて、11月曜日にご提出で、12日の午前中にヒアリングいただく中で申し訳ないんですけど、事業部赤井部長。すいません、最後資料は、それで10日の方です。はい。
0:29:49	はい。
0:29:50	終わりましたですけれども、
0:29:53	ある種、
0:29:57	何となくなのかが、
0:30:00	耐震で決まってるんだったらしょうがないんですけど、もう1個の方で決まってるんだったら、設計等の方で決まるんだったら耐震だけでも、
0:30:09	いいんじゃないのとは思いつつはもう、現状でございます。確かに、ちょっとこの計算大きく変わることもあるので、ちょっとパワーポイントだけでも、
0:30:21	早くお出しできる余地がないかちょっと内部で検討させていただきます。はい。はい。どうせ7日のデータ数字があっっていう状態であれば、
0:30:33	ラックだけ話をする、できると思うんで、少し考えても、
0:30:38	はい、休憩いたしました。
0:30:41	はい、規制庁、僕は規制庁わかりますか。
0:30:48	例えば、定年ババもフクイですか。
0:30:52	はい。
0:30:53	小出永岡です。よろしく申し上げます。
0:30:57	ありがとうございました。